注3

大学番号:国001

事前伺い

「平成29年度設置]

計画の区分:研究科以外の教育研究上の基本となる組織(学校教育法第100条)の設置 注1

北海道大学大学院 医学院 医科学専攻(修士課程) 北海道大学大学院 医学院 医学専攻(博士課程) ^{注2}

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人北海道大学平成29年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。 設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に ()書きにて、現在の名称を記載してください。
 - 例) OO大学 $\triangle \triangle$ 学部 $\Box \Box$ 学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況 報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

北海道大学大学院 医学院

<医	科学専攻(修士課程)>																^°-	-ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3
2.	授業科目の概要 ・・・・・・	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	7
3.	施設・設備の整備状況、経費	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	13
4.	既設大学等の状況 ・・・・・	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	14
5.	教員組織の状況 ・・・・・・	•	•	•	•	• •		•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	18
6.	留意事項等に対する履行状況等		•	•	•	• •		•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	42
7.	その他全般的事項 ・・・・・	•	•	•	•	• •		•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	43
<医	[学専攻(博士課程)>																^°-	-ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・	•	•	•	•	• •		•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	47
2.	授業科目の概要 ・・・・・・	•	•	•	•	• •	• •	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	51
3.	施設・設備の整備状況、経費	•	•	•	•	• •		•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	54
4.	既設大学等の状況 ・・・・・	•	•	•	•	• •	• •	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	55
5.	教員組織の状況 ・・・・・・	•	•	•	•	• •	• •	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	59
6.	留意事項等に対する履行状況等		•	•	•	• •		•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	80
7.	その他全般的事項 ・・・・・	•	•	•	•	•		•	•	•		•		•	•	•	•	81

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

国立大学法人 北海道大学

- (2) 大 学 名 北海道大学
- (3) 大学の位置

〒060-8638: 北海道札幌市北区北15条西7丁目 (〒060-0808: 北海道札幌市北区北8条西5丁目)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職	名	設	置	時	変	更	状	況	備	考	
学	長	(ナワ 名和 (平成29	豊	春							
学 院	長	(ヨシオカ 吉岡 (平成29	充	弘							

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 平成27年度に報告済の内容 → (27) 平成29年度に報告する内容 → (29)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

- (5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等
 - (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ 様式は、平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが、開設年度・ 修業年限に合わせて作成してください。(<u>修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合</u> には、欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等	学位又は学科の		設置時の計画	1	備 考
の名称(学位)	分野	修業年限	入学定員	収容定員	1佣 万
大学院医学院 医科学専攻(修士課程) 修士(医科学) 修士(公衆衛生学)	医学関係	2	20	40	基礎となる学部等 医学部保健学科, 医学部医学科

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

	報告年度		平成	, 2	9 4	年度	픽	₽成3	0 4	年度	平均入学定員	備考
区	分	春	季入	、学	その	他の学期	春	季入学	その	他の学期	超 過 率	
Α	入学定員		([人 2 - -	20 - -	人)]		人 ([)		
	志願者数	(39 0 4)	()	()	()		
	受験者数	(36 0 4)	()	()	()	1.45 倍	
	合格者数	(33 0 3)	()	()	()		
E	3 入学者数	(29 0 3)	()	()	()		
入	、学定員超過率 B/A					1.	45					

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、<u>計算の際は「入学定員超過率」と同様</u>にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

	報告年度	平成 2	9年度	平成3	0 年度	備	考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		73
	4 / 5 / 5	29	г 1	г 1	r 1		
	1 年次	[3]	[]	()	()		
	2年次			[]	[]		
	3年次						
	計		9 3] -)	[(]		

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	入学者数(b)	退学者数(a)	退学	学者数(内訳))	主な退学理由	入学者数に 対する退学者数
対象年度			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		の割合 (a/b)
平成29年度 入学者	29 人	0人	平成29年度	0人	0 人		0.00 %
合 計	29 人	0 人					0.00 %

- (注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、 【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<大学院 医学院 医科学専攻>

(1) 授業科目表

科目	哲学社 ロのなか	授業科目の名称 単位数 専任教員等の配 必 修 選 択 自 由 教 授 准教授 講 師 助						の配置			/# #		
区分	授耒科日の名称		必修	選	択自	自由		准教授	講師		助手		備 考
	基本医学研究概論	1前	1				2 3			2 1	1 2	兼	教育実施体制の見直しにより、 1 担当教員を変更。(29)
共通コ	基本実験·研究計画法	1前	1				5 4	1				兼	教育実施体制の見直しにより、 1 担当教員を変更。 (29)
ア 科 目	医倫理学序論	1前	1				7 6	1				兼	教育課程を充実させるため、担 1 当教員を追加。(29)
	トランスレーショナルリサーチ概論	1前	1				1						
(医科学コー・必修科目・	基本医学研究法 I	1前	1				2	1		2			
コース)	基本医学研究法Ⅱ	1前	1				3 2		2	1			教育実施体制の見直しにより, 担当教員を変更。 (29)
	基礎疫学	1前	1				1	1		2		兼	1 教育課程を充実させるため、担 当教員を追加。(29)
へ 公 衆	基礎生物統計学	1前	1					1					
(公衆衛生学コー	基礎社会行動科学	1前	1				1	1					
ー修 ス科 (1 2 I	基礎保健医療管理学	1前	1				1			1			教育課程を充実させるため, 担 当教員を追加。 (29)
年コース))	基礎環境保健学	1前	1				1			1			
))	基礎医学概論	1後	1				1 10			1			教育実施体制の見直しにより, 担当教員を変更。(29)
	臨床医学概論	1後	1				1 7			1 2			教育実施体制の見直しにより、 3 担当教員を変更。(29)
公衆	基礎疫学	1前	1				1	1		2		兼	1 教育課程の充実を図るため、担 当教員を追加。(29)
(公衆衛生学コー 必修	基礎生物統計学	1前	1					1					
ス科	基礎社会行動科学	1前	1				1	1					
年コー	基礎保健医療管理学	1前	1				1			1			教育課程の充実を図るため, 担 当教員を追加。(29)
ス 	基礎環境保健学	1前	1				1			1			
	公開発表演習	1通	1				1	1	4	3			教育実施体制の見直しにより, 担当教員を変更。(29)
	研究発表技法 I	1・2通	1				44 52	31 28	15 19	63 62			教育実施体制の見直しにより, 担当教員を変更。(29)
(医 赵	研究発表技法Ⅱ	1・2通	2				44 52	31 28	15 19	63 62			教育実施体制の見直しにより, 担当教員を変更。 (29)
(医科学コース必修科目Ⅱ	基本医学研究	1~2通	10				44	31	15	63			科目の新設 (29)
, п Э	基本医学研究Ⅰ	1~2通	4				52	28	19	62			科目の廃止:効果的かつ効率的 な教育を行うため、「基本医学 研究」へ統合。(29)
	基本医学研究Ⅱ	1~2通	6				52	28	19	62			科目の廃止:効果的かつ効率的 な教育を行うため、「基本医学 研究」へ統合。(29)

	1				1				1		
	公開発表演習	1通	1			1	1	4	3	教育実施体制の見直しにより 担当教員を変更。 (29)	,
公安	研究発表技法 I	1.2通	1			5	4 5		5 7	教育実施体制の見直しにより 担当教員を変更。 (29)	,
(公衆衛生学コ	研究発表技法Ⅱ	1.2通	2			5	4 5		5 7	教育実施体制の見直しにより 担当教員を変更。 (29)	,
1一 ス (2 Ⅱ	基本公衆衛生学研究	1~2通	10			5	4		5	科目の新設 (29)	
年コース)	基本公衆衛生学研究Ⅰ	1~2通	4			5	5		7	科目の廃止:効果的かつ効率 な教育を行うため、「基本公 衛生学研究」へ統合。(29)	
<u> </u>	基本公衆衛生学研究亚	1~2通	6			5	5		7	科目の廃止:効果的かつ効率 な教育を行うため、「基本公 衛生学研究」へ統合。(29)	的衆
_	研究発表技法 I	1通	1			5	4 5		5 7	教育実施体制の見直しにより 担当教員を変更。 (29)	•
(公衆衛生学	研究発表技法Ⅱ	1通	2			5	4 5		5 7	教育実施体制の見直しにより 担当教員を変更。 (29)	,
生学コース ス	基本公衆衛生学研究	1通	10			5	4		5	科目の新設(29)	
(目 1 I 年 コ ー	基本公衆衛生学研究Ⅰ	1通	4			1 \$	Ľф		7	科目の廃止:効果的かつ効率 な教育を行うため、「基本公 衛生学研究」へ統合。(29)	11.5
ス 	基本公衆衛生学研究Ⅱ	1通	6			5	5		7	科目の廃止:効果的かつ効率 な教育を行うため、「基本公 衛生学研究」へ統合。(29)	
	基本医学総論	1・2前・後		2		44 52	31 28	15 19	63 62	教育実施体制の見直しにより 担当教員を変更。 (29)	,
	臨床ゲノミクス概論	1通		2		3 5	2 4	2		4 教育実施体制の見直しにより 兼 2 担当教員を変更。(29)	,
	臨床情報工学	2通		1			1			5 教育実施体制の見直しにより 兼 4 担当教員を変更。(29)	•
医 科選 学択 コ科	臨床疫学	2通		2		1	1			兼 1	
目 ス)	臨床シークエンス技法	2通		2		4		1 1		2 教育実施体制の見直しにより 兼 4 担当教員を変更。 (29)	
	臨床病理•検査医学	1前		1		1	2	2		4 教育実施体制の見直しにより 兼 2 担当教員を変更。 (29)	
	基礎医学概論	1後		1		10 1			1	教育実施体制の見直しにより 担当教員を変更。 (29) 教育実施体制の見直しにより	
-	臨床医学概論 応用疫学(公衆衛生総論)	1後		1		7			2	兼 3 担当教員を変更。 (29) 講義題目と教育内容を一致さ	
	応用疫学(疫学研究方法論)	1・2前・後		1		1				るため講義題目を変更。(29	
(公衆衛生学コー	応用疲学(疫学研究の実際) 応用疫学(臨床研究方法論)	1·2前·後		1		1	1		2	兼 1 講義題目と教育内容を一致さるため講義題目を変更。教育程を充実させるため、担当教を追加。(29)	課
ス	応用疫学(研究デザイン立案演習)	1.2前.後		1		1	1 2		2	兼 1 教育実施体制の見直しにより 担当教員を変更。 (29)	,
(2年コー	応用疫学(EBM演習)	1.2前.後		1		1	1		2	兼 1 教育課程を充実させるため、 当教員を追加。(29)	担
コ 科 ス	応用生物統計学(創業発見科学)			<u> </u>		<u> </u>				兼 1 講義題目と教育内容を一致さ	tt.
ス・ 1 年 コ ー	た用生物統計学(観察研究の統計解析)	1.2前.後		1			4			本 ・ 調報超日と教育内存を一致さるため講義題目を変更。教育施体制の見直しにより、担当員を変更。(29)	実
ス 共 通	応用生物統計学(臨床研究統計解析)	1.2前.後		1			1				
))	応用生物統計学(生物情報学と計算生物学) 応用生物統計学(データ解析演習)	1.2前.後		1			1			兼 1 講義題目と教育内容を一致さるため講義題目を変更。教育 るため講義題目を変更。教育 品を変更。(20)	実
				<u> </u>						員を変更。 (29)	

(公衆衞生学コース(2年コース・1年コース共通)) 選択科目

応用社会行動科学(健康行動科学)	未開講 1·2前·後	1		1	1				担当教員との調整がつかず、平 成30年度開講予定。(29)
応用社会行動科学(生命倫理学)	1.2前.後	1						兼	1
応用社会行動科学(法医学)	177 12	'				1		11	
応用社会行動科学(医療コミュニケーション学)	1・2前・後	1		4	1	·			講義題目と教育内容を一致させるため講義題目を変更。教育実施体制の見直しにより、担当教員を変更。(29)
応用社会行動科学(精神保健学)	1.2前.後	1		1	2				教育実施体制の見直しにより、 担当教員を変更。 (29)
応用社会行動科学(健康増進学)	1・2前・後	1		2					科目の新設(29)
応用社会行動科学(健康スポーツ・体力科学)	1•2前•後	1		1				兼	4 科目の廃止:効果的かつ効率的 な教育を行うため、応用社会行 動科学(健康増進学)へ統合。 (29)
応用社会行動科学(健康栄養学)	1·2前·後	1		4					科目の廃止:効果的かつ効率的 な教育を行うため、応用社会行 動科学(健康増進学)へ統合。 (29)
応用社会行動科学(地域保健活動) 応用社会行動科学(地域保健学)	1.2前.後	1						並	3 講義題目と教育内容を一致させ 2 るため講義題目を変更。教育課
70713 L.J. 1 3 30 19 3 (40 5%) PK 02 3-7	1 289 (8	•						k	程を充実するために担当教員を追加。(29)
応用社会行動科学(地域医療学)	1.2前.後	1		1	1				
中国保持医疗体理器	未開講 1-2前·後	1				1			担当教員との調整がつかず,平 成30年度開講予定。(29)
応用保健医療管理学(医療政策学)	1*2刑*後	-		4		ı			
応用保健医療管理学(人口学) 応用保健医療管理学(医療経済学)	1・2前・後	1		1		1			講義題目と教育内容を一致させるため講義題目を変更。教育課程を充実するために、担当教員を追加。(29)
応用保健医療管理学(医療情報・安全管理学)	1・2前・後	1						兼	2 科目の新設 (29)
応用保健医療管理学(医療安全管理学)	1·2前·後	4						兼	科目の廃止:効果的かつ効率的 な教育を行うため、応用保健医療管理学(医療情報・安全管理学)へ統合。(29)
応用保健医療管理学 (医療情報学)	1·2前·後	1						兼	4 料目の廃止:効果的かつ効率的 な教育を行うため、応用保健医療管理学(医療情報・安全管理 学)へ統合。(29)
応用保健医療管理学(医療マネジメント学)	1.2前.後	1						兼	1
応用保健医療管理学(レギュラトリー・サイエンス)	1.2前.後	1		1					
応用環境保健学(產業保健学)									講義題目と教育内容を一致させ
応用環境保健学(産業保健・環境毒性学)	1.2前.後	1		1		1			るため講義題目を変更。(29)
応用環境保健学(感染症疫学)	1・2前・後	1		1		1			
応用環境保健学(環境化学物質と人びとの健康) 応用環境保健学(環境健康学)	1·2前·後	1						兼	6 講義題目と教育内容を一致させ 1 るため講義題目を変更。教育課 程を充実させるため、担当教員 を追加。 (29)
応用環境保健学(国際保健医学)	1.2前.後	1				1		兼	教育課程を充実させるため、担 1 当教員を追加。(29)
応用環境保健学(国際感染症学-人獣共通感染症学)	1·2前·後	1		1					科目の廃止:効果的かつ効率的 な教育を行うため.応用環境保 健学(感染症疫学)と統合。 (29)
応用環境保健学(環境と子どもの健康・発達)	1・2前・後	1						兼	5 科目の新設 (29)
応用環境保健学(環境適応学総論)	1・2前・後	1						兼	利日の英記(20)
応用環境保健学(環境適応学特論)	1・2前・後	1						兼	利日の共和(20)
応用環境保備学(環境計量学特論)	1・2前・後	1						兼	利日の新設 (20)
		•	L		ı		1	4K	•

- (注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可 以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、 赤字で見え消し修正をしてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

ſ		設	置	時	の	計	画			変	5	更	状	;	況	備		考
I	必	修	選	択	自	由	計	(A)	必	修	選	択	自	由	計	17用	~	5
Ī		科目		科目		科目		科目		科目		科目		科目	科目			
		32		34		0		66		29		35		0	64			
									[_	3]	[1]	[0]	[\(\Delta 2 \)]			

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	応用社会行動科学(健康 行動科学)		1 1・2前・後	専門	-32 TH	担当教員との調整がつかず未開講。 平成30年度に開講する。
2	応用保健医療管理学(医 療政策学)		1・2前・後	専門		担当教員との調整がつかず未開講。 平成30年度に開講する。

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位	立 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	基本医学研究 I		4	1~2通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため, 基本医学研究(10単位)として開講
2	基本医学研究Ⅱ		6	1~2通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため, 基本医学研究(10単位)として開講
3	基本公衆衛生学研究I		4	1~2通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため, 基本公衆衛生学研究(10単位)として 開講
4	基本公衆衛生学研究Ⅱ		6	1~2通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため, 基本公衆衛生学研究(10単位)として 開講
5	基本公衆衛生学研究I		4	1通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため, 基本公衆衛生学研究(10単位)として 開講
6	基本公衆衛生学研究Ⅱ		6	1通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため, 基本公衆衛生学研究(10単位)として 開講
7	応用社会行動科学(健康 スポーツ・体力科学)		1	1·2前·後	専門	選択	効果的かつ効率的な教育を行うため, 応用社会行動科学(健康増進学)とし て開講。修了要件に影響なし。
8	応用社会行動科学(健康 栄養学)		1	1·2前·後	専門	選択	効果的かつ効率的な教育を行うため, 応用社会行動科学(健康増進学)とし て開講。修了要件に影響なし。
9	応用保健医療管理学(医 療安全管理学)		1	1·2前·後	専門	選択	効果的かつ効率的な教育を行うため, 応用保健医療管理学(医療情報・安全管 理学)として開講。修了要件に影響な し。
1 0	応用保健医療管理学(医 療情報学)		1	1·2前·後	専門	選択	効果的かつ効率的な教育を行うため, 応用保健医療管理学(医療情報・安全管 理学)として開講。修了要件に影響な し。
1 1	応用環境保健学(国際感染症学・人獣共通感染症学)		1	1·2前·後	専門	選択	効果的かつ効率的な教育を行うため, 応用環境保健学(感染症疫学)と統 合。修了要件に影響なし。

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止した授業科目については、全て効果的かつ効率的な教育を行うために実施したものである。教育内容及び修了要件に影響はない。選択科目の廃止については、全て公衆衛生学コースにかかる内容であり、公衆衛生学コース(2年コース)では5単位、公衆衛生学コース(1年コース)では8単位の修得が修了要件となっているが、27の選択科目が開講されており、影響がないものである。 学生に対しては、シラバスにて周知済みである。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の意

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分					内					:	容				備考
(1)		区	分]	專	用	共		用		用する 校等の				計		
校		校 ء	き 敷 均	<u>t</u>		9	923, 867 m²			0 m²			0	m²		923	, 867 m ²	
权		運動	場用地	ļ.		1	175, 488 m²			0 m²			0	m²		175	, 488 m²	大学全体
地		小	計	-		1, 0	099, 355 m ²			0 m ²			0	m²		1, 099	, 355 m ²	
等		そ	の他	!		659, 0	049, 323 m²			0 m²			0	m²	6	59, 049	, 323 m ²	•
		合	計			660, 1	148, 678 m²			0 m²				m²	· · ·			
				ŀ	j	事	用	共	共 用			共用する他の 学校等の専用			計			
(2) 校			舎				76, 494 m²			0 m²			m²	m [*]		494 m ²	大学全体	
					(494 m²)				(0 m²)				-	4 m²)		
(O) #F		_		講	義 !	室	演習	習 室 実験実習			室 情報処理学習		処理学習		-	学学習		
(3) 教)教 室 等 68室				3	室		室				室	L man =	室				
				车小学 如	 治等の名称				(補助職員		人	数	力職員	人)				
(4) 専	専任教員研究室 ———————					医学科	•				<u>≖</u> 13	3.6	奴		 室			
					I	· 医子17												
(5)	亲	所設学語 の名詞		(う	ち外国	書〕		[うち外国書] 電子ジャー			ナル	視聴覚	党資料	機材	戒・器具	標	本	
		0/101	יונק			₩				〔うち外国	書〕		点		点	i	点	
図		- "			3, 838, [1, 788,		١	[37, 105] [20			, 399 , 170]	89,	444		0		0	学院単位での特定が不
書 • 設		医学院	沅		3, 838, [1, 788,	813	(84, 673 21 (37, 105) (20			, 399 , 170]	(89,	444)		(0)		(0)	能なため、大学全体の 数
備		計			3, 838, [1, 788,		(84, 673 21			, 399 , 170〕	89,	444		0	0		
		пі			3, 838, [1, 788,		[84, 673 37, 105]	1		, 399 , 170]	(89,	444)		(0)		(0)	
(6) 図		書	館		面		積		関	閲覧座席	ま 数		収	納	可能	ŧ m	数	·同上
							33, 542	m²			-	224 席				4	25 万冊	
					面		積			体 ⁻	育館以外	小のス オ	ポーツ施	設の)概要			
(7) 体		育	館				7 429	場(1)), サ ッカ	, 野球場)-・ラグビ-:	場(1),	アメリカンフ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	- ラクロス	ス場(1),	スポ゚ーツト	・レーニンク゛	同上
		7, 429 m センター (1), 武 場(1), ポーN						八旦勿(1),	別坦か	勿(リ),	つ坦物	(1),	十つ物し	17, 71	フル射撃			
		区 分 開設年度				完成年	度	区	分	開設前	前年度	開	設年度	完月		国費による		
(8)	ま い		千円		千円	図書購.	入費		千円		千円	I	千円					
経費の積り及	まの見)及び <u>共同研究費等</u> 千円 千円			千円	設備購.	購入費 千円		千円		千円								
維持方 の 概	# 持方法				次	第 4 年次 第 5 年次 第 6 年次												
	納付金 千円 千円						千円		千円			千円		千円				
	学生納付金以外の維持方法の概要																	

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その 理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	北 海	道	大 学						備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又は称号	平均入 学定員 超過率	開設 年度	所 在 地	
文学部							S25	札幌市北区北10条西7丁目	
人文科学科	4	185		740	学士(文学)	1.04	H7		
教育学部			310				S24	札幌市北区北11条西7丁目	
教育学科	4	50		220	学士(教育学)	1.12	S24		
法学部			2/3				S28	札幌市北区北9条西7丁目	
法学課程	4	200	10/10	850	学士(法学)	1.04	S49		
経済学部						1.06	S28	札幌市北区北9条西7丁目	
経済学科	4	100		400	学士(経済学)		S28		入学時点で学科未定
経営学科	4	90		360	学士(経営学)		S41		
理学部					()		S24	札幌市北区北10条西8丁目	
数学科	4	50		200	学士(理学)	1.01	H7		
物理学科	4	35			学士(理学)	1.00	Н6		
化学科	4	75			学士(理学)	1.00	H7		
生物科学科	4	80			デエ(ユチ) 学士(理学)	1.03	H5		
地球惑星科学科	4	60			学士(理学) 学士(理学)	1.03	H6		
医学部	7	00		240	于工(班子)	1.02	S24		
	c	107	@F	667	学士/厉学\	1 00		#	
医学科	6	107	25		学士(医学)	1.00		札幌市北区北15条西7丁目	
保健学科	4	180		720	W 1 (3=3# W) ((In that W)	1.04		札幌市北区北12条西5丁目	
看護学専攻	4	70			学士(看護学)/(保健学)	1.09	H16		
放射線技術科学専攻	4	37			学士(看護学)/(保健学)	1.01	H16		
検査技術科学専攻	4	37			学士(看護学)/(保健学)	1.02	H16		
理学療法学専攻	4	18		72	学士(看護学)/(保健学)	1.00	H16		
作業療法学専攻	4	18		72	学士(看護学)/(保健学)	1.02	H16		
歯学部							S42	札幌市北区北13条西7丁目	
歯学科	6	53		318	学士(歯学)	1.00	S42		
薬学部						-	S40	札幌市北区北12条西6丁目	
薬科学科	4	50		200	学士(薬科学)		H18		入学時点で学科未定かつ両学科で 修業年限が異なるため超過率計算
薬学科	6	30		180	学士(薬学)		H18		不能
工学部			310				S24	札幌市北区北13条西8丁目	
応用理工系学科	4	160		640	学士(工学)	1.06	H17		
情報エレクトロニクス学科	4	180		720	学士(工学)	1.06	H17		
機械知能工学科	4	120		480	学士(工学)	1.14	H17		
環境社会工学科	4	210		840	学士(工学)	1.02	H17		
農学部						1.04	S24	札幌市北区北9条西9丁目	
生物資源科学科	4	36		144	学士(農学)		H4		入学時点で学科未定
応用生命科学科	4	30		120	学士(農学)		H4		
生物機能化学科	4	35		140	学士(農学)		H4		
森林科学科	4	36		144	学士(農学)		H4		
畜産科学科	4	23		92	学士(農学)		H4		
生物環境工学科	4	30		120	学士(農学)		S24		
農業経済学科	4	25			*		S24		
獣医学部								札幌市北区北18条西9丁目	
共同獣医学課程	6	40		240	学士(獣医学)	1.04	H24		
水産学部					,,	1.00		函館市港町3丁目1番1号	
海洋生物科学科	4	54		216	学士(水産学)		H18		入学時点で学科未定
海洋資源科学科	4	53			学士(水産学)		H18		
増殖生命科学科	4						H18		
		54 E4			学士(水産学)				
資源機能化学科	4	54		∠16	学士(水産学)	l	H18		

文学研究科								札幌市北区北10条西7丁目	
思想文化学	М	2	14		修士(文学)	0.82	H12		
	D	3	6		博士(文学)	0.55	H12		
歴史地域文化学	М	2	28		修士(文学)/(学術)	0.71	H12		
	D	3	11	33	博士(文学)/(学術)	0.75	H12		
言語文学	М	2	29	58	修士(文学)	0.93	H12		
	D	3	11	33	博士(文学)	0.87	H12		
人間システム科学	М	2	19	38	修士(文学)	1.34	H12		
	D	3	7	21	博士(文学)	1.04	H12		
法学研究科							S28	札幌市北区北9条西7丁目	
法学政治学	М	2	20	40	修士(法学)	0.90	H12		
	D	3	15	45	博士(法学)	0.37	H12		
法律実務	Р	3	50	150	法務博士(専門職)	0.86	H16		
医学研究科							S30	札幌市北区北15条西7丁目	平成29年より学生募集停止
医科学	М	2	_	-	修士(医科学)	-	H14		
医学	D	4	_	-	博士(医学)	-	H19		
情報科学研究科							H16	札幌市北区北14条西9丁目	
情報理工学	М	2	48	96	修士(工学)/(情報科学)	0.93	H26		
	D	3	12	36	博士(工学)/(情報科学)	0.72	H26		
情報エレクトロニクス	М	2	39	78	修士(工学)/(情報科学)	1.11	H16		
	D	3	8	24	博士(工学)/(情報科学)	0.79	H16		
生命人間情報科学	М	2	33		修士(工学)/(情報科学)	0.82	H16		
	D	3	6		博士(工学)/(情報科学)	0.33	H16		
メテ゛ィアネットワーク	М	2	30		修士(工学)/(情報科学)	1.08	H16		
,, ,,,,,,,	D	3	8		博士(工学)/(情報科学)	1.03	H16		
システム情報科学	М	2	27		修士(工学)/(情報科学)	1.27	H16		
7// AII 7 TA 1 T 3	D	3	8		博士(工学)/(情報科学)	1.08	H16		
水産科学院					132(23)/(1342(13)	1.00		函館市港町3丁目1番1号	
海洋生物資源科学	М	2	43	86	修士(水産科学)	0.99	H17	EARLY OF JOS ETHER	
7-71-2105-200113	D	3	17		博士(水産科学)	0.30	H17		
海洋応用生命科学	М	2	47		修士(水産科学)	1.29	H17		
7 9 7770713 <u>—</u> 227113	D	3	18		博士(水産科学)	0.51	H17		
環境科学院		,	10	54	诗工(沙莲17子)	0.51		札幌市北区北10条西5丁目	
環境起学	М	2	44	gg	修士(環境科学)	0.90	H17		
- ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **					,	0.57			
地球圏科学	D M	3 2	15 35		博士(環境科学)修士(環境科学)	0.57			
地林国行子						0.49			
广 物网到学	D M	3	14		博士(環境科学)				
生物圏科学	М	2	52		修士(環境科学)	0.91			
TOO 122 H/W EEE T // 524	D	3	23		博士(環境科学)	0.57			
環境物質科学	М	2	28		修士(環境科学)	0.99			
VIII 234 11-24	D	3	11	33	博士(環境科学)	0.60			
理学院					(F. L. (1971)))			札幌市北区北10条西8丁目	
数学	М	2	46		修士(理学)	0.84	H18		
	D	3	17		博士(理学)	0.44			
物性物理学	М	2	24		修士(理学)	0.95	H18		
	D	3	10		博士(理学)	0.70	H18		
宇宙理学	М	2	20	40	修士(理学)	0.82	H18		
	D	3	9	27	博士(理学)	0.92	H18		
自然史科学	М	2	39	78	修士(理学)	1.26	H18		
	D	3	20	60	博士(理学)	0.93	H18		

農学院								H18	札幌市北区北9条西9丁目	
共生基盤学	М	2	40		80	修士(農学)	0.71	H18	101001040E407AEDJIE	
/\	D	3	8			廖工(辰子 <i>)</i> 博士(農学)	1.04	H18		
生物資源科学	М	2	42			修士(農学)	1.18	H18		
工物與脲付于	D	3	14			廖工(辰子 <i>)</i> 博士(農学)	0.57	H18		
応用生物科学			18			,		H18		
心用土物科子	М	2				修士(農学)	1.99			
100 14年 2位 7年 244	D	3	6			博士(農学)	0.77	H18		
環境資源学	М	2	42			修士(農学)	1.17	H18		
# 0.11 WIN	D	3	14		42	博士(農学)	0.78	H18	1 40 + 1.50 1.4 0 6 = 0 = 0	
生命科学院			400			In 1 (11 A 7) 112 (1)			札幌市北区北10条西8丁目	
生命科学	М	2	132			修士(生命科学)/(薬科学)	0.93	H18		
	D	3	46			博士(生命科学)/(薬科学)	0.79	H18		
臨床薬学	D	4	4		16	博士(臨床薬学)	1.56	H24		
教育学院									札幌市北区北11条西7丁目	
教育学	М	2	45	· ·	90	修士(教育学)	0.96	H19		
	D	3	21	_	63	博士(教育学)	0.67	H19		
国際広報メディア・観光学院								H19	札幌市北区北17条西8丁目	
国際広報メディア	М	2	27		54	修士(国際広報メディア)/(学術)	1.05	H19		
	D	3	14		42	博士(国際広報メディア)/(学術)	0.54	H19		
観光創造	М	2	15		30	修士(観光学)	1.03	H19		
	D	3	3		9	博士(観光学)	1.33	H19		
保健科学院								H20	札幌市北区北12条西5丁目	
保健科学	М	2	40		80	修士(保健科学)/(看護学)	1.50	H20		
	D	3	10		30	博士(保健科学)/(看護学)	1.09	H22		
工学院								H22	札幌市北区北13条西8丁目	
応用物理学	М	2	33		66	修士(工学)	1.13	H22		
	D	3	9		27	博士(工学)	0.55	H22		
材料科学	М	2	39		78	修士(工学)	1.01	H22		
	D	3	7		21	博士(工学)	0.80	H22		
機械宇宙工学	М	2	27			修士(工学)	1.16	H22		
	D	3	5		15	博士(工学)	0.53	H22		
人間機械システムデザイン	М	2	26			修士(工学)	1.19	H22		
7 (1-2) (2) (1)	D	3	5			博士(工学)	0.60	H22		
エネルギー環境システム	М	2	26			修士(工学)	1.13	H22		
	D	3	5			博士(工学)	0.66			
量子理工学	М	2	20			修士(工学)	1.20	H22		
里」在工于	D		5				0.53			
環境フィールド工学		3				博士(工学)		H22		
垛块/1⁻Wi 工于	М	2	24			修士(工学)	1.14			
	D	3	6			博士(工学)	0.77	H22		
北方圏環境政策工学	М	2	26			修士(工学)	1.13	H22		
74=10±17 →	D	3	7			博士(工学)	0.61	H22		
建設都市空間デザル	М	2	22			修士(工学)	1.19	H22		
	D	3	5			博士(工学)	1.00	H22		
空間性能システム	М	2	27			修士(工学)	0.94	H22		
	D	3	5			博士(工学)	0.46	H22		
環境創生工学	М	2	28		56	修士(工学)	1.35	H22		
	D	3	5		15	博士(工学)	0.33	H22		
環境循環システム	М	2	18		36	修士(工学)	1.29	H22		
	D	3	5		15	博士(工学)	1.53	H22		
共同資源工学	М	2	10		20	修士(工学)	1.30	H29		平成29年4月設置
総合化学院								H22	札幌市北区北13条西8丁目	
総合化学	М	2	129	2	58	修士(総合化学)	1.13	H22		
	D	3	38	1	14	博士(理学)/(工学)/(総合化学)	1.10	H22		
経済学院								S28	札幌市北区北9条西7丁目	平成29年4月名称変更
現代経済経営	М	2	35		70	修士(経済学)/(経営学)	1.10	H12		
	D	3	8			博士(経済学)/(経営学)	0.65	H12		
会計情報	Р	2	20			会計修士(専門職)	0.87			
1	ļ	-1		ı l	1		1 1		I	!

医学院							H29	札幌市北区北15条西7丁目	平成29年4月設置
医科学	М	2	20	4	0 修士(医科学)/(公衆衛生学	±) 1.4	5 H29		
医学	D	4	90	36	0 博士(医学)	0.9	3 H29		
歯学院							S49	札幌市北区北13条西7丁目	平成29年4月名称変更
口腔医学	D	4	40	16	0 博士(歯学)	0.7	2 H12		
獣医学院							S28	札幌市北区北18条西9丁目	平成29年4月名称変更
獣医学	D	4	16	6	4 博士(獣医学)	1.0	5 H7		
医理工学院							H29	札幌市北区北15条西7丁目	平成29年4月設置
医理工学	М	2	12	1	4 修士(医理工学)	1.2	5 H29		
	D	3	5		5 博士(医理工学)	1.2	0 H29		
国際感染症学院							H29	札幌市北区北18条西9丁目	平成29年4月設置
感染症学	D	4	12	4	8 博士(感染症学)/(獣医学)	0.9	1 H29		
国際食資源学院							H29	札幌市北区北9条西9丁目	平成29年4月設置
国際食資源学	М	2	15	3	0 修士(食資源学)	1.1	3 H29		
公共政策学教育部							H17	札幌市北区北9条西7丁目	
公共政策学	Р	2	30	(0 公共政策学修士(専門職)	1.1	4 H17		

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科),

大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、

平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学中、短財大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、「備者」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院医学院 医科学専攻(修士課程)>

(1) 担当教員表

	担, 任 夕			<u> </u>					変更状	況	
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 (年	名 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
					備考欄の	の注記は	以下のとお	おりであ	る。		
					※ 1						
					効果				ため、「基本医療 10単位)」に統領		及び「基本医学研究Ⅱ
										を衛生学研究 I (4単 (10単位)」に統合(2!	位)」及び「基本公衆衛 9)
				研究発表技法I						研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ						研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論				_ +=		基本医学総論	
				基本医学研究概論	専	教授	有川	二郎	平成29年4月	基本医学研究概論	
専	教授	有川 二郎	平成29年4月	医倫理学序論						医倫理学序論	
4	7212		1 70.20 - 471	基本医学研究 I 基本医学研究 II						基本医学研究	※ 1
				基本区于明九 1							
				基礎医学概論	専専	教授 助教	大滝 新 村上		平成29年4月	基礎医学概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより科 目担当教員の変更(29)
				研究発表技法I						研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ						研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論	専	教授	秋田	弘俊	平成29年4月	基本医学総論	
_	#4L AVII	秋田 弘俊	T-100 T-1 T	臨床ゲノミクス概論						臨床ゲノミクス概論	
専	教授		平成29年4月	基本医学研究 I 基本医学研究 II						基本医学研究	* 1
				臨床医学概論	専	教授 助教	大滝 新 村上		平成29年4月	臨床医学概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより科 目担当教員の変更(29)
				研究発表技法I						研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ						研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論						基本医学総論	
				基本医学研究 I 基本医学研究 II						基本医学研究	※ 1
専	教授	渥美 達也	平成29年4月	応用社会行動科学 (健康栄養学)	専	教授	渥美;	達也	平成29年4月	応用社会行動科学 (健康增進学)	平成29年1月 教育内容の充実を図るため、用社会行動科学(健康 スポーツ・体力科学)」及び にの用社会行動科学(健康 栄養学)」を統合し、講義 題目変更(29)
				臨床医学概論	専専	教授 助教	大滝 紅村上		平成29年4月	臨床医学概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより科 目担当教員の変更(29)
1				研究発表技法 I						研究発表技法I	
_	***	荒戸 照世		研究発表技法Ⅱ		***	荒戸;	照世		研究発表技法Ⅱ	
専	教授	, m =	平成29年4月	基本医学総論 基本医学研究 I	専	教授	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ						基本医学研究	※ 1
				研究発表技法 I	İ					研究発表技法I	
1				研究発表技法Ⅱ						研究発表技法Ⅱ	
専	教授	有賀 正	平成29年4月	基本医学総論	専	教授	有賀	Œ	平成29年4月	基本医学総論	
				医倫理学序論						医倫理学序論	
				基本医学研究 I 基本医学研究 II						基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I						研究発表技法I	
1		石田 晋		研究発表技法Ⅱ			五四	<u></u>		研究発表技法Ⅱ	
専	教授	12四百	平成29年4月	基本医学総論	専	教授	12世	石田 晋	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I 基本医学研究 II						基本医学研究	※ 1
<u> </u>				坐≁匹于听先Ⅱ	I	l			1		l .

				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究 I						
				基本医学研究 Ⅱ					基本医学研究	※ 1
専	教授	岩崎 倫政	平成29年4月	2127000	専	教授	岩崎 倫政	平成29年4月		
										平成29年1月 教育内容の充実を図るた
				応用社会行動科学 (健康スポーツ					応用社会行動科学	め, 応用社会行動科学(健
				・体力科学)					(健康増進学)	康スポーツ·体力科学)」及び「応用社会行動科学(健
										康栄養学)」を統合し、講 義題目変更(29)
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論	専	教授	岩永 敏彦	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究法 I	-47	42/12		1 70,20 - 471	基本医学研究法 [
専	教授	岩永 敏彦	平成29年4月	基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究 Ⅱ					坐平区于明九	× 1
										平成29年 1 月
				基本医学研究概論	専専	教授 教授	有川 二郎 渡邉 雅彦	平成29年4月	基本医学研究概論	教育体制の見直しにより科
										目担当教員の変更(29)
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論	Ī				基本医学総論	
				基本実験・研究計画法					基本実験・研究計画法	
				基礎社会行動科学					基礎社会行動科学	
				基礎医学概論					基礎医学概論	
				臨床医学概論			大滝純司		臨床医学概論	
				応用社会行動科学(健康	専	教授	八地和印	平成29年4月	応用社会行動科学(健康	
専	教授	大滝 純司	平成29年4月	行動科学)					行動科学)	
				応用社会行動科学(地域 医療学)					応用社会行動科学(地域 医療学)	
				基本医学研究 I						
				基本医学研究 Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				基本公衆衛生学研究 I						
				基本公衆衛生学研究Ⅱ					基本公衆衛生学研究	※ 2
										平成29年 1 月
				応用社会行動科学(医療 コミュニケーション学)	専	助教	的場光太郎	平成29年4月	応用社会行動科学(法医 学)	教育体制の見直しにより、 講義題目及び科目担当教員
										の変更(29)
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論	専	教授	大場 雄介	平成29年4月	基本医学総論	
		大場 雄介		基本医学研究法 Ⅱ	-47	42/12		1 70,20 - 471	基本医学研究法 Ⅱ	
専	教授	八切血	平成29年4月	基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究 Ⅱ					GE-1-182 1 9150	* ·
					兼担	助教	林 秀幸			平成29年 1 月
				臨床シークエンス技法	兼担	助教	天野 虎次	平成29年4月	臨床シークエンス技法	教育体制の見直しにより科 目担当教員の変更(29)
1				研究発表技法 I	-				研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論	専	教授	笠原 正典	平成29年4月	基本医学総論	
_	** !=	笠原 正典		基本医学研究 I	47	4X1X		+1X23447	坐 个区于心間	
専	教授		平成29年4月	基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				25.1.10 L MING T		<u> </u>				平成29年 1 月
				基礎医学概論	専専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	基礎医学概論	教育体制の見直しにより科
				IIIの中参生サイナ・					買売る士井上・	目担当教員の変更(29)
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ	専	粉粒	神谷 温之	亚出20年4日	研究発表技法Ⅱ	
1		神谷 温之		基本医学総論	节	教授		平成29年4月	基本医学総論	
専	教授	11 I MIK	平成29年4月	基本医学研究 I 基本医学研究 II					基本医学研究	* 1
				- エードロナップル		.				平成29年 1 月
				基礎医学概論	専専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	基礎医学概論	教育体制の見直しにより科
				Ⅲ党及主++:+ т					111	目担当教員の変更(29)
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
_	±0-1-	丸藤 哲	TT # 00 # 1 =	研究発表技法Ⅱ	_	#L1-	丸藤 哲	± ← . =	研究発表技法Ⅱ	
専	教授		平成29年4月	基本医学総論	専	教授		平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※ 1
	<u> </u>			基本医学研究 Ⅱ		<u> </u>			I	

				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
-	#4+152	久住 一郎	亚世20年4月		-	#4++100	久住 一郎	亚世20年4日		
専	教授		平成29年4月	応用社会行動科学(精神 保健学)	専	教授		平成29年4月	応用社会行動科学(精神 保健学)	
									体性于/	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究 Ⅱ					至不区于明九	X 1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
					-	#4++102	坂本 直哉	亚世20年4月	基本医学総論	
		## + + + h		基本医学総論	専	教授		平成29年4月	基 个区子 認	
専	教授	坂本 直哉	平成29年4月	基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ					_,_,	
				臨床医学概論	専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	臨床医学概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより科 目担当教員の変更(29)
										TE TANKO XX (EU)
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論	専	教授	佐々木 秀直	平成29年4月	基本医学総論	
				医倫理学序論	4	秋秋		十八八八十十月	医倫理学序論	
				基本医学研究 I						
専	教授	佐々木 秀直	平成29年4月	基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
77	叙按		十成29年4月	G-1-12 1 9170 Z						
				臨床ゲノミクス概論	専 専 東 兼 兼 兼 兼 兼	准教授 准教師 教師 教助 助 動 教教	近藤 健 七戸 俊明 津田 真寿美 清水 伊幸 本 秀磊	平成29年4月	臨床ゲノミクス概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより科 目担当教員の変更(29)
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	教授	佐邊 壽孝	平成29年4月	基本医学総論	専	教授	佐邊 壽孝	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I						
				基本医学研究 Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
		篠原 信雄		研究発表技法Ⅱ			篠原 信雄		研究発表技法Ⅱ	
専	教授	米が、 日本庄	平成29年4月	基本医学総論	専	教授	床//八 口 座	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究 Ⅱ					至不区于明元	X 1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論	専	教授	清水 宏	平成29年4月	基本医学総論	
		清水 宏		基本医学研究I	-4	7012		1 /2/20 1 1/1	GENT I WOULD	
専	教授	71177 22	平成29年4月						基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ						
				臨床医学概論	専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	臨床医学概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより科 目担当教員の変更(29)
		-		研究発表技法 I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
		武富 紹信		基本医学総論			武富 紹信		基本医学総論	
専	教授	以田 稻店	平成29年4月	医倫理学序論	専	教授	此曲 稻洁	平成29年4月	医倫理学序論	
				基本医学研究 I					Mar 1110 - 22 - 7 1 7 0 mg	
									基本医学研究	※ 1
-				基本医学研究Ⅱ					TT refer 200 at 14 a 1 a	
				研究発表技法 I					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本実験・研究計画法	-	\$4L. 1 mm	田中 伸哉	₩ # 00 /- 1 =	基本実験・研究計画法	
		m + 4 + 1		臨床ゲノミクス概論	専	教授		平成29年4月	臨床ゲノミクス概論	
専	教授	田中 伸哉	平成29年4月	臨床病理・検査医学					臨床病理・検査医学	
				基本医学研究Ⅰ						
									基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ						
				基礎医学概論	専	教授	大滝 純司	平成29年4月	基礎医学概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより科
				圣啶 医子概語	専	助教	村上 学	十八人3年4月	圣啶区子 似語	教育体制の見直しにより科 目担当教員の変更(29)
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	教授	田中 真樹	平成29年4月	基本医学総論	専	教授	田中 真樹	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究法Ⅱ					基本医学研究法Ⅱ	
				基本医学研究 I					基本医学研究	* 1
				基本医学研究Ⅱ					金平区于明先	A 1

			1	ı			ı		1	ı
専	教授	玉木 長良	平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 基本医学研究 I 基本医学研究 I 基本医学総論 臨床医学概論			後任未定			平成29年3月 玉木教授退職(29) 「後任未定」 公募時期未定 2名以上いるため,支障はない。
専	教授	玉腰 暁子	平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 基本医学総論 医倫理学序論 基礎疫学 応用疫学(研究デザイン 立来演習) 応用疫学(EBM演習) 基本医学研究 I 基本医学研究 I	專	教授	玉腰 晚子	平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 I 基本医学総論 医倫理学序論 基礎疫学 応用疫学(研究デザイン 立案演習) 応用疫学(EBM演習) 基本医学研究	※1 平成29年1月 教育体制の見直しにより科 目担当教員として追加(29)
				基本公衆衛生学研究 II 応用疫学 (疫学研究方法論) 応用疫学 (窓中研究方法論)					基本公衆衛生学研究 応用疫学 (公衆衛生総論) ・ 応用疫学 (交学研究の実際)	※2 平成29年1月 講義題目と教育内容を一致させるため、「応用疫学(疫学研究方法論)」から講 義題目を変更(29)) 平成29年1月 講義題目と教育内容を一致させるため、「応用疫学(臨床研究方法論)」から講 義題目を変更(29))
専	教授	筒井 裕之	平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 I 基本医学研究 I 基本医学研究 I 基本医学総論			後任未定			平成28年7月 筒井教授退職(29) 「後任未定」 専任教員採用予定で公募中 (選考決を渡やかに採用 予定)。 レンの科目も担当教員が 2名以上いるため、支障は ない
専	教授	豊嶋 崇徳	平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 I 基本医学総論 基本医学研究 I 基本医学研究 I	専	教授	豐嶋 崇德	平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 I 基本医学総論 基本医学研究 医倫理学序論	※1 平成29年1月 教育効果を高めるため分野 持ち回りの科目としてお り、科目担当教員として追 加(29)
專	教授	西浦 博	平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 I 基本医学総論 基礎環境保健学 応用環境保健学 (感染症疾学) 応用環境保健学 人獸共通 基本医学研究 I 基本公衆衛生学研究 I 基本公衆衛生学研究 I 基本公衆衛生学研究 I	專	教授	西浦 博	平成29年4月	応用保健医療管理学(人口学)	平成29年1月 教育内容の充実を図るた

				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論	専	教授	西村 正治	平成29年4月	基本医学総論	
-	#4L 1/10	西村 正治	五 亡 00 仁 4 日	基本医学研究 I						
専	教授		平成29年4月	基本医学研究 Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				臨床医学概論	専専	教授 助教	大滝 純司村上 学	平成29年4月	臨床医学概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより科 目担当教員の変更(29)
				777 do 20 + 14 14 7					777 da 20 + 14 14 7	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論		40.100	畠山 鎮次		基本医学総論	
				基本医学研究法 I	専	教授	EH MA	平成29年4月	基本医学研究法 I	
専	教授	畠山 鎮次	平成29年4月	臨床ゲノミクス概論					臨床ゲノミクス概論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ						
				基礎医学概論	専専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	基礎医学概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより科 目担当教員の変更(29)
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	教授	平野 聡	平成29年4月	基本医学総論	専	教授	平野 聡	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					+++=**	W 4
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	教授	松居 喜郎	平成29年4月	基本医学総論	専	教授	松居 喜郎	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究 II 研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	教授	森本 裕二	平成29年4月	基本医学総論	専	教授	森本 裕二	平成29年4月	基本医学総論	
-4	4X1X		十成23年4万	基本医学研究Ⅰ	**	4X1X		十,从23年4万	基本区于心 圃	
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法 I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	教授	山本 有平	平成29年4月	基本医学総論	専	教授	山本 有平	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					+++=**	W 4
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本実験・研究計画法	専	教授	吉岡 充弘	平成29年4月	基本実験・研究計画法	
		士田 太礼		基本医学研究Ⅰ	守	叙按		十成29年4月	基本医学研究	※ 1
専	教授	吉岡 充弘	平成29年4月	基本医学研究Ⅱ						
				-					基本医学研究法 Ⅱ	平成29年1月 教育体制の見直しにより科 目担当教員として追加(29)
				基礎医学概論	専専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	基礎医学概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより科 目担当教員の変更(29)
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論			渡辺 雅彦		基本医学総論	
				基本医学研究概論	専	教授	波辺 雅彦	平成29年4月	基本医学研究概論	
専	教授	渡辺 雅彦	平成29年4月	公開発表演習					公開発表演習	
				基本医学研究 I					基本医学研究	* 1
				基本医学研究Ⅱ						
				基礎医学概論	専専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	基礎医学概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより科 目担当教員の変更(29)
				研究発表技法I						平成29年3月福田教授退職
				研究発表技法Ⅱ						(29) 「後任未定」
		福田 諭		基本医学研究Ⅰ						専任教員採用予定で公募中 (選考決定後速やかに採用
専	教授	(祖四 胡)	平成29年4月	基本医学研究Ⅱ			後任未定			予定)。
				基本医学総論						いずれの科目も担当教員が 2名以上いるため、支障は ない。
		i .	i	1		1		i .	1	

_										
				研究発表技法I						平成29年3月安田教授退職
				研究発表技法Ⅱ						(29)
				基本医学研究 I						「後任未定」 専任教員採用予定で公募中
専	教授	安田 和則	平成29年4月	基本医学研究Ⅱ			後任未定			(選考決定後速やかに採用
	2012		1 774-1 1 77				DC III-177C			予定)。
				基本医学総論						いずれの科目も担当教員が 2名以上いるため、支障は
				本 平区于 彩						と右以上いるため、文庫はない。
				研究発表技法I						平成29年3月櫻木教授、水
				研究発表技法Ⅱ						上教授退職(29) 「後任未定」
				基本医学研究 I						両教授が担当していた2教 室を1教室に再編すること
専	教授	櫻木 範明	平成29年4月	基本医学研究 Ⅱ			後任未定			に伴い, 専任教員1名を公
										募中(選考決定後速やかに 採用予定)。
				基本医学総論						いずれの科目も担当教員が 2名以上いるため、支障は
										ない。
				研究発表技法 I						五 + 00 + 0 - 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1
				研究発表技法Ⅱ						平成29年3月水上教授、櫻 木教授退職(29)
				基本医学研究I						「後任未定」 両教授が担当していた2教
_	+4L_1700	水上 尚典	T-00-4-1	基本医学研究Ⅱ			// IT + -			室を1教室に再編すること
専	教授		平成29年4月	松 平区于训九Ⅱ			後任未定			に伴い, 専任教員 1 名を公 募中 (選考決定後速やかに
										採用予定)。 いずれの科目も担当教員が
				基本医学総論						2名以上いるため、支障は
										ない。
				研究発表技法I						平成28年3月瀬谷教授退職
		***		研究発表技法Ⅱ	Ī					(29)
専	教授	瀬谷 司	平成29年4月	基本医学研究 I			後任未定			「後任者就任時期未定」 いずれの科目も担当教員が
				基本医学研究Ⅱ						2名以上いるため、支障はない。
				基本医学総論						3.018
				研究発表技法I						
				研究発表技法Ⅱ						平成28年9月三輪教授退職 (29)
_	#4F FAG	三輪 聡一	T # 00 # 4 B	基本医学研究 I			44 FT + C			「後任未定」
専	教授		平成29年4月	基本医学研究Ⅱ			後任未定			公募時期未定。 いずれの科目も担当教員が
				基本医学総論						2名以上いるため、支障はない。
				基礎医学概論						
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	教授	寳金 清博	平成29年4月	基本医学総論	専	教授	寳金 清博	平成29年4月	基本医学総論	1
	27.12		1 774-1 1 77	基本医学研究I	,	2012		. ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	2.12.74588	
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	教授	生駒 一憲	平成29年4月	基本医学総論	専	教授	生駒 一憲	平成29年4月	基本医学総論	-
-3	4717		1 70.20 - 471	基本医学研究Ⅰ	4	42/12		1 70,20 - 471	金が置する時間	
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	教授	松野 吉宏	平成29年4月	基本医学総論	専	教授	松野 吉宏	平成29年4月	基本医学総論	-
4	#X1X		十成29年4月	基本医学研究Ⅰ	4	9X1X		十八人2944月	基 平区于秘酬	
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ	Ī				研究発表技法Ⅱ	1
				研究完表技法 II 基本医学総論	専	\$4.10	山下 啓子	₩ # 00 F 4 P	基本医学総論	-
					₩	教授		平成29年4月	坐 个区于花珊	
				基本医学研究Ⅰ	Ī				基本医学研究	※ 1
専	教授	山下 啓子	平成29年4月	基本医学研究Ⅱ						
					専	准教授	近藤 健			
					専	准教授	七戸 俊明			平成29年 1 月
				臨床ゲノミクス概論	専 兼担	講師 教授	津田 真寿美 清水 伸一	平成29年4月	臨床ゲノミクス概論	教育体制の見直しにより科 目担当教員の変更(29)
					兼担 兼担	助教 助教	林 秀幸 王 磊			日担当秋貝の友丈(20)
					* (C)=	-9372	- wa			
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ	Ī				研究発表技法Ⅱ	1
				基本医学総論	Ī				基本医学総論	1
				基本実験・研究計画法	Ī				基本実験・研究計画法	1
				医倫理学序論	Ī				医倫理学序論	1
										1
専	教授	佐藤 典宏	平成29年4月	トランスレーショナル リサーチ概論	専	教授	佐藤 典宏	平成29年4月	トランスレーショナル リサーチ概論	
					Ī					
				臨床疫学					臨床疫学	
				基本医学研究Ⅰ	Ī				基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ	Ī				,	
				基本公衆衛生学研究 I	Ī				基本公衆衛生学研究	※2
<u> </u>				基本公衆衛生学研究Ⅱ						

			•				1	1	1	,
1				研究発表技法I					研究発表技法I	
		15 m2 tv		研究発表技法Ⅱ			1× m3 mv		研究発表技法Ⅱ	
専	教授	橋野 聡	平成29年4月	基本医学総論	専	教授	橋野 聡	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ						
				研究発表技法I					研究発表技法I	
		廣瀬 哲郎		研究発表技法Ⅱ			廣瀬 哲郎		研究発表技法Ⅱ	
専	教授	SKAK LIAP	平成29年4月	基本医学総論	専	教授	Sent List	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ						
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
	##L 1/10	清野 研一郎	亚 + 00 左 4 日	研究発表技法Ⅱ	-	4/L 1/0	清野 研一郎	T #00 # 4 B	研究発表技法Ⅱ	
専	教授		平成29年4月	基本医学総論	専	教授		平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I 基本医学研究 II					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論	専	教授	野口 昌幸	平成29年4月	基本医学総論	
	##L 1/10	野口 昌幸	亚 + 00 左 4 日	基本医学研究 I				1,772	ZZ-Y-WZ J WOMIN	
専	教授		平成29年4月	基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				E-1-12 1 9170 II						平成29年 1 月
1				基礎医学概論	専専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	基礎医学概論	教育体制の見直しにより科
<u> </u>	1						· ·			目担当教員の変更(29)
1				研究発表技法I					研究発表技法Ⅰ	
		村上 正晃		研究発表技法Ⅱ			村上 正晃		研究発表技法Ⅱ	
専	教授	112 22	平成29年4月	基本医学総論	専	教授	112 250	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	* 1
				基本医学研究Ⅱ					777mh 200 + 141 14 7	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
	##L 1/10	近藤 亨	亚 + 00 左 4 日	研究発表技法Ⅱ	-	4/L 1/0	近藤 亨	T #00 # 4 B	研究発表技法Ⅱ	
専	教授		平成29年4月	基本医学総論	専	教授		平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究 Ⅱ 研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論	専	准教授	外丸 詩野	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ	**	/正弘]又		十成23年4万	基本区于心 圃	
専	准教授	外丸 詩野	平成29年4月	基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				E-1-12 1 9170 II						
				臨床病理・検査医学	兼担 兼担	教授 准教授	石津 明洋 田中 敏	平成29年4月	臨床病理・検査医学	平成29年1月 教育体制の見直しにより科
					兼担	教授	畑中 豊			目担当教員の変更(29)
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論	専	准教授	朝倉 聡	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					# 1 = 32 = #	
専	准教授	朝倉 聡	平成29年4月	基本医学研究 Ⅱ					基本医学研究	※ 1
										平成29年 1 月
				応用社会行動科学(精神	専	教授	久住 一郎	平成29年4月	応用社会行動科学(精神	教育体制の見直しにより責
				保健学)	- 4	1010		1 30.20 1 171	保健学)	任教員が取りまとめて教育 する。(29)
<u> </u>	 							1		
1				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
1				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
1				基本医学総論					基本医学総論	
1				基本実験・研究計画法					基本実験・研究計画法	
1				医倫理学序論					医倫理学序論	
1				基礎生物統計学					基礎生物統計学	
1				臨床情報工学	専	准教授	伊藤 陽一	平成29年4月	臨床情報工学	
1				臨床疫学					臨床疫学	
	44 40L 1-	伊藤 陽一	T # 00 / 1 P	応用生物統計学(臨床研 究統計解析)					応用生物統計学(臨床研 究統計解析)	
専	准教授	1,07	平成29年4月						>υψυα (Ω+1/1 /	
1				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※ 1
1				基本医学研究Ⅱ						
				基本公衆衛生学研究Ⅰ					基本公衆衛生学研究	※2
				基本公衆衛生学研究Ⅱ	-	pr. 40	MA	1		
1				応用疫学(研究デザイン	専専	助教 助教	鵜川 重和 佐々木 成子	平成29年4月	応用疫学(研究デザイン	平成29年1月 教育体制の見直しにより科
1				立案演習) 	兼担	助教	岡田 恵美子		立案演習)	目担当教員の変更(29)
1				応用生物統計学(データ	I	-14 to 1-	伊藤 公人	# # 00 F 1 F	応用生物統計学(データ	平成29年1月
1				解析演習)	兼担	准教授		平成29年4月	解析演習)	教育体制の見直しにより科 目担当教員の変更(29)
Ь	1			1		l		I	I	<u>L</u>

				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	岩永 ひろみ	平成29年4月	基本医学総論	専	准教授	岩永 ひろみ	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究法I					基本医学研究法 [
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ						
				研究発表技法I					研究発表技法I	
		A + + +		研究発表技法Ⅱ			由力 力地		研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	鬼丸 力也	平成29年4月	基本医学総論	専	准教授	鬼丸 力也	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究 Ⅱ						
				研究発表技法I					研究発表技法 I	
		神山 俊哉		研究発表技法Ⅱ			神山 俊哉		研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	ти ки	平成29年4月	基本医学総論	専	准教授	ти ди	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ						
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基礎社会行動科学					基礎社会行動科学	
				応用社会行動科学(健康 行動科学)			川畑 秀伸		応用社会行動科学(健康 行動科学)	
				応用社会行動科学(地域	専	准教授	ли ж	平成29年4月	応用社会行動科学(地域	
				医療学)					医療学)	
専	准教授	川畑 秀伸	平成29年4月	基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
号	准敦技		十成29年4月	基本医学研究 Ⅱ					坐 中位于明70	× 1
				基本公衆衛生学研究I					基本公衆衛生学研究	※ 2
				基本公衆衛生学研究Ⅱ					±11 = 3000	
				臨床病理・検査医学	兼担 兼担	教授 准教授	石津 明洋 田中 敏	平成29年4月	臨床病理・検査医学	平成29年1月 教育体制の見直しにより科
				咖水焖埕 快且区于	兼担	教授	畑中 豊	十八人5十4月	咖水树哇 快且医子	目担当教員の変更(29)
										平成29年 1 月
				応用社会行動科学(医療 コミュニケーション学)	専	助教	的場 光太郎	平成29年4月	応用社会行動科学(法医	
				コミュニケーションチケ					学)	の変更(29)
				研究発表技法 I						
				研究発表技法Ⅱ						平成29年4月北村准教授退 職(29)
専	准教授	北村 信人	平成29年4月	基本医学研究 I			後任未定			「後任未定」
	/E-7//		1 7020 1 171	基本医学研究Ⅱ			BC III / I / C			いずれの科目も担当教員が 2名以上いるため、支障は
				基本医学総論						ない。
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	木下 一郎	平成29年4月	基本医学総論	専	准教授	木下 一郎	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I	,,			1774 1 77	SEAT 1 WOUND	
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	工藤 正尊	平成29年4月	基本医学総論	専	准教授	工藤 正尊	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I						
				基本医学研究 Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
専	准教授	久保 大輔	平成29年4月	基本医学総論	専	准教授	久保 大輔	平成29年4月	基本医学総論]
				基本医学研究 I					+	w. 4
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	倉島庸	平成29年4月	基本医学総論	専	准教授	倉島 庸	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					甘士医学研究	* 1
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	W 1
				研究発表技法I			· <u></u>		研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
		# 45 45 45		基本医学総論					基本医学総論	
専	准教授	小華和 柾志	平成29年4月	基本医学研究 I	専	准教授	小華和 柾志	平成29年4月	基本医学研究	※ 1
				基本医学研究 Ⅱ					金・下陸子列ス	
				基本公衆衛生学研究 I					基本公衆衛生学研究	*2
				基本公衆衛生学研究Ⅱ					金字四水用工于明元	~ -
				研究発表技法I			· <u></u>		研究発表技法Ⅰ	
		A === +=		研究発表技法Ⅱ			^™ +-		研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	今野 哲	平成29年4月	基本医学総論	専	准教授	今野 哲	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究 Ⅱ					%120	
				·					•	

				研究発表技法 I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	志賀 哲	平成29年4月	基本医学総論	専	准教授	志賀 哲	平成29年4月	基本医学総論	
-				基本医学研究 I						
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
									ΣΠ σ/α 2% ≠ ++ :+ τ	
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
専	准教授	七戸 俊明	平成29年4月	基本医学研究 I	専	准教授	七戸 俊明	平成29年4月	基本医学研究	※ 1
4	/E-3X IX		1 70,20 - 471	基本医学研究 Ⅱ	-47	/E-5X1X		1 70,20 - 471	基 本医子研究	ж 1
				-					臨床ゲノミクス概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより, 科目担当教員として追加 (29)
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	大西 俊介	平成29年4月	基本医学総論	専	准教授	大西 俊介	平成29年4月	基本医学総論	
٠,	/E-3//		1 /3020 1 171	基本医学研究 I	-47	711717		1 7520 1 171	GENT I WOULD	
									基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ					777 da 20 + 14 14 7	
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
		寺坂 俊介		研究発表技法Ⅱ			寺坂 俊介		研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	守圾 夜川	平成29年4月	基本医学総論	専	准教授	守城 後川	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I 基本医学研究 II					基本医学研究	* 1
									TT 00 20 + 14 14 7	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ			中川 伸		研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論	専	准教授	₽ /// 1₽	平成29年4月	基本医学総論	
		中川 伸		基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
専	准教授	170 14	平成29年4月	基本医学研究 Ⅱ					坐不区于明九	X 1
				応用社会行動科学(精神 保健学)	専	教授	久住 一郎	平成29年4月	応用社会行動科学(精神 保健学)	平成29年1月 教育体制の見直しにより責 任教員が取りまとめて教育 する。(29)
				研究発表技法 I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基礎疫学					基礎疫学	
				応用疫学(研究デザイン 立案演習)					応用疫学(研究デザイン 立案演習)	
				応用疫学(EBM演習)					応用疫学(EBM演習)	
				基本医学研究 I	専	准教授	中村 幸志	平成29年4月	++	W 4
専	准教授	中村 幸志	平成29年4月	基本医学研究 Ⅱ					基本医学研究	※ 1
4	准软妆		十成29年4月	基本公衆衛生学研究 I						
				基本公衆衛生学研究Ⅱ					基本公衆衛生学研究	※2
				_					応用疫学 (疫学研究の実際)	平成29年1月 教育課程を充実させるた め、科目担当教員の追加 (29)
				応用生物統計学(観察研 究の統計解析)	兼担	教授	前仲 勝美	平成29年4月	応用生物統計学(創薬 発見科学)	平成29年1月 教育体制の見直しにより、 講義題目、担当教員の変更 (29)
				研究発表技法 I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	西江 渉	平成29年4月	基本医学総論	専	准教授	西江 渉	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I	Ī				基本医学研究	* 1
				基本医学研究Ⅱ					空 中区子讲究	A 1
				研究発表技法 I					研究発表技法I	
		ma		研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	野田 航介	平成29年4月	基本医学総論	専	准教授	野田 航介	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I	Ī				#3 = **- *	W. 4
				基本医学研究 Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	南保 明日香	平成29年4月	基本医学総論	専	准教授	南保 明日香	平成29年4月	基本医学総論	
#	准教授	•	一,以23年4月		等	准叙按		十八人3千4月	宏 平 医 子 蕊 語	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究 Ⅱ						
				研究発表技法 I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	古川 洋志	平成29年4月	基本医学総論	専	准教授	古川 洋志	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					# . =	
				基本医学研究 Ⅱ					基本医学研究	※ 1
	<u> </u>					·			1	l .

				研究発表技法I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	本間 明宏	平成29年4月	基本医学総論	専	准教授	本間 明宏	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I						
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					研究発表技法 I	
				研究発表技法 Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
		Ar the de		基本医学総論			← *n ∴n		基本医学総論	
専	准教授	矢部 一郎	平成29年4月	臨床ゲノミクス概論	専	准教授	矢部 一郎	平成29年4月	臨床ゲノミクス概論	
				基本医学研究Ⅰ					mm バノン こ ノハ isk am	
									基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ						
				研究発表技法Ⅰ						
				研究発表技法Ⅱ						平成28年12月若尾准教授退
		若尾 宏		基本医学研究 I						職(29) 「後任未定」
専	准教授	THE M	平成29年4月	基本医学研究Ⅱ			後任未定			いずれの科目も担当教員が
				基本医学総論						2名以上いるため、支障はない。
				基本公衆衛生学研究I						
				基本公衆衛生学研究Ⅱ						
				研究発表技法I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	北村 秀光	平成29年4月	基本医学総論	専	准教授	北村 秀光	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					生士医类可究	W 1
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
		山﨑 美和子		基本医学総論			山﨑 美和子		基本医学総論	
専	講師	A-4 X-11 1	平成29年4月	公開発表演習	専	准教授	E 2011	平成29年4月	公開発表演習	
				基本医学研究 I						
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法 I						
				研究発表技法Ⅱ						平成29年3月泉講師退職 (29)
専	講師	泉剛	平成29年4月	基本医学研究Ⅰ			後任未定			「後任未定」
-77	DI-3 Hills		1 70.20 - 471	基本医学研究Ⅱ			及证不足			いずれの科目も担当教員が 2名以上いるため、支障は
				基本医学総論						ない。
				研究発表技法I					研究発表技法 I	
-	=# AT	及川 司	五 亡 20 仁 4 日	研究発表技法Ⅱ	-	=# AT	及川 司	五十00年4日	研究発表技法Ⅱ	
専	講師		平成29年4月	基本医学総論	専	講師		平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ						
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法 I	
		小野寺 康仁		研究発表技法Ⅱ			小野寺 康仁		研究発表技法Ⅱ	
専	講師	17 E 17 INC	平成29年4月	基本医学総論	専	講師	11 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	* 1
				基本医学研究Ⅱ						
				研究発表技法I					研究発表技法I	
		絹川 真太郎		研究発表技法Ⅱ			얼마 호수하		研究発表技法Ⅱ	
専	講師	納川 具入印	平成29年4月	基本医学総論	専	講師	絹川 真太郎	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究 Ⅱ					金子をプラック	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ	Ī				研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
専	講師	近藤 健	平成29年4月	基本医学研究 I	専	講師	近藤 健	平成29年4月	其大医类研究	* 1
47	마음마		十成20年4月	基本医学研究 Ⅱ	4	마무마		T-10,20447	基本医学研究	* 1
										平成29年1月
				-					臨床ゲノミクス概論	教育体制の見直しにより、 科目担当教員として追加
L										(29)
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ	Ī				研究発表技法Ⅱ	
専	講師	新宮 康栄	平成29年4月	基本医学総論	専	講師	新宮 康栄	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					##=#=*	W 4
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ	Ī				研究発表技法Ⅱ	
専	講師	高橋 秀尚	平成29年4月	基本医学総論	専	講師	高橋 秀尚	平成29年4月	基本医学総論	
4	MEZ HILI		1 /2/20 77 77 1	基本医学研究Ⅰ	7	MAZ HITE		1 1995-0-7-1/1	25.4.1 1 NO 1m	
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
<u> </u>				至平区于研先 Ⅱ				<u> </u>		

				ı				ı	ı	1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ			± 40 π# ±		研究発表技法Ⅱ	
専	講師	高畑 雅彦	平成29年4月	基本医学総論	専	准教授	高畑 雅彦	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					*+=	W 4
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
		0 mg - 46 fm 14		基本医学総論			0 mg 46 6m 11		基本医学総論	1
専	講師	谷野 美智枝	平成29年4月		専	講師	谷野 美智枝	平成29年4月		
				臨床病理・検査医学					臨床病理・検査医学	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ						
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究 I	専	講師	津田 真寿美	平成29年4月		
				基本医学研究Ⅱ	47	마음마		+1X20447	基本医学研究	※ 1
										平成29年 1 月
専	講師	津田 真寿美	平成29年4月	_					臨床ゲノミクス概論	教育体制の見直しにより、
₩	마마		十成29年4月							科目担当教員として追加 (29)
										T-100 T 4 T
				臨床シークエンス技法	兼担	助教	林秀幸	平成29年4月	臨床シークエンス技法	平成29年1月 教育体制の見直しにより科
					兼担	助教	天野 虎次			目担当教員の変更(29)
				臨床病理・検査医学	兼担 兼担	教授 准教授	石津 明洋 田中 敏	平成29年4月	臨床病理・検査医学	平成29年1月 教育体制の見直しにより科
				MANNIT IXEL	兼担	教授	畑中 豊	1 75020 1 171	MADE IN LANG.	目担当教員の変更(29)
H-	\vdash			研究発表技法 I	_				研究発表技法I	
-	-# AT	中山 若樹	亚 + 00 年 4 日	研究発表技法Ⅱ	-	=# AT	中山 若樹	亚+00年4日	研究発表技法Ⅱ	
専	講師		平成29年4月	基本医学総論	専	講師		平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ						
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	講師	早川 峰司	平成29年4月	基本医学総論	専	講師	早川 峰司	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I						
				基本医学研究 Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	講師	舟山 恵美	平成29年4月	基本医学総論	専	講師	舟山 恵美	平成29年4月	基本医学総論	
4	마마마마		十八人23千4万	基本医学研究Ⅰ	4	하다		十八八十十八	本 中区于 秘酬	
									基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ						
				研究発表技法I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ			坦力力 老亡		研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論	専	講師	堀之内 孝広	平成29年4月	基本医学総論	
専	講師	堀之内 孝広	平成29年4月	基本医学研究 I					甘土医类可如	W 4
				基本医学研究 Ⅱ					基本医学研究	※ 1
							=			平成29年1月
				基本医学研究法Ⅱ	専	教授	吉岡 充弘	平成29年4月	基本医学研究法Ⅱ	教育体制の見直しにより科 目担当教員の変更(29)
										日担当权员の发史(20)
I				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
1				研究発表技法Ⅱ			吉达 世		研究発表技法Ⅱ	
1				基本医学総論	専	講師	真崎 雄一	平成29年4月	基本医学総論	
専	講師	真崎 雄一	平成29年4月	基本医学研究 I					基本医学研究	* 1
				基本医学研究 Ⅱ					本 本区于明九	X 1
							吉岡 充弘			平成29年1月
1				基本医学研究法Ⅱ	専	教授	□四 パカ	平成29年4月	基本医学研究法Ⅱ	教育体制の見直しにより科 目担当教員の変更(29)
1	\vdash			□					正 かみ キサンナ す	
I				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
		森川 守		研究発表技法Ⅱ			森川 守		研究発表技法Ⅱ	
専	講師	***/11 '3	平成29年4月	基本医学総論	専	准教授	***/11 13	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
L				基本医学研究 Ⅱ		<u> </u>			فالزالات والمساوي المساوي	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
1				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ]
専	講師	保田 晋助	平成29年4月	基本医学総論	専	准教授	保田 晋助	平成29年4月	基本医学総論	1
1				基本医学研究 I						
1				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
1	\vdash				-	 			正 かみ キサンナ す	
I				研究発表技法I					研究発表技法Ⅰ	
1		山田 雅文		研究発表技法Ⅱ			山田 雅文		研究発表技法Ⅱ	
専	講師	山田 雅又	平成29年4月	基本医学総論	専	講師	山田 雅久	平成29年4月	基本医学総論	
I				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
L				基本医学研究 Ⅱ	L	L			坐坐区于明先	M 1

		1		1					1	I
				研究発表技法 I					研究発表技法I	
		AMENGUAL PLIEGO		研究発表技法Ⅱ			AMENGUAL PLIEGO		研究発表技法Ⅱ	
専	助教	MARIA OLGA	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	MARIA OLGA	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ						
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基礎保健医療管理学					基礎保健医療管理学	
				基礎環境保健学					基礎環境保健学	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究 Ⅱ					基本区于明九	× 1
				基本公衆衛生学研究 I					基本公衆衛生学研究	*2
				基本公衆衛生学研究 Ⅱ					金 中五从南土于明九	X-2
										平成29年 1 月
専	助教	浅井 雄介	平成29年4月	応用保健医療管理学 (医療経済学)	専	助教	浅井 雄介	平成29年4月	応用保健医療管理学 (人口学)	講義題目と教育内容を一致させるため、「応用保健医療管理学(医療経済学)
										療管理学(医療経済学)」 から講義題目を変更(29)
										平成29年 1 月
				応用環境保健学(産業保					応用環境保健学(産業保	講義題目と教育内容を一致 させるため、「応用環境保
				健·環境毒性学)					健学)	健学(産業保健・環境毒性
										学)」から講義題目を変更 (29)
				応用環境保健学						平成29年 1 月
				(感染症疫学)						教育内容の充実を図るた
									応用環境保健学	め, 「応用環境保健学(感 染症疫学)」に「応用環境
				応用環境保健学 (国際感染症学・					(感染症疫学)	保健学(国際感染症学・人 獣共通感染症学)」を統合
				人獸共通感染症学)						(29)
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	浅野 毅	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	浅野 毅	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I						
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
専	助教	新井 明日菜	平成29年4月	基本医学研究 I	専	助教	新井 明日菜	平成29年4月	生士医类研究	* 1
				基本医学研究 Ⅱ					基本医学研究	* 1
				基本公衆衛生学研究 I					基本公衆衛生学研究	*2
				基本公衆衛生学研究 Ⅱ					本 平 4 米 南 1 于 明 九	× 2
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	有木 宏美	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	有木 宏美	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ					2127333	
1				研究発表技法I					研究発表技法I	
		稲葉 直子		研究発表技法Ⅱ			稲葉 直子		研究発表技法Ⅱ	
専	助教	100米 但丁	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	100米 但丁	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	* 1
				基本医学研究Ⅱ						
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
_	DL MA	伊敏	T-200-10	研究発表技法Ⅱ	_	DL ML	伊 敏	T-200-4-F	研究発表技法Ⅱ	
専	助教		平成29年4月	基本医学総論	専	助教		平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ					711 mb 20 ± ++ >+ 1	
1				研究発表技法I	Ī				研究発表技法Ⅰ	
	DT 34	岩野 弘幸	W C+00 C+0	研究発表技法Ⅱ	+	DT ≯v⊏	岩野 弘幸	₩ + 00 - 1 -	研究発表技法Ⅱ	
専	助教		平成29年4月	基本医学総論	専	助教		平成29年4月	基本医学総論	
1				基本医学研究Ⅰ	Ī				基本医学研究	※ 1
<u> </u>				基本医学研究Ⅱ					III か& 士++>+ *	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
_	D4. #/L	岩見 大基	亚出00年4月	研究発表技法Ⅱ	<u> </u>	D4. #/L	岩見 大基	亚出00年4月	研究発表技法Ⅱ	
専	助教		平成29年4月	基本医学総論	専	助教		平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究 Ⅱ		<u> </u>				

				研究発表技法I					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	1
				基本医学研究 I						
				基本医学研究 Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				基本公衆衛生学研究 I						
		鵜川 重和					鵜川 重和		基本公衆衛生学研究	※2
専	助教	福川 生和	平成29年4月	基本公衆衛生学研究Ⅱ	専	助教	福川 里和	平成29年4月		
				_					基礎疫学	
									応用疫学(研究デザイン	
				_					立案演習)	平成29年1月 教育体制の見直しにより、
				_					応用疫学(EBM演習)	科目担当教員として追加
				_					心用投子(EDM)演首/	(29)
				_					応用疫学(疫学研究の実	
									際)	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	内ヶ島 基政	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	内ヶ島 基政	平成29年4月	基本医学総論	
-47	-9332		1 //220 1 171	公開発表演習	٠,	-23.32		1 ///20 1 1/1	公開発表演習	
				基本医学研究 I					**医类可免	W 1
				基本医学研究 Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ]
専	助教	内田 洋介	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	内田 洋介	平成29年4月	基本医学総論	1
				基本医学研究 I						
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
専	助教	江川 潔	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	江川 潔	平成29年4月	基本医学総論	
47	D) 15X		十成20年4月	基本医学研究 I	**	列权		十成20年4月	坐 个区于心間	
									基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ					711 mb 20 ± ++ >+ 1	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
		榎木 亮介		研究発表技法Ⅱ			榎木 亮介		研究発表技法Ⅱ	
専	助教	196717 5651	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	BETT SEST	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究 Ⅱ					_,,	
				研究発表技法 I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	大塚 紀幸	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	大塚 紀幸	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					*+=***	w
				基本医学研究 Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
				基本医学総論					基本医学総論	1
				応用保健医療管理学(医					応用保健医療管理学(医	
				療政策学)					療政策学)	
-	DT #/F	大林 由英	五十00年4日	基本医学研究 I	-	DL #/L	大林 由英	T # 00 F 4 P	基本医学研究	※ 1
専	助教		平成29年4月	基本医学研究 Ⅱ	専	助教		平成29年4月	本 平区于明九	× 1
				基本公衆衛生学研究I					+++ 0 + 45 + 34 + 34	w. c
				基本公衆衛生学研究 Ⅱ					基本公衆衛生学研究	※ 2
										平成29年 1 月
				-					応用環境保健学 (国際保健医学)	教育体制の見直しにより, 科目担当教員として追加
L								<u></u>	AMPAN NA MERET	(29)
				研究発表技法 I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ]
専	助教	大平 洋	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	大平 洋	平成29年4月	基本医学総論	1
				基本医学研究 I						
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
専	助教	大村 優	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	大村 優	平成29年4月	基本医学総論	1
4	刘钦		1 7544477	基本医学研究 I	47	刘玖		1 155,20千年月	金本位于心間	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※ 1
				-					Ⅲ 売 桑 幸 ↔ →	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論	専	助教	小野澤 真弘	平成29年4月	基本医学総論	
専	助教	小野澤 真弘	平成29年4月	基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究 Ⅱ						
				EE	専	教授	大滝 純司	TT	10 pt pt pr 114 100 - A	平成29年1月
				臨床医学概論	幸	助教	村上 学	平成29年4月	臨床医学概論	教育体制の見直しにより科 目担当教員の変更(29)
	I		<u> </u>	l .		1	I	I	I	1

				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	折茂 達也	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	折茂 達也	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I						
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
-				-					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅰ						
		加納 崇裕		研究発表技法Ⅱ			加納 崇裕		研究発表技法Ⅱ	
専	助教	MARI ACTO	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	WHALL SELEC	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究 Ⅱ					基 个区子切先	ж 1
				研究発表技法 I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	川久保 和道	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	川久保 和道	平成29年4月	基本医学総論	
4	助报		十八人2344万		4	助採		十八人口十十月	本 中区于 秘酬	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ						
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	北市 雄士	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	北市 雄士	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I						
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					□	
	1								研究発表技法Ⅰ	
		GOUDARZI HOUMAN		研究発表技法Ⅱ			GOUDARZI HOUMAN		研究発表技法Ⅱ	
専	助教	IOUMAN	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	USS.ILLI HOUMAN	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
L	L			基本医学研究Ⅱ					至一个位于列九	
			_	研究発表技法 I					研究発表技法 I	,
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論			/A A		基本医学総論	
専	助教	木村 俊介	平成29年4月	基本医学研究法 I	専	助教	木村 俊介	平成29年4月	基本医学研究法Ⅰ	
									至本区于明元// 1	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
-				基本医学研究Ⅱ						
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	KURKIN SERGEY	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	KURKIN SERGEY	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I						
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法 I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	小林 純子	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	小林 純子	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究法 I					基本医学研究法 I	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ						
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
		今野 幸太郎		基本医学総論			今野 幸太郎		基本医学総論	
専	助教	711 + 70,00	平成29年4月	公開発表演習	専	助教	757 + 75,00	平成29年4月	公開発表演習	
				基本医学研究 I						
									基本医学研究	※ 1
	 			基本医学研究Ⅱ	-				TII rate 20 1.1 - 1	
	1			研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
	1	金野 陽輔		研究発表技法Ⅱ			金野 陽輔		研究発表技法Ⅱ	
専	助教	亚 主ア 中	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	亚 王 門 沙 万 押	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	* 1
				基本医学研究 Ⅱ					坐坐区于明先	w 1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
	1			研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
	1			基本医学総論					基本医学総論	
	1			基本医学研究Ⅰ					_ / /	
									基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ						
				基本公衆衛生学研究I					基本公衆衛生学研究	※2
				基本公衆衛生学研究Ⅱ						
_		佐々木 成子					佐々木 成子			
専	助教		平成29年4月	_	専	助教		平成29年4月	基礎疫学	
										亚世20年 * 早
				_					応用疫学(研究デザイン	平成29年1月 教育体制の見直しにより、
									立案演習) 	科目担当教員として追加
				_					応用疫学(EBM演習)	(29)
									rym及ず(LDIVI規目)	
									応用疫学(疫学研究の実	
	1			_					際)	
	I			ı		1	l .		1	

				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	清水 健太	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	清水 健太	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I						
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I						
										平成29年3月志馬助教退職
		志馬 寛明		研究発表技法Ⅱ						(29) 「後任未定」
専	助教	心厕更奶	平成29年4月	基本医学研究Ⅰ			後任未定			いずれの科目も担当教員が
				基本医学研究 Ⅱ						2名以上いるため、支障は ない。
				基本医学総論						/d. U 10
				研究発表技法I						
				研究発表技法Ⅱ						
				基本医学研究Ⅰ						平成29年3月杉本助教退職
		杉本 智恵								(29) 「後任未定」
専	助教	17.1 11.0	平成29年4月	基本医学研究Ⅱ			後任未定			いずれの科目も担当教員が
				基本医学総論						2名以上いるため、支障は ない。
				基本公衆衛生学研究I						
				基本公衆衛生学研究 Ⅱ						
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	高橋 育子	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	高橋 育子	平成29年4月	基本医学総論	1
,	-52.25			基本医学研究 I		-52.25		. ,,,== 12	2.1 = 7 10 110	
									基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ					= 1 = 1 11 11	
				研究発表技法I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ			-		研究発表技法Ⅱ	
専	助教	竹内 啓	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	竹内 啓	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					***	w.a
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
専	助教	武田 真人	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	武田 真人	平成29年4月	基本医学総論	1
₩	助软		平成29年4月		₩	助软		十成29年4月	基 个区 子 総 調	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究 Ⅱ						
				研究発表技法I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	築山 忠維	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	築山 忠維	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I						
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
									711m20 ± ++ >+ 1	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法I	
		津田 祥美		研究発表技法Ⅱ			津田 祥美		研究発表技法Ⅱ	
専	助教	件田 针夹	平成29年4月	基本医学総論	専	講師	净田 行天	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究 Ⅱ					本 平区于训九	× 1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
		TERKAWI MOHAMAD		研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	ALAA HASAN	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	TERKAWI MOHAMAD ALAA HASAN SHEKH	平成29年4月	基本医学総論	
4	列狄	SHEKH	⊤ <i>җ</i> ∠⋾ + +Л		4	刺软	MEAN HAUMN SHEAT	〒1%23 年 4月	坐坐上下心間	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※ 1
<u> </u>				基本医学研究Ⅱ						
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
+	p. +//.	土佐 紀子	T # 00 # 1 P	基本医学総論	-	DT #/	土佐 紀子	₩ # 00 # 1 5	基本医学総論	
専	助教		平成29年4月	基本医学研究概論	専	助教		平成29年4月	基本医学研究概論	
				基本医学研究 I						
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
 		1		研究発表技法I					研究発表技法 I	
										-
l		中澤 祐一		研究発表技法Ⅱ		l	中澤 祐一		研究発表技法Ⅱ	4
専	助教	-1-7# 141 <u>-</u>	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	-1-74¢ 191	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
L	L	<u> </u>		基本医学研究Ⅱ			<u> </u>	<u></u>	金かに丁卯九	/ ·
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
専	助教	中村 透	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	中村 透	平成29年4月	基本医学総論	1
₩.	如叔		1 MLV+471		47	驯扒		1 %44+17	金かやする調	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※ 1
<u> </u>	<u> </u>	ļ		基本医学研究Ⅱ						
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	西出 真也	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	西出 真也	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I						
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
	1	ı				1	1	<u> </u>		I .

				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	PAUDEL SARAD	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	PAUDEL SARAD	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究法 Ⅱ					基本医学研究法Ⅱ	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ					_,,	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
		橋本 あり		研究発表技法Ⅱ			橋本 あり		研究発表技法Ⅱ	
専	助教	1同本 60 9	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	1同本 めり	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ						
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
_	DL #4	秦 洋郎	T-200-15	研究発表技法Ⅱ	_	DL #/L	秦 洋郎	T-00-10	研究発表技法Ⅱ	
専	助教		平成29年4月	基本医学総論 基本医学研究 I	専	助教		平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
専	助教	東 恒仁	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	東 恒仁	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I	1					
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	平田 健司	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	平田 健司	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					***	w
				基本医学研究 Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	藤岡 容一朗	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	藤岡 容一朗	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	* 1
				基本医学研究Ⅱ					212733	
				研究発表技法I					研究発表技法 I	
		藤原 圭司		研究発表技法Ⅱ			藤原 圭司		研究発表技法Ⅱ	
専	助教	旅水 工門	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	深水 王司	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	* 1
				基本医学研究Ⅱ					711mh 20 ± ++ >+ 1	
				研究発表技法 I 研究発表技法 II					研究発表技法 I 研究発表技法 II	-
専	助教	坊垣 暁之	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	坊垣 暁之	平成29年4月	基本医学総論	
**	D) 13X		T10,20447	基本医学研究 I	4	D) 15X		十成23年4月	坐 个区于心間	
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	本間 理央	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	本間 理央	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I						
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ]				研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
専	助教	的場 光太郎	平成29年4月	基本医学研究Ⅱ	専	助教	的場 光太郎	平成29年4月		
										平成29年1月
									応用社会行動科学(法医	教育体制の見直しにより, 「応用社会行動科学(医療
				_					学)	コミュニケーション学)」 から講義題目名を変更し担
										当者として追加(29)
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ	l				研究発表技法Ⅱ	
専	助教	三井信幸	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	三井 信幸	平成29年4月	基本医学総論	
	-2232		,,,,,	基本医学研究Ⅰ	,	-93-50				
				基本医学研究Ⅱ	1				基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I		1			研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ	1				研究発表技法Ⅱ	1
_		宮﨑 太輔		基本医学総論	l _		宮崎 太輔		基本医学総論	1
専	助教	しゃ 小神	平成29年4月	公開発表演習	専	助教		平成29年4月	公開発表演習	1
				基本医学研究 I	1				#+=###	w. 4
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				L				i	L	

				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	宮武 由甲子	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	宮武 由甲子	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I						
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	-
専	助教	村上 壮一	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	村上 壮一	平成29年4月	基本医学総論	+
₹	助软		十成29年4月		4	助软		十1次23年4月	至 平区于 秘酬	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
-				基本医学研究 Ⅱ						
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
専	助教	村上 学	平成29年4月	基礎医学概論	専	助教	村上 学	平成29年4月	基礎医学概論	
				臨床医学概論					臨床医学概論	
				基本医学研究 I					***	W -
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
				基本医学総論					基本医学総論	-
		山野邉 貴信		基本医学研究 I			山野邉 貴信		坐 本位于心圃	
専	助教	山野座 貝店	平成29年4月		専	助教	山野座 貝店	平成29年4月	基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ						T-100 T 4 D
									*******	平成29年1月 教育体制の見直しにより、
				_					基本医学研究概論	科目担当教員として追加
<u> </u>				THE COLUMN TWO IS NOT					THE COLUMN TWO IS NOT	(29)
				研究発表技法I					研究発表技法I	
		横田 卓		研究発表技法Ⅱ			横田 卓		研究発表技法Ⅱ	
専	助教	悔田 早	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	快田 早	平成29年4月	基本医学総論	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究Ⅱ					坐不区于明九	× 1
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
専	助教	吉田 隆行	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	吉田 隆行	平成29年4月	基本医学総論	1
				基本医学研究 I						
				基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※ 1
				研究発表技法I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	-
専	助教	渡部 昌	平成29年4月	基本医学総論	専	助教	渡部 昌	平成29年4月	基本医学総論	
分	助软		十成29年4月		₹	助学		平成29年4月	基 个区子 彩 丽	
				基本医学研究 I					基本医学研究	※ 1
				基本医学研究 Ⅱ						
					-	助教	山野邉 貴信	平成29年4月	基本医学研究概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより、
					専	助软		十1次25年4月	空 平区于明九帆	科目担当教員として追加 (29)
										(20)
									研究発表技法I	平成29年1月
					専	准教授	守屋 仁彦	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	教育体制の見直しにより、
					4	7E-9X1X		1 /2/20 1/1	基本医学研究	科目担当教員として追加 (29)
									基本医学総論	(
									研究発表技法I	
						pr. 20	杉野 弘和		研究発表技法Ⅱ	マ成29年1月 教育体制の見直しにより、
					専	助教	12 July 3647114	平成29年4月	基本医学研究	科目担当教員として追加
									基本医学総論	(29)
									研究発表技法 I	<u> </u>
							LL // 16 —		研究発表技法Ⅱ	平成29年1月
					専	助教	竹谷 隆司	平成29年4月	基本医学研究	教育体制の見直しにより、 科目担当教員として追加
										(29)
<u> </u>						\vdash			基本医学総論	1
									研究発表技法I	平成29年1月
					専	助教	中川 雅夫	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	教育体制の見直しにより、
									基本医学研究	科目担当教員として追加 ₋ (29)
L									基本医学総論	<u> </u>
1									研究発表技法 I	T-100 (=) =
					_	pr. to	鷲尾 浩平	TI #00 # : =	研究発表技法Ⅱ	マ成29年1月 教育体制の見直しにより、
					専	助教		平成29年4月	基本医学研究	科目担当教員として追加
									基本医学総論	(29)
				医倫理学序論						
	教授	小笠原 克彦	T + 00 + 1 =							
			平成29年4月			1				
兼担	7人1又			+ m m + - + + · · ·				,		
	1212			応用保健医療管理学(医療マネジメント学)						
兼担	4212									

				1						1
兼担	教授	久下 裕司	平成29年4月	基本医学研究概論						
兼担	教授	近藤 英治	平成29年4月	応用社会行動科学(健康 スポーツ・体力科学)	専専	教授 教授	渥美 達也岩崎 倫政	平成29年4月	応用社会行動科学(健康 増進学)	平成29年1月 教育体制の見直しにより、 講義題目名及び担当者の変 更(29)
兼担	教授	佐伯 和子	平成29年4月	応用社会行動科学(地域 保健学)	兼担	教授	佐伯 和子	平成29年4月	応用社会行動科学(地域 保健活動)	平成29年1月 講義題目と教育内容を一致 させるため、応用社会行動 科学(地域保健学)」から講 義題目名変更(29)
兼担	教授	西原 広史	平成29年4月	臨床ゲノミクス概論 臨床情報工学 臨床シークエンス技法 臨床病理・検査医学			後任未定			平成29年3月西原教授退職(29) 「後任未定」 しずれの科目も担当教員2名以上で担当しているため、支障はない。
兼担	教授	宮永 喜一	平成29年4月	臨床情報工学						
		.1		応用環境保健学(国際保 健医学)					応用環境保健学(国際保 健医学)	
兼担	教授	山内 太郎	平成29年4月	-	兼担	教授	山内 太郎	平成29年4月	応用環境保健学(環境と 子どもの健康・発達)	平成29年1月 教育課程を充実させるた め、科目担当教員の追加 (29)
兼担	准教授	荒木 敦子	平成29年4月	応用環境保健学(環境健 康学)	兼担	准教授	荒木 敦子	平成29年4月	応用環境保健学(環境化 学物質と人々の健康)	平成29年1月 講義題目と教育内容を一致 させるため、「応用環境保 健学(環境健康学)」から講 義題目変更(29)
				-					応用環境保健学(環境と 子どもの健康・発達)	平成29年1月 教育課程を充実させるた め、科目担当教員の追加 (29)
				臨床情報工学臨床疫学					臨床情報工学 臨床疫学	
兼担	准教授	遠藤 晃	平成29年4月	応用保健医療管理学(医療情報学)	兼担	准教授	遠藤 晃	平成29年4月	応用保健医療管理学(医療情報・安全管理学)	平成29年1月 効果的かつ効率的な教育を 行うため、「応用保健医療 管理学(医療安全学)」と 「応用保健医療管理学(医療情報学)」を統合し、講 義題目を変更(29)
兼担	准教授	七戸 秀夫	平成29年4月	応用社会行動科学(生命 倫理学)						
兼担	准教授	清水 力	平成29年4月	臨床病理・検査医学						
兼担	准教授	長 和俊	平成29年4月	臨床医学概論	専専	教授 助教	大滝 純司村上 学	平成29年4月	臨床医学概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより科 目担当教員の変更(29)
兼担	准教授	南須原 康行	平成29年4月	応用保健医療管理学(医療安全管理学)	兼担	准教授	南須原 康行	平成29年4月	応用保健医療管理学(医療情報・安全管理学)	平成29年1月 効果的かつ効率的な教育を 行うため、「応用保健医療 管理学(医療安全管理学)」 と「応用保健医療管理学(医療情報学)」を統合 し、講義題目を変更(29)
兼担	准教授	行木 孝夫	平成29年4月	臨床情報工学						
兼担	准教授	平野 美千代	平成29年4月	応用社会行動科学(地域 保健学)	兼担	准教授	平野 美千代	平成29年4月	応用社会行動科学(地域 保健活動)	平成29年1月 講義題目と教育内容を一致 させるため、「応用社会行 動科学(地域保健学)」から 講義題目名変更(29)
兼担	講師	船越 忠直	平成29年4月	臨床医学概論	専	教授 助教	大滝 純司村上 学	平成29年4月	臨床医学概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより科 目担当教員の変更(29)
兼担	講師	山田 崇弘	平成29年4月	臨床ゲノミクス概論						
兼担	講師	横式 尚司	平成29年4月	臨床医学概論	専専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	臨床医学概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより科 目担当教員の変更(29)

			基本実験・研究計画法	専	教授	玉腰 暁子	平成29年4月	基本実験・研究計画法	平成29年1月 教育体制の見直しにより科 目担当教員の変更(29)
兼任	非常勤講師	岸 玲子		-15- 6		岸 玲子	T-00-645	応用環境保健学(環境化 学物質と人々の健康)	平成29年1月 教育課程を充実させるた
				兼任	非常勤講師		平成29年4月	応用環境保健学(環境と 子どもの健康・発達)	め,科目担当教員の追加 (29)
								基礎疫学	
				兼担	助教	岡田 恵美子	平成29年4月	応用疫学(研究デザイン 立案演習)	平成29年1月 教育体制の見直しにより、
				#\1 <u>=</u>	40143		+10,20447	応用疫学(EBM演習)	科目担当教員として追加 (29)
								応用疫学(疫学研究の実 際)	
				兼担	教授	長谷山 美紀	平成29年4月	臨床情報工学	平成29年1月 教育体制の見直しにより、 科目担当教員として追加 (29)
				兼担	教授	水田 正弘	平成29年4月	臨床情報工学	平成29年1月 教育体制の見直しにより、 科目担当教員として追加 (29)
				兼担	助教	林 秀幸	平成29年4月	臨床シークエンス技法	平成29年1月 教育体制の見直しにより、
				#K1E	40143		+10,20447	臨床ゲノミクス概論	科目担当教員として追加 (29)
				兼担	助教	天野 虎次	平成29年4月	臨床シークエンス技法	平成29年1月 教育体制の見直しにより、 科目担当教員として追加 (29)
				兼担	教授	石津 明洋	平成29年4月	臨床病理・検査医学	平成29年1月 教育体制の見直しにより、 科目担当教員として追加 (29)
				兼担	准教授	田中 敏	平成29年4月	臨床病理・検査医学	平成29年1月 教育体制の見直しにより、 科目担当教員として追加 (29)
				兼担	教授	畑中 豊	平成29年4月	臨床病理・検査医学	平成29年1月 教育体制の見直しにより、 科目担当教員として追加 (29)
				兼担	准教授	伊藤 公人	平成29年4月	応用生物統計学(生物情 報学と計算生物学)	平成29年1月 教育体制の見直しにより、 科目担当教員として追加 (29)
				兼担	教授	前仲 勝実	平成29年4月	応用生物統計学(創薬発 見科学)	平成29年1月 教育課程を充実させるた め、科目担当教員の追加 (29)
				兼担	助教	水野 芳子	平成29年4月	応用社会行動科学(地域 保健学)	平成29年1月 教育課程を充実させるた め、科目担当教員の追加 (29)
				兼担	准教授	宮下 ちひろ	平成29年4月		平成29年1月 教育体制の見直しにより、 科目担当教員として追加 (29)
				兼担	講師	伊藤 佐智子	平成29年4月	応用環境保健学(環境化 学物質と人々の健康)	平成29年1月 教育体制の見直しにより、 科目担当教員として追加 (29)
				兼担	講師	湊屋 街子	平成29年4月		科目担当教員として追加 (29)
				兼担	教授	田中 俊逸	平成29年4月		平成29年1月 教育体制の見直しにより、 科目担当教員として追加 (29)
				兼担	教授	松本 伊知朗	平成29年4月		平成29年1月 教育課程を充実させるた め、科目担当教員の追加 (29)
								応用環境保健学(環境適 応学総論)	
				兼担	准教授	藏崎 正明	平成29年4月	応用環境保健学(環境適 応学特論)	平成29年1月 教育課程を充実させるた め、科目担当教員の追加 (29)
								応用環境保健学(環境計 量学特論)	

		兼担	教授	田中 俊逸	平成29年4月	応用環境保健学(環境適 応学総論) 応用環境保健学(環境適 応学特論) 応用環境保健学(環境計 量学特論)	平成29年1月 教育課程を充実させるた め、科目担当教員の追加 (29)
		兼担	准教授	豊田 和弘	平成29年4月	応用環境保健学(環境適 応学総論) 応用環境保健学(環境適 応学特論) 応用環境保健学(環境計 量学特論)	平成29年1月 教育課程を充実させるた 教育課程を充実させるた が、利目担当教員の追加 (29)
		兼担	准教授	沖野 龍文	平成29年4月	応用環境保健学(環境適 応学総論) 応用環境保健学(環境適 応学特論) 応用環境保健学(環境計 量学特論)	平成29年1月 教育課程を充実させるた 教育課程を充実させるた め、利目担当教員の追加 (29)
		兼担	教授	齋藤 健	平成29年4月	応用環境保健学(環境適 応学特論)	平成29年1月 教育体制の見直しにより、 科目担当教員として追加 (29)
		兼担	教授	細川 敏幸	平成29年4月	応用環境保健学(環境適 応学特論)	平成29年1月 教育体制の見直しにより、 科目担当教員として追加 (29)
		兼担	教授	本村 泰三	平成29年4月	応用環境保健学(環境適 応学特論)	平成29年1月 教育体制の見直しにより、 科目担当教員として追加 (29)
		兼担	准教授	廣川 淳	平成29年4月	応用環境保健学(環境適 応学総論) 応用環境保健学(環境計 量学特論)	平成29年1月 教育体制の見直しにより。 科目担当教員として追加 (29)
		兼担	教授	清水 伸一	平成29年4月	臨床ゲノミクス概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより、 科目担当教員として追加 (29)
		兼担	助教	王磊	平成29年4月	臨床ゲノミクス概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより、 科目担当教員として追加 (29)
		 兼任	非常勤講師	池野 多美子	平成29年4月	応用環境保健学(環境と 子どもの健康・発達)	平成29年1月 教育課程を充実させるため、科目担当教員の追加 (29)
		兼任	非常勤講師	神 和夫	平成29年4月	応用環境保健学(環境適 応学総論)	平成29年1月 教育体制の見直しにより
		NKIT			1 1000-4473	応用環境保健学(環境計 量学特論)	科目担当教員として追加 (29)

- - 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

 - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。 ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。 ・年齢は、「<u>股置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢</u>を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢 を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、 変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、 及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画 変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。<mark>AC教員審査を受けずに専任</mark>
 - 教員として授業等を<u>担当することは出来ません。</u> 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定 の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度 ()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時におけ る設置基準上の必 要研究指導教員数	うち、完成年度時 における設置基準 上の必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
6	4	6
名	名	名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件 (平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号) により 算出される教員数を記入してください。
 - (2) -② 専任教員数

	設	置	時 (の計画		:	現在(報告	書提出問	寺)の状況		現在(報告書提出時)の完成年度時の計画					
教授	准教) 授	講自	市 助 教	計	教 授	准教授	推教授 講 師		計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	
52	28	8	19	62	161	44	31	15	63	153	44	31	15	63	153	
(44)	(3:	2)	(15)	(63)	(154)						[Δ8]	[3]	[△4]	[1]	[\(\Delta \) \(\]	
研究指						研究指導教員 数 研究指導補助 教員数			講義のみ担 当の教員数		研究指導教員 数	員 研究指導 教員		のみ担当の教 員数		
57		104	1	0		52	1	01	0		52	101		0		
(52)	(102	2)	(0)	/		·	•		/	[△5]	[△3	3]	[0]		

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成											
定年規定の定め る定年年齢 (歳)	報告書提出時 (上記(A)) の教員のうち、 定年を延長して 採用している教 員数	完成年度時(上 記(B))の教 員うち、定年を 延長して採用す る教員数										
65	0	0										
歳	名	名										

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員教もとが完成年度時に完任をお考えて再任教員として採用する教員教を記すしてくれます。
 - 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

〈修士課程〉

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由		
			必修	研究発表技法I	1			
			必修	研究発表技法Ⅱ	1			
1	教授	玉木 長良	必修	基本医学研究 [1	平成29年3月退職のため、就任辞退(29)		
'	邻按	五个 技及	必修	基本医学研究Ⅱ	1]		
			選択	基本医学総論	1			
			必修/選択	臨床医学概論	1	※履修コースにより、必修/選択の区別が異なる。		
			必修	研究発表技法 I	1			
			必修	研究発表技法Ⅱ	1			
2	教授	筒井 裕之	必修	基本医学研究 I	1	平成28年7月退職のため、就任辞退(29)		
			必修	基本医学研究 Ⅱ	1			
			選択	基本医学総論	1			
			必修	研究発表技法 I	1			
			必修	研究発表技法Ⅱ	1			
3	教授	福田 諭	必修	基本医学研究 I	1	平成29年3月退職のため、就任辞退(29)		
			必修	基本医学研究Ⅱ	1			
			選択	基本医学総論	1			
			必修	研究発表技法Ⅰ	1			
			必修	研究発表技法Ⅱ	1			
4	教授	安田 和則	必修	基本医学研究 I	1	平成29年3月退職のため、就任辞退(29)		
			必修	基本医学研究Ⅱ	1			
			選択	基本医学総論	1			
			必修	研究発表技法Ⅰ	1			
			必修	研究発表技法Ⅱ	1			
5	教授	櫻木 範明	必修	基本医学研究 I	1	平成29年3月退職のため、就任辞退(29)		
				必修	基本医学研究Ⅱ	1		
			選択	基本医学総論	1			
			必修	研究発表技法 I	1			
			必修	研究発表技法Ⅱ	1			
6	教授	水上 尚典	必修	基本医学研究Ⅰ	1	平成29年3月退職のため、就任辞退(29)		
			必修	基本医学研究Ⅱ	1			
			選択	基本医学総論	1			
			必修	研究発表技法Ⅰ	1			
			必修	研究発表技法Ⅱ	1			
7	教授	瀬谷 司	必修	基本医学研究 I	1	□平成28年3月退職のため,就任辞退(29)		
			必修	基本医学研究Ⅱ	1			
			選択	基本医学総論	1			
			必修	研究発表技法 I	1			
			必修	研究発表技法Ⅱ	1			
8	教授	三輪 聡一	必修	基本医学研究 I	1	■平成28年9月退職のため,就任辞退(29)		
			必修	基本医学研究Ⅱ	1	4		
			選択	基本医学総論	1			
			必修/選択	基礎医学概論	1	※履修コースにより、必修/選択の区別が異なる。		
			必修	研究発表技法 I	1	4		
			必修	研究発表技法Ⅱ	1	1		
			必修	基本医学研究 I	1			
9	准教授	若尾 宏	必修	基本医学研究Ⅱ	1	□平成28年12月退職のため,就任辞退(29)		
			選択	基本医学総論	1			
			必修	基本公衆衛生学研究 I	1	4		
			必修	基本公衆衛生学研究Ⅱ	1			

			必修	研究角	表技法 I	1									
			必修	研究角	ễ表技法 Ⅱ	1									
講師	泉	剛	必修	基本医	受研究 I	1		平月	成29年3月	月退職の	職のため、就任辞退(29) 職のため、就任辞退(29) + (B) (b) ③の合計数(c)) 科目 必修 0 科目) 科目 選択 0 科目				
			必修	基本医	≧学研究 Ⅱ	1		1							
			選択	基本	医学総論	1			1						
			必修	研究角	表技法 I	1									
		必修	研究角	ễ表技法Ⅱ	1		1								
11 助教 志馬 寛明			必修	基本图	学研究 I	1	平成29年3月退職のため,就任辞退(29)								
			必修	基本医	学研究Ⅱ	1		1							
			選択	基本	医学総論	1									
			必修	研究角	表技法 I	1									
	杉本 智	智恵	必修	研究角	8表技法Ⅱ	1									
			必修	基本医	学研究 I	1									
助教			必修	基本医学研究 Ⅱ		1		平月	成29年3月	月退職∂	りため	カ, 就任	辞退((29)	
			選択	基本医学総論		1									
			必修	基本公衆	衛生学研究I	1)									
			必修	基本公衆	衛生学研究 Ⅱ	1									
		合計	(A)				後	任初	i充状況σ	集計((B)				
就任を辞退した教員数			担当科目数の合	計 (a) +	(b) + (c)	①の合計	数(a)		②の合計	十数(b) (③の合計	数(c)	
			必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
12 人		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目		
	\	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目		
		計	9 科目		計	9	科目	計	0	科目	計	0	科目		
	助教助教	助教 志馬 が お本 が お本 が が お が お が お が お が が か が か が が か が が か が か	助教 志馬 寛明 助教 杉本 智恵 合計 ば任を辞退した教員数	記した教員数 担当科目数の合理	説	上の修 研究発表技法 日本医学研究 上の修 基本医学研究 上本医学総論 上本医学総論 上本医学の 上本医学の 上本医学の 上本医学の 上上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上	講師 泉剛 必修 基本医学研究 I ① 必修 基本医学研究 I ① 選択 基本医学総論 ① 必修 研究発表技法 I ① 必修 研究発表技法 I ① 必修 基本医学研究 I ① 選択 基本医学研究 I ① 選択 基本医学研究 I ① 必修 研究発表技法 I ① 必修 研究発表技法 I ① 必修 基本医学研究 I ① 遊修 基本医学研究 I ① 必修 基本医学研究 I ① 必修 基本公衆衛生学研究 I ① 企修 基本公衆衛生学研究 I ①	過少修 研究発表技法 ①	過少修 研究発表技法 ①	過程	過少修 研究発表技法 ①	講師 泉剛 必修 基本医学研究 I ① 平成29年3月退職のため 必修 基本医学総論 ① ② 平成29年3月退職のため 必修 基本医学総論 ① 平成29年3月退職のため 必修 研究発表技法 I ① 平成29年3月退職のため 必修 基本医学総論 ① 必修 基本医学総論 ① 必修 研究発表技法 I ① 必修 基本医学総論 ① 必修 基本医学研究 I ① 必修 基本医学総論 ① 必修 基本医学総論 ① 必修 基本医学総論 ① 必修 基本公衆衛生学研究 I ① 公修 基本公衆衛生学研究 I ① 公修 基本公衆衛生学研究 I ① 公修 基本区 ②の合計数 (b) 工工 2の合計数 (b) 以修 2の合計数 (b) 2の合計数 (c) 2の合計数 (c) 3日 2の合計数 (c) 2の合計数 (c)	講師 泉 剛 必修 基本医学研究 I ① 必修 基本医学研究 I ① 選択 基本医学総論 ① 必修 研究発表技法 I ① 必修 基本医学総論 ① 必修 基本医学研究 I ① 必修 基本医学研究 I ① 必修 基本医学研究 I ① 必修 研究発表技法 I ① 必修 基本医学総論 ① 必修 基本医学研究 I ① 必修 基本医学研究 I ① 必修 基本医学総論 ① 必修 基本医学総論 ① 必修 基本医学総論 ① 心修 基本医学総論 ① 企修 基本公衆衛生学研究 I ① 必修 基本公衆衛生学研究 I ① 必修 基本公衆衛生学研究 I ① 企修 基本公 R 和目 必修 選択 1 本局 必修	点脚 必修 研究発表技法 I ① 必修 基本医学研究 I ① 選択 基本医学総論 ① 必修 研究発表技法 I ① 必修 研究発表技法 I ① 必修 基本医学総論 ① 必修 基本医学研究 I ① 必修 基本医学研究 I ① 必修 研究発表技法 I ① 必修 研究発表技法 I ① 必修 研究発表技法 I ① 必修 基本医学研究 I ① 必修 基本医学研究 I ① 必修 基本医学研究 I ① 必修 基本公衆衛生学研究 I ① 企修 8 科目 必修 0 本国 企修 0 本国 必修 0 本国 2 2 2 2 2	

※履修コースにより、必修/選択の別が異なる「基礎医学概論」・「臨床医学概論」は、必修科目としてカウントした。

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)ー②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専仟教員辞仟の理由及び後仟補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当:	予定科目	後任補充	状況			辞任	等σ)理由		
			必修	研究角	ễ表技法 I	1								
			必修	研究角	8表技法Ⅱ	1								
1	准教授	北村 信人	必修	基本图	≣学研究 I	1		平成	平成29年4月退職のため辞任(29)					
			必修	基本图	≧学研究 Ⅱ	1								
			選択	基本	医学総論	1								
		合計	(C)				後	任補	充状況の	集計	(D))		
	辞任	した教員数	担当科目数の合	·計 (a) +	(p) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (数(b)	③の合計数 (c)		
			必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	1	, ,	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)-①・(3)-② の合計

	合計(A	後任補充状況の集計 (B) + (D)									
辞任等した教	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計					∤数(c	3)				
		必修	8	科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0	科目
40		選択	1	科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0	科目
13	, ,	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9 科目	計	0 科目	計	0	科目

- (注)・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について,教員数、担当科目数の合計,後任補充の状況を記入ください。
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の退職に伴う就任辞退であるが,いずれの科目も分野・教室の助教以上の専任教員全員で担当していることから教育・研 究指導に支障はない。

学生に対しては、教員の所属教室において周知している。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を 記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留意事項	等	履行状況	未履行事項について の実施計画
設 置 時				
(平成29年4月)	該当なし			

- (注)・「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する 履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付 してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される<u>全ての報告書に</u> 記入してください。
 - 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<大学院医学院 医科学専攻(修士課程)>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 回	画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	į	該当なし

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については 適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
 - 1. 高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会
 - 2. 大学院医学研究院医学教育推進センター運営委員会, 医学教育推進センター会議
- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
 - 1. 高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会(平成29年度開催予定)
 - 2. 大学院医学研究院医学教育推進センター運営委員会(平成29年度開催予定), 大学院医学研究院医学教育推進センター会議(平成29年度開催予定)
- c 委員会の審議事項等
 - 1. 高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会

教員、ティーチング・アシスタント、ティーチング・フェロー等に係る研修の企画、立案及び実施に関すること。

職員に係る研修の企画、立案及び実施並びに研修情報の一元化に関すること。

総合入試制度に係る進路支援、修学支援、学習支援、データ分析等に関すること。

その他教職員等の研修に関すること。

2. 大学院医学研究院医学教育推進センター運営委員会, 医学教育推進センター会議

医学教育の研究開発・企画、立案、実施にかかること

教育の評価システムについての情報収集及び解析に関すること

共用試験についての実施及び管理に関すること

教員のFDについての企画及び実施に関すること

その他医学教育についての研究開発及び推進に関すること

② 実施状況

- 1. 高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会
 - a 実施内容

本学教職員を対象としたFDの実施

b 実施方法

ワークショップ形式、講義形式、講演会等の本学教職員を対象としたFDの実施

- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - 平成28年度の実施状況は以下のとおりであり、平成29年度も継続的にFDを実施する予定である。
 - ・「クリッカーの使い方入門」研修(4/22,5/26,北大:19名,北大以外:9名)
 - 「学習への動機付けを行う授業スキル」ワークショップ(5/13, 北大:11名, 北大以外:5名)
 - ・新任教員向け研修「知って活用したい北大の諸制度」(5/20, 北大:36名)
 - ・ワークショップ「効果的なグループワークのためのファシリテーション入門」(5/27, 北大:21名, 北大以外:8名)
 - ・総長室事業推進経費プロジェクトによる北大教育改革に係る研究成果発表ワークショップ(6/8, 北大:37名)
 - ・第29回北海道大学教育ワークショップ(6/17-18, 北大:21名)
 - ・アカデミック・プレゼンテーション研修「英語によるアカデミック・プレゼンテーションの実践」(5-7月,期間中4回,北大:6名)
 - ・講演会「第三期中期計画・中期目標からみる今後の国立大学の方向性」(6/22, 北大:93名, 北大以外:16名)
 - ・ワークショップ「学生の思考を深め、発言を促すための問いかけと場づくり」(6/23、北大:16名、北大以外:10名)
 - ・アカデミック・プレゼンテーション研修「英語によるアカデミック・プレゼンテーションの基礎」(6/30, 北大:28名, 北大以外:5名)
 - ・ルーブリック評価表作成ワークショップ (7/8, 北大:18名, 北大以外:13名)
 - ·英語発音力講座 (7/9,11, 北大:94名, 北大以外:1名)
 - ・ワークショップ「英語でシラバスを作成する」(8/22, 北大:11名)
 - ・国際シンポジウム「学生と共に創る教育の質保証~SA, TA, PFFなどのこれから~」(9/8, 北大:43名, 北大以外:13名)
 - ·Workshop on creating rubrics (9/13, 北大:8名, 北大以外:1名)
 - 第30回北海道大学教育ワークショップ(9/14-15,北大:21名,北大以外:6名)
 - ・講演会「授業準備と運営~学習者の認知・心理的側面から~」(11/11, 北大:33名, 北大以外:19名)
 - ・第31回北海道大学教育ワークショップ(11/18-19, 北大:15名, 北大以外:1名)
 - ・ワークショップ「学生の思考を深め、発言を促すための問いかけと場づくり」(12/9、北大:7名、北大以外:7名)
 - ・英語によるアカデミックプレゼンテーションの基礎(前編) (12/12, 北大:36名, 北大以外:11名)
 - ・シラバスのブラッシュアップ研修(12/17, 北大:9名, 北大以外:7名)
 - ・英語によるアカデミックプレゼンテーションの基礎(後編) (12/19, 北大:14名)
 - ・研究室マネジメント研修(1/27, 北大:13名, 北大以外:4名)
 - ・英語コミュニケーション研修 (リスニング研修) (2/10, 北大:24名, 北大以外:6名)
 - ・英語コミュニケーション研修 (スピーキング研修) (2/11, 北大:21名, 北大以外:7名)
 - ・講演「日本語による授業から英語による授業へ」(3/29, 北大:40名, 北大以外:7名)
 - · 部局長研修会 (4/25-3/9, 期間中8回)
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各FD終了後にアンケートを実施し、参加者の傾向や満足度等を分析し、次回以降の同行事の改善に役立てている。

- 2. 大学院医学研究院医学教育推進センター運営委員会, 医学教育推進センター会議
 - a 実施内容
 - ・初任者対象の、カリキュラムプランニングについてのワークショップ
 - ・医学教育の国際認証基準、カリキュラム改革の必要性、新カリキュラムでの臨床実習のスケジュール、診療参加型実習の 具体例、学習項目や評価方法、学外実習の準備状況などについて講義
 - ・国際基準に基づく医学教育分野別外部評価と、医学教育改革についての講義
 - ・新カリキュラムの現状と課題についてのワークショップ
 - b 実施方法

医学研究科、医学部医学科の教育を担当している者を対象としてワークショップ形式、講義形式、講演会等のFDを実施し、受講証明書を発行した。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

平成28年10月12日(22名), 4月20日(74名), 6月8日(49名), 8月12日(45名)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1の全学FDや専任教員の所属する教員組織におけるFDへの参加を強く推奨するほか、学院の自己点検評価・外部評価等を活用し、明らかになった問題点・課題について、教授会や教務委員会で検討を行い、教育改善に努める

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - 1. 高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会
 - a 実施の有無及び実施時期

全学教育科目に係る学生による授業評価アンケートを紙面にて実施している。毎年度、第1学期と第2学期に実施している。

b 教員や学生への公開状況, 方法等

全学教育科目に係る学生による授業アンケート報告書を作成し、高等教育推進機構のホームページに公表している。 第1学期と第2学期のデータを併せて1年分の結果を教員本人と教員の所属部局長、科目責任者へ通知している。 アンケートの質問項目に対する回答結果及び学生の自由意見を受けて、各教員や科目責任者に報告書を提出してもらい、 提出されたものの中から授業改善への効果があるものや他の教員の参考になる事例等を高等教育推進機構のホームページで 公表している。

- 2. 大学院医学研究院医学教育推進センター運営委員会、医学教育推進センター会議
 - a 実施の有無及び実施時期

各学期末(前期:7月~8月、後期:1月~2月)に実施を予定している。

b 教員や学生への公開状況, 方法等

修了時アンケートの実施結果については、教務委員会において、カリキュラム改定の検討材料として取り扱っている。 公開方法等については、今後、検討予定である。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。 (記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

北海道大学の4つの基本理念(フロンティア精神、国際性の涵養、全人教育、実学の重視)及び医学院の理念(世界をリードする先進的医学研究の推進、高い倫理観と豊かな人間性を有する医学研究者・医療人の育成による人類の健康と福祉への貢献)の下、医学・生命科学・社会医学(公衆衛生学)に関する高い倫理観及び高度な専門的知識と研究及び教育・実践能力を備えた人材、ならびに健康および安全に対する多様かつ広範な地域社会または国際社会の要請に応えることのできる広くかつ高い見識を備えた人材の養成を教育目標とする。

平成29年4月には医科学専攻修士課程29名が入学したが、医学院の教育目標に基づき、医学・生命科学・公衆衛生学領域の研究者や教育者として、医療・公衆衛生関連分野の高度専門職業人として、あるいは保健医療や保健政策マネジメントなどの専門家として、それぞれの領域において貢献をなす活動を将来独自で行えるための基礎的知識と基礎的技能を有した人材を養成する。

今後,教育実施体制,教育内容・方法,学業の成果,進路・就職状況等の観点から,教育活動及び教育清課の状況について定期的に自己点検・評価を行うとともに、学外者による外部評価を受けることとする。

- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表(予定)時期
 - ・未定
- b 公表方法
 - ・本学院のホームページ上に公開予定(時期未定)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・本学では、平成27年度に大学評価・学位授与機構が実施する大学機関別認証評価を受審したところであり、 平成33年度に次回の認証評価(大学改革支援・学位授与機構が実施)を受審する予定である。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

0	設置計画履行状況報告書		
а	ホームページに公表の有無	(有 ・ 無)
b	公表時期(未公表の場合は予定時期)	(平成29年 6月 1E	1)

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

国立大学法人 北海道大学

- (2) 大 学 名 北海道大学
- (3) 大学の位置

〒060-8638: 北海道札幌市北区北15条西7丁目 (〒060-0808: 北海道札幌市北区北8条西5丁目)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を() 書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。
- (4) 管理運営組織

職名		設	置	時	変	更	状	況	備	考	
学長		名表	和豊	ハル) :春 月1日)							
学院長		吉		_							

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 平成27年度に報告済の内容 → (27) 平成29年度に報告する内容 → (29)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

- (5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等
 - (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ 様式は、平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが、開設年度・ 修業年限に合わせて作成してください。(<u>修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けて</u>ください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等	学位又は学科の	Ī	<u> </u>	備考	
の名称(学位)	分野	修業年限	入学定員	収容定員	1佣 有
大学院医学院 医学専攻(博士課程) 博士(医学)	医学関係	4	90	360	基礎となる学部等 医学部医学科

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

		報告年度	平成 2	9年	丰度	平原	戊3	0 年度	平成	3	1年度	Ī	平成3	2	2年度	平均入学定員	備考
区	分		春季入学	その他	他の学期	春季万	八学	その他の学期	春季入	学	その他の学	胡苇	春季入学	₹	その他の学期	超過率	NHI 2⊒
			人。	0	人		人	人		人	J	T	人		人		
Α	入学	全定員	,	- -)	([)	()		([)		
	志願	i者数	88 (6) [5]	()	()	()	()	()) (() []	(() []		
	受験	者数	87 (6) [5]	()	()	()	()	()) (() []	(() []	0. 93倍	毎年10月入学で6名前後の 入学者が見込まれること から、定員は充足する予
	合格	者数	84 (6) [5]	()	()	()	()	()	, (()	(() []		定である。
	вλ	、学者数	84 (6) [5]	([)	([)	()	()	()	, (() []	(()		
J		員超過率 /A			0.	93											

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、<u>各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出</u>してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

$\overline{}$	報告年度	平成 2	9 年度	平成3	0年度	平成3	1年度	平成3	2 年度	. 備 考
学 年		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
		84								
	1 年次					[]	[]	[]	[]	
		(-)	()	()	()					
	2年次	_		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
			ļ	()	()	()		()	()	
					$\overline{}$					
Ì	3年次					[]	[]	[]	[]	
						()	()	()	()	
	4 年次							r 1	г 1	
ı	4 4 0				•			()	()	
		8	34							
	計	[;	5]	[]	[]	[]	
Ì		(-	-)	()	()	()	

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度<u>の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数</u>を記**入してください。
 - ・()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	入学者数(b)	退学者数(a)	退学	学者数(内訳))	主な退学理由	入学者数に 対する退学者数
対象年度			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		の割合 (a/b)
平成29年度 入学者	84 人	0人	平成29年度	Д	Д		0.00 %
合 計	84 人	0 人					0.00 %

- (注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、<u>退学者数の内数</u>を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学 (大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校 (専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、 【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<大学院 医学院 医学専攻>

(1) 授業科目表

科目		配当		į	単位	数			専任	0 員等	の	配置			
区分	授業科目の名称	年次	必	修	選技	R	自 由	教 授	准教授	講館	币月	助 教	助手		備考
	医学研究概論	1前	1					2 3				2 1	1 2	兼 1	教育実施体制の見直しにより, 担当教員を変更。 (29)
	実験・研究計画法	1前	1					5 4	1					兼 1	教育実施体制の見直しにより, 担当教員を変更。 (29)
共通	公開発表演習	1・2・3通	1					1	1	4		3			教育実施体制の見直しにより, 担当教員を変更。 (29)
ア科	医倫理学	1前	1					7 6	1					兼 1	教育課程を充実させるため,担 当教員を追加。(29)
B	研究発表技法 I	1 · 2 · 3 · 4通	1					44 52	31 28	15 19		63 62			教育実施体制の見直しにより, 担当教員を変更。 (29)
	研究発表技法Ⅱ	1 · 2 · 3 · 4通	2					44 52	31 28	15 19		63 62			教育実施体制の見直しにより, 担当教員を変更。 (29)
	トランスレーショナルリサーチ概論	1前	1					1							
	医学研究法 I	1・2前	1					3	2 1	1		5			教育実施体制の見直しにより, 担当教員を変更。(29)
必修科目	医学研究法 II	1・2前・後	1					3 2		2		1			教育実施体制の見直しにより, 担当教員を変更。 (29)
基盤	基盤医学研究	1~4通	10					44	31	15		63			科目の新設 (29)
医学コース	基盤医学研究Ⅰ-	1~4通	4					52	28	19		62			科目の廃止:効果的かつ効率的 な教育を行うため、「基盤医学 研究」へ統合。(29)
	基盤医学研究Ⅱ	1~4通	6					52	28	19		62			科目の廃止:効果的かつ効率的 な教育を行うため, 「基盤医学 研究」へ統合。 (29)
	臨床医学研究法 I	1・2通	1					1 2							教育実施体制の見直しにより, 担当教員を変更。 (29)
必 修 科	臨床医学研究法Ⅱ	1・2通	1											兼 1	
日(臨床	臨床医学研究	1~4通	10					22	21	7		20			科目の新設(29)
医学コース	<u>臨床医学研究 I</u>	1~4通	4					27	18	10		19			科目の廃止:効果的かつ効率的 な教育を行うため, 「臨床医学 研究」へ統合。 (29)
	臨床医学研究Ⅱ	1~4通	6					27	18	10		19			科目の廃止:効果的かつ効率的 な教育を行うため、「臨床医学 研究」へ統合。(29)
	社会医学研究法 I	1·2後	1					1	1			1			教育実施体制の見直しにより, 担当教員を変更。 (29)
必 修 科	社会医学研究法Ⅱ	1・2前	1						1						
目 社 会	社会医学研究	1~4通	10					5	4			6			科目の新設(29)
医学コース	社会医学研究工	1~4通	4					5	5			7			科目の廃止:効果的かつ効率的 な教育を行うため, 「社会医学 研究」へ統合。(29)
	社会医学研究Ⅱ	1~4通	6					5	5			7			科目の廃止:効果的かつ効率的 な教育を行うため, 「社会医学 研究」へ統合。 (29)
選択科目	医学総論	1.2.3.4 前.後			2			44 52	31 28	15 19		63 62			教育実施体制の見直しにより, 担当教員を変更。 (29)

- (注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任,兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上 で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは 赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

 - 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合
 - には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)

 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

		設	置	時	の	計	画			変	Ξ	更	状	;	況	備	考
	必	修	選	択	自	由	計	(A)	必	修	選	択	自	由	計	NH	75
Ī		科目		科目		科目		科目		科目		科目		科目	科目		
		19		1		0		20		16		1		0	17		
									[△	3]	[0]	[0]	[△3]		

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	基盤医学研究 I	4	1~4通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため, 基盤医学研究(10単位)として開講
2	基盤医学研究Ⅱ	6	1~4通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため, 基盤医学研究(10単位)として開講
3	臨床医学研究 I	4	1~4通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため, 臨床医学研究(10単位)として開講
4	臨床医学研究Ⅱ	6	1~4通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため, 臨床医学研究(10単位)として開講
5	社会医学研究 I	4	1~4通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため, 社会医学研究(10単位)として開講
6	社会医学研究Ⅱ	6	1~4通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため, 社会医学研究(10単位)として開講

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止した授業科目については,研究指導科目であり,全て効果的かつ効率的な教育を行うため,一つの 科目に統合したものである。教育内容及び修了要件に影響はない。 学生に対しては,シラバスにて周知済みである。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の意

 未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計
 =
 6
 =
 30.00
 %

 設置時の計画の授業科目数の計 (A)
 =
 20
 =
 30.00
 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分					内					3	容				備考
(1)		区	分		専	Я	Ħ	共	用			する代				計		
+->-		校舎	豪敷地	<u>t</u>		923,	, 867 m²		0	m²			0	m		,	867 m ^f	
校		運動	場用地			175,	, 488 m²		0	mî			0	mi		175,	488 m	大学全体
地		小	計	•		1, 099	, 355 m²		0	m²			0	m³		1, 099,	355 m [†]	
等		そ	の他		65	59, 049,	, 323 m²		0	mi			0	m²	65	59, 049,	323 m ²	
		合	計	•	66	60, 148,	, 678 m²		0	m²	# 55	1-1- 7 h	0	m	66	60, 148,	678 m ^f	
					専	Ħ	Ħ	共	共 用			する他 と等の専				計		
(2) 校			舎			776,	494 m²		0 m²				0	mi		776, 4	94 m [*]	大学全体
			1			76, 494		(0 m²		(m³)	(76, 494		
(O) #*	講 義 室						演習室実験実習				室 情報処理学習別				語字	学習施		
(3) 教	教 室 等 68室							室			室(補助職員			室 人) (補助		室		
							新設学部等の名称						室	A)	(補助 数		人)	
(4) 専	任教員	研究	室				医学部						安	-				
				3	図 書		学術雑誌											
(5)		設学部 の名称			ち外国書〕		〔うち外		電子ジ	ャーナル	1	児聴覚:	資料	機械・器	具	標	本	
	,	ハロヤ	"			m		種	〔うち	小国書〕			点		点		点	
図					3, 838, 81 [1, 788, 39		r	84, 673 37, 105)		21, 399 [20, 170		89, 44	44	0		()	学院単位での特定が不
書•	ŀ	医学院	元		3, 838, 81 [1, 788, 39	3		84, 673 37, 105]	37, 105) (20			(89, 44	44)	(0)		(())	能なため、大学全体の 数
設備		計			3, 838, 81 (1, 788, 39		ĺ	84, 673 37, 105)	573 21, 105) (20,		, 170)		44	0		()	
		ρI			3, 838, 81 (1, 788, 39		ſ	84, 673 37, 105)	3 21			(89, 44	(89, 444)			(())	
(6) 図	書		館		面	Ŧ	責		閲覧」	座 席 数			収	納可	能	₩	数	一同上
							33, 542	m²			2, 22	4 席				42	5 万冊	
					面	ŧ	責			体育館	以外0	カスポ-	ーツ施	設の概要				
(7) 体	育	Ī	館				7, 429	m ² (1), サ (1), 武	ッカー・ラグビー t道場(1),	場(1), 剣道場(アメリカンフットボー (1), 弓道場(2), ホッケー・ハンドホ ワットボール・ラクロス場 這場(1), 洋弓 ト(1), 山小屋(4		スポ゜ーツ	トレーニンク	センター	同上
	£	区 分 開設年				2年度	完成年度	E E	分	ß	開設前4	年度	開設年	度	完成	年度	国費による	
(8)	Ø. ≨		教員 1	人当り	研究費等		千円	7	-円 図1	購入費			千円		千円		千円	
経費の積り及	の見 共同研究費等					千円	 	一円 設備	購入費			千円		千円		千円		
維持力の概	議持方法 第 分概 要 学生 1 人当り 新 納付金			第	1 年次	第	2年次	第	3 年次	第4	年次	:	第5	5年次		第6年	次	
					千円			FR FR FR FR										
	学生納付金以外の維持方法の概要																	

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その 理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	北 海	道	大 学						備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は称号	平均入 学定員 超過率	開設 年度	所 在 地	
文学部							S25	札幌市北区北10条西7丁目	
人文科学科	4	185		740	学士(文学)	1.04	H7		
教育学部			310				S24	札幌市北区北11条西7丁目	
教育学科	4	50		220	学士(教育学)	1.12	S24		
法学部			2/3				S28	札幌市北区北9条西7丁目	
法学課程	4	200	10/10	850	学士(法学)	1.04	S49		
経済学部						1.06	S28	札幌市北区北9条西7丁目	
経済学科	4	100		400	学士(経済学)		S28		入学時点で学科未定
経営学科	4	90		360	学士(経営学)		S41		
理学部							S24	札幌市北区北10条西8丁目	
数学科	4	50		200	学士(理学)	1.01	H7		
物理学科	4	35		140	学士(理学)	1.00	Н6		
化学科	4	75		300	学士(理学)	1.00	H7		
生物科学科	4	80			学士(理学)	1.03	Н5		
地球惑星科学科	4	60			学士(理学)	1.02	Н6		
医学部							S24		
医学科	6	107	25	667	学士(医学)	1.00		札幌市北区北15条西7丁目	
保健学科	4	180	95	720	3 1 (23)	1.04		札幌市北区北12条西5丁目	
看護学専攻	4	70			学士(看護学)/(保健学)	1.09	H16	1010011-1011-1011-1011-1011	
放射線技術科学専攻	4	37			学士(看護学)/(保健学)	1.01	H16		
検査技術科学専攻	4	37			学士(看護学)/(保健学)	1.02	H16		
理学療法学専攻	4	18				1.02	H16		
作業療法学専攻	•	18			学士(看護学)/(保健学)	1.00	H16		
11·未派広于寻攻 歯学部	4	10		72	学士(看護学)/(保健学)	1.02		札幌市北区北13条西7丁目	
				210	兴上/华兴\	1.00		心恍巾心区心13米四7丁日	
歯学科	6	53		318	学士(歯学) 	1.00	S42	######################################	
薬学部		F0		200	۸۲۲ ۱ (- بدر ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱	-		札幌市北区北12条西6丁目	入学時点で学科未定かつ両学科で
薬科学科	4	50			学士(薬科学)		H18		修業年限が異なるため超過率計算
薬学科	6	30	0.10	180	学士(薬学) 		H18	U ### U G U 40 A TOTO	不能
工学部			310		w. i. 4—w.			札幌市北区北13条西8丁目	
応用理工系学科	4	160			学士(工学)	1.06	H17		
情報エレクトロニクス学科	4	180			学士(工学)	1.06	H17		
機械知能工学科	4	120			学士(工学)	1.14			
環境社会工学科	4	210		840	学士(工学)	1.02			
農学部						1.04		札幌市北区北9条西9丁目	3 Wat harway to
生物資源科学科	4	36			学士(農学)		H4		入学時点で学科未定
応用生命科学科	4	30			学士(農学)		H4		
生物機能化学科	4	35		140	学士(農学)		H4		
森林科学科	4	36		144	学士(農学)		H4		
畜産科学科	4	23		92	学士(農学)		H4		
生物環境工学科	4	30		120	学士(農学)		S24		
農業経済学科	4	25		100	学士(農学)		S24		
獣医学部							S27	札幌市北区北18条西9丁目	
共同獣医学課程	6	40		240	学士(獣医学)	1.04	H24		
水産学部						1.00	S24	函館市港町3丁目1番1号	
海洋生物科学科	4	54		216	学士(水産学)		H18		入学時点で学科未定
海洋資源科学科	4	53		212	学士(水産学)		H18		
増殖生命科学科	4	54		216	学士(水産学)		H18		
資源機能化学科	4	54		216	学士(水産学)		H18		

文学研究科								札幌市北区北10条西7丁目	
思想文化学	М	2	14		修士(文学)	0.82	H12		
	D	3	6		博士(文学)	0.55	H12		
歴史地域文化学	М	2	28		修士(文学)/(学術)	0.71	H12		
	D	3	11	33	博士(文学)/(学術)	0.75	H12		
言語文学	М	2	29	58	修士(文学)	0.93	H12		
	D	3	11	33	博士(文学)	0.87	H12		
人間システム科学	М	2	19	38	修士(文学)	1.34	H12		
	D	3	7	21	博士(文学)	1.04	H12		
法学研究科							S28	札幌市北区北9条西7丁目	
法学政治学	М	2	20	40	修士(法学)	0.90	H12		
	D	3	15	45	博士(法学)	0.37	H12		
法律実務	Р	3	50	150	法務博士(専門職)	0.86	H16		
医学研究科							S30	札幌市北区北15条西7丁目	平成29年より学生募集停止
医科学	М	2	_	-	修士(医科学)	-	H14		
医学	D	4	_	-	博士(医学)	-	H19		
情報科学研究科							H16	札幌市北区北14条西9丁目	
情報理工学	М	2	48	96	修士(工学)/(情報科学)	0.93	H26		
	D	3	12	36	博士(工学)/(情報科学)	0.72	H26		
情報エレクトロニクス	М	2	39	78	修士(工学)/(情報科学)	1.11	H16		
	D	3	8	24	博士(工学)/(情報科学)	0.79	H16		
生命人間情報科学	М	2	33		修士(工学)/(情報科学)	0.82	H16		
	D	3	6		博士(工学)/(情報科学)	0.33	H16		
メテ゛ィアネットワーク	М	2	30		修士(工学)/(情報科学)	1.08	H16		
,, ,,,,,,,	D	3	8		博士(工学)/(情報科学)	1.03	H16		
システム情報科学	М	2	27		修士(工学)/(情報科学)	1.27	H16		
7// AII 7 TA 1 T 3	D	3	8		博士(工学)/(情報科学)	1.08	H16		
水産科学院					132(23)/(1342(13)	1.00		函館市港町3丁目1番1号	
海洋生物資源科学	М	2	43	86	修士(水産科学)	0.99	H17	EARLY OF JOS ETHE	
7-71-2105-200113	D	3	17		博士(水産科学)	0.30	H17		
海洋応用生命科学	М	2	47		修士(水産科学)	1.29	H17		
7 9 7770713 <u>—</u> 227113	D	3	18		博士(水産科学)	0.51	H17		
環境科学院		,	10	54	诗工(沙莲17子)	0.51		札幌市北区北10条西5丁目	
環境起学	М	2	44	gg	修士(環境科学)	0.90	H17		
- ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **					,	0.57			
地球圏科学	D M	3 2	15 35		博士(環境科学)修士(環境科学)	0.57			
地林国行子						0.49			
生物图 到学	D M	3	14		博士(環境科学)				
生物圏科学	М	2	52		修士(環境科学)	0.91			
TOO 122 H/W EEE T // 524	D	3	23		博士(環境科学)	0.57			
環境物質科学	М	2	28		修士(環境科学)	0.99			
VIII 234 11-24	D	3	11	33	博士(環境科学)	0.60			
理学院					(F. L. (1971)))			札幌市北区北10条西8丁目	
数学	М	2	46		修士(理学)	0.84	H18		
	D	3	17		博士(理学)	0.44			
物性物理学	М	2	24		修士(理学)	0.95	H18		
	D	3	10		博士(理学)	0.70	H18		
宇宙理学	М	2	20	40	修士(理学)	0.82	H18		
	D	3	9	27	博士(理学)	0.92	H18		
自然史科学	М	2	39	78	修士(理学)	1.26	H18		
	D	3	20	60	博士(理学)	0.93	H18		

曲光吃							1110	サ桐ナル区より名乗りエロ	
農学院		2	40		\(\(\frac{1}{1} \) \(\frac{1} \) \(\frac{1}{1} \) \(\frac{1} \) \(\frac{1}{1} \) \(\frac{1} \) \(1	0.74		札幌市北区北9条西9丁目	
共生基盤学	М	2	40		0 修士(農学)	0.71	H18		
at all admires to the	D	3	8		博士(農学)	1.04	H18		
生物資源科学	М	2	42		1 修士(農学)	1.18	H18		
	D	3	14		2 博士(農学)	0.57	H18		
応用生物科学	М	2	18		5 修士(農学)	1.99	H18		
	D	3	6		3 博士(農学)	0.77	H18		
環境資源学	М	2	42	8	移士(農学)	1.17	H18		
	D	3	14	4.	2 博士(農学)	0.78	H18		
生命科学院							H18	札幌市北区北10条西8丁目	
生命科学	М	2	132	26	1 修士(生命科学)/(薬科学)	0.93	H18		
	D	3	46	13] 博士(生命科学)/(薬科学)	0.79	H18		
臨床薬学	D	4	4	1	博士(臨床薬学)	1.56	H24		
教育学院							H19	札幌市北区北11条西7丁目	
教育学	М	2	45	9	修士(教育学)	0.96	H19		
	D	3	21	6	博士(教育学)	0.67	H19		
国際広報メディア・観光学院							H19	札幌市北区北17条西8丁目	
国際広報メディア	М	2	27	5	1 修士(国際広報メディア)/(学術)	1.05	H19		
	D	3	14	4.	2 博士(国際広報メディア)/(学術)	0.54	H19		
観光創造	М	2	15	3	修士(観光学)	1.03	H19		
	D	3	3	,	博士(観光学)	1.33	H19		
保健科学院							H20	札幌市北区北12条西5丁目	
保健科学	М	2	40	8	修士(保健科学)/(看護学)	1.50	H20		
	D	3	10	3) 博士(保健科学)/(看護学)	1.09	H22		
工学院							H22	札幌市北区北13条西8丁目	
応用物理学	М	2	33	6	5 修士(工学)	1.13	H22		
	D	3	9	2	/ / 博士(工学)	0.55	H22		
材料科学	М	2	39	7	3 修士(工学)	1.01	H22		
	D	3	7	2	博士(工学)	0.80	H22		
機械宇宙工学	М	2	27		↓ 1 修士(工学)	1.16	H22		
	D	3	5		5 博士(工学)	0.53	H22		
人間機械システムデザイン	М	2	26		2 修士(工学)	1.19	H22		
	D	3	5		5 博士(工学)	0.60	H22		
エネルギー環境システム	М	2	26		2 修士(工学)	1.13	H22		
	D	3	5		5 博士(工学)	0.66			
量子理工学	М	2	20) 修士(工学)	1.20	H22		
	D	3	5		5 博士(工学)	0.53	H22		
環境フィールド工学	М	2	24		3 修士(工学)	1.14	H22		
)	D	3	6		3 博士(工学)	0.77	H22		
北方圏環境政策工学	М	2	26		2 修士(工学)	1.13	H22		
10/3回水元以水工于	D	3	7		と	0.61	H22		
建設都市空間デザル	М	2	22		1 修士(工学)	1.19	H22		
보는 오늘이 그 나를 하는 것이 되었다.									
970月月か 日 台ビンフェッ	D M	3	5		5 博士(工学)	1.00	H22		
空間性能システム	М	2	27		1 修士(工学) - 博士(工学)	0.94	H22		
理控制化工学	D	3	5		5 博士(工学)	0.46	H22		
環境創生工学	М	2	28			1.35	H22		
	D	3	5		5 博士(工学)	0.33	H22		
環境循環システム	М	2	18		5 修士(工学)	1.29	H22		
北京次平一 27	D	3	5		5 博士(工学)	1.53	H22		T-#20/T-4/D=0:#
共同資源工学	М	2	10	2) 修士(工学)	1.30	H29		平成29年4月設置
総合化学院					15 1 (W) A (I.) V			札幌市北区北13条西8丁目	
総合化学	М	2	129		8 修士(総合化学)	1.13	H22		
647 VA 144 FIA	D	3	38	11-	計博士(理学)/(工学)/(総合化学)	1.10	H22		
経済学院								札幌市北区北9条西7丁目	平成29年4月名称変更
現代経済経営	М	2	35		0 修士(経済学)/(経営学)	1.10	H12		
	D	3	8		博士(経済学)/(経営学)	0.65			
会計情報	Р	2	20	4	会計修士(専門職)	0.87	H17		

医学院							H29	札幌市北区北15条西7丁目	平成29年4月設置
医科学	М	2	20	4	0 修士(医科学)/(公衆衛生学	±) 1.4	5 H29		
医学	D	4	90	36	0 博士(医学)	0.9	3 H29		
歯学院							S49	札幌市北区北13条西7丁目	平成29年4月名称変更
口腔医学	D	4	40	16	0 博士(歯学)	0.7	2 H12		
獣医学院							S28	札幌市北区北18条西9丁目	平成29年4月名称変更
獣医学	D	4	16	6	4 博士(獣医学)	1.0	5 H7		
医理工学院							H29	札幌市北区北15条西7丁目	平成29年4月設置
医理工学	М	2	12	1	4 修士(医理工学)	1.2	5 H29		
	D	3	5		5 博士(医理工学)	1.2	0 H29		
国際感染症学院							H29	札幌市北区北18条西9丁目	平成29年4月設置
感染症学	D	4	12	4	8 博士(感染症学)/(獣医学)	0.9	1 H29		
国際食資源学院							H29	札幌市北区北9条西9丁目	平成29年4月設置
国際食資源学	М	2	15	3	0 修士(食資源学)	1.1	3 H29		
公共政策学教育部							H17	札幌市北区北9条西7丁目	
公共政策学	Р	2	30	(0 公共政策学修士(専門職)	1.1	4 H17		

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科),

大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、

平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、「備者」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院医学院 医学専攻(博士課程)>

(1) 担当教員表

		設置問	りょう けんしゅう けんしゅう いっぱい かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ				変	更 状 況		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
					※ 1 効果	見的かつ				位)」及び「基盤医学研究Ⅱ (6
					効男 単位) ※3	」を	「臨床医学研究	(10単位) 」に統	合 (29)	位)」及び「臨床医学研究Ⅱ (6
								を行うため、「社: (10単位) 」に統:		位)」及び「社会医学研究Ⅱ (6 -
				医学総論 研究発表技法 I					医学総論 研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	教授	有川 二郎	平成29年4月	医学研究概論	専	教授	有川 二郎	平成29年4月	医学研究概論	
				医倫理学					医倫理学	1
				基盤医学研究 I 基盤医学研究 II					基盤医学研究	* 1
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	教授	秋田 弘俊	平成29年4月	臨床医学研究法I	*	教授	秋田 弘俊	平成29年4月	臨床医学研究法 I	
₹	教技		平成29年4月	基盤医学研究 I 基盤医学研究 Ⅱ	専	教技		平成29年4月	基盤医学研究	※ 1
				臨床医学研究 I 臨床医学研究 II					臨床医学研究	※2
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	教授	渥美 達也	平成29年4月	基盤医学研究 I 基盤医学研究 Ⅱ	専	教授	渥美 達也	平成29年4月	基盤医学研究	* 1
				臨床医学研究 I 臨床医学研究 II					臨床医学研究	*2
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
		*= m#		研究発表技法Ⅱ			#= !!!!		研究発表技法Ⅱ	
専	教授	荒戸 照世	平成29年4月	基盤医学研究 I 基盤医学研究 II	専	教授	荒戸 照世	平成29年4月	基盤医学研究	※ 1
				社会医学研究 I 社会医学研究 II					社会医学研究	* 3
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	教授	有賀 正	平成29年4月	医倫理学	専	教授	有賀 正	平成29年4月	医倫理学	
				基盤医学研究 I 基盤医学研究 II					基盤医学研究	* 1
				臨床医学研究 I 臨床医学研究 II					臨床医学研究	* 2
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	教授	石田 晋	平成29年4月	基盤医学研究 I 基盤医学研究 II	専	教授	石田 晋	平成29年4月	基盤医学研究	* 1
				臨床医学研究 I 臨床医学研究 II					臨床医学研究	* 2
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法 I					研究発表技法I	1
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	教授	岩崎 倫政	平成29年4月	基盤医学研究 I 基盤医学研究 I	専	教授	岩崎 倫政	平成29年4月	基盤医学研究	* 1
				臨床医学研究 I 臨床医学研究 I					臨床医学研究	*2

				医学総論					医学総論	
				研究発表技法 I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ			岩永 敏彦		研究発表技法Ⅱ	
		>		医学研究法 I	専	教授	石小 取尽	平成29年4月	医学研究法 I	4
専	教授	岩永 敏彦	平成29年4月						区于明70A I	
				基盤医学研究I					基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				医学研究概論	専専	教授 教授	有川 二郎 渡邉 雅彦	平成29年4月	医学研究概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより科目担当教員の 変更(29)
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	_
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	-
				-					実験・研究計画法	-
専	教授	大滝 純司	平成29年4月	実験・研究計画法	専	教授	大滝 純司	平成29年4月	天歌 可九計四広	
				基盤医学研究I					基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				社会医学研究 I					社会医学研究	※ 3
				社会医学研究Ⅱ					1221219190	
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法 I					研究発表技法I	
		大場 雄介		研究発表技法Ⅱ			大場 雄介		研究発表技法Ⅱ	
専	教授	ノマッカ 塩圧力	平成29年4月	医学研究法 Ⅱ	専	教授	ノマッカ 加圧力	平成29年4月		
				基盤医学研究I					- 7 777	
				-					基盤医学研究	※ 1
-				基盤医学研究Ⅱ					医类似染	
				医学総論	1				医学総論	4
1		笠原 正典		研究発表技法I			笠原 正典		研究発表技法I	4
専	教授	立原 正英	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	教授	立原 正典	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究 I					基盤医学研究	* 1
				基盤医学研究Ⅱ					坐	* 1
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
専	教授	神谷 温之	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	教授	神谷 温之	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究 I						
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
									医类似染	
				医学総論					医学総論	4
				研究発表技法I					研究発表技法I	<u> </u>
		丸藤 哲		研究発表技法Ⅱ			丸藤 哲		研究発表技法Ⅱ	
専	教授	丸膝 省	平成29年4月	基盤医学研究I	専	教授	丸膝 舀	平成29年4月	基盤医学研究	* 1
				基盤医学研究Ⅱ					基 血色于明元	~ :
				臨床医学研究 I					陈庄医兴开办	*2
				臨床医学研究Ⅱ					臨床医学研究	W 2
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	7
専	教授	久住 一郎	平成29年4月	基盤医学研究I	専	教授	久住 一郎	平成29年4月	9170703212/22	
-3	7717		1 100 20 7 477	基盤医学研究Ⅱ	-3	7717		1 100,20 - 471	基盤医学研究	※ 1
				-						
				臨床医学研究I					臨床医学研究	※ 2
-	-			臨床医学研究Ⅱ	1	-			T 24 40 5 5	
				医学総論	1				医学総論	4
				研究発表技法Ⅰ	1				研究発表技法I	
		#+ ±*		研究発表技法Ⅱ			## ##		研究発表技法Ⅱ	
専	教授	坂本 直哉	平成29年4月	基盤医学研究I	専	教授	坂本 直哉	平成29年4月	基盤医学研究	* 1
				基盤医学研究Ⅱ					坐	* 1
				臨床医学研究 I					T + + T	
				臨床医学研究Ⅱ	1				臨床医学研究	※ 2
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I	1				研究発表技法I	1
				研究発表技法Ⅱ	l				研究発表技法Ⅱ	-
				-	I					
専	教授	佐々木 秀直	平成29年4月	医倫理学	専	教授	佐々木 秀直	平成29年4月	医倫理学	
				基盤医学研究I	1				基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ	1					
				臨床医学研究 I					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ	L				州水产于州九	
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
専	教授	佐邊 壽孝	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	教授	佐邊 壽孝	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究I	1					
				基盤医学研究Ⅱ	1				基盤医学研究	※ 1
<u> </u>	1	1	l	모프트구에지프	U	1		l .	1	l

		1	1	1				1	1	1
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
_	44-140	篠原 信雄	五十00年4日		-	#4L 1/10	篠原 信雄	亚 + 00 年 4 日	917070 X 1X IX	
専	教授		平成29年4月	基盤医学研究I	専	教授		平成29年4月	基盤医学研究	* 1
				基盤医学研究 Ⅱ						
				臨床医学研究 I						
				臨床医学研究Ⅱ					臨床医学研究	※ 2
				+					FF 244 640 EA	
				医学総論					医学総論	4
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	教授	清水 宏	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	教授	清水 宏	平成29年4月		
,	27.12				,	2012		1,74=1,77	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究 I					臨床医学研究	*2
				臨床医学研究Ⅱ						~ =
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	1
										1
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	教授	武富 紹信	平成29年4月	医倫理学	専	教授	武富 紹信	平成29年4月	医倫理学	
4	叙按		十成29年4月	基盤医学研究 I	₩.	叙按		十成29年4月		
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
1			İ	-	ĺ				 	
1			İ	臨床医学研究 I	ĺ				臨床医学研究	*2
L		<u></u> _	<u> </u>	臨床医学研究Ⅱ	L			<u></u>		
1				医学総論					医学総論	
1			1	研究発表技法I	l				研究発表技法I	1
1			İ	-	ĺ					1
専	教授	田中 伸哉	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	教授	田中 伸哉	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
1			1	実験・研究計画法					実験・研究計画法	
1			İ	基盤医学研究 I	ĺ				甘船医类亚类	w
1			İ	基盤医学研究Ⅱ	ĺ				基盤医学研究	※ 1
				医学総論					医学総論	
										4
				研究発表技法I					研究発表技法I	_
_	44-140	田中 真樹	五十00年4日	研究発表技法Ⅱ	-	#4L 1/10	田中 真樹	亚 + 00 年 4 日	研究発表技法Ⅱ	
専	教授		平成29年4月	医学研究法 Ⅱ	専	教授		平成29年4月	医学研究法 Ⅱ	1
				基盤医学研究 I						
									基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				医学総論						
				研究発表技法 I						
				研究発表技法Ⅱ						平成29年3月玉木教授退職(29)
	4/L 197	玉木 長良	T-00-4-0	-			W 15 4 4			「後任未定」
専	教授		平成29年4月	基盤医学研究 I			後任未定			公募時期未定 いずれの科目も担当教員が2名以上いる
				基盤医学研究Ⅱ						ため、支障はない
				臨床医学研究 I						
				臨床医学研究Ⅱ						
	1			医学総論					医学総論	
				-						4
				研究発表技法I					研究発表技法I	1
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				社会医学研究法 I					社会医学研究法I	1
1			İ	医倫理学	ĺ				医倫理学	1
	ter too	玉腰 暁子	W # 00 /= 1 F			#4. 1m	玉腰 暁子	₩ + 00 + 1 =	⊭ Im Z T	
専	教授		平成29年4月	基盤医学研究 I	専	教授		平成29年4月	基盤医学研究	※ 1
1			İ	基盤医学研究 Ⅱ	ĺ					
1			İ	社会医学研究 I	ĺ				社会医学开究	× 0
1			İ	社会医学研究Ⅱ	ĺ				社会医学研究	* 3
1	1	Ī	1		ĺ					平成29年 1 月
1				1	l	i l	1	1	実験・研究計画法	教育体制の見直しにより科目担当教員と
				_						して追加(29)
				_						して追加(25)
				医学総論						して追加(とす)
				医学総論 研究発表技法 I						
				研究発表技法I						平成28年7月筒井教授退職(29)
	松 拉	筒井 裕之	亚市20年4日	研究発表技法 I 研究発表技法 II			後年丰中			平成28年7月筒井教授退職(29) 「後任未定」 毎任教員採用予定で公募中(選考決定後
専	教授	筒井 裕之	平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 Ⅱ 基盤医学研究 I			後任未定			平成28年7月簡井教授退職(29) 「後任未定」 事を を で を を やかに採用予定 で 公募中(選考決定後 を を やかに採用予定)。
専	教授	筒井 裕之	平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 II			後任未定			平成28年7月筒井教授退職(29) 「後任未定」 毎任教員採用予定で公募中(選考決定後
専	教授	簡井 裕之	平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 Ⅱ 基盤医学研究 I			後任未定			平成28年7月簡井教授退職(29) 「後任末走」 事任教員採用予定で公募中(遅考決定後 速やかに採用予定) いずれの科目も担当教員が2名以上いる
専	教授	筒井 裕之	平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I			後任未定			平成28年7月簡井教授退職(29) 「後任末定」 ・ 毎任教員採用予定で公募中(選考決定後 速やかに採用予定) いずれの科目も担当教員が2名以上いる
専	教授	筒井 裕之	平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 臨床医学研究 I 臨床医学研究 I			後任未定		医学验验	平成28年7月簡井教授退職(29) 「後任末定」 ・ 毎任教員採用予定で公募中(選考決定後 速やかに採用予定) いずれの科目も担当教員が2名以上いる
専	教授	筒井 裕之	平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 臨床医学研究 I 臨床医学研究 I 医学総論			後任未定		医学総論	平成28年7月簡井教授退職(29) 「後任末定」 ・ 毎任教員採用予定で公募中(選考決定後 速やかに採用予定) いずれの科目も担当教員が2名以上いる
専	教授	筒井 裕之	平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 基生医学研究 I 臨床医学研究 I 医学総論 研究発表技法 I			後任未定		研究発表技法Ⅰ	平成28年7月簡井教授退職(29) 「後任末定」 ・ 毎任教員採用予定で公募中(選考決定後 速やかに採用予定) いずれの科目も担当教員が2名以上いる
専	教授	筒井 裕之	平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 臨床医学研究 I 臨床医学研究 I 医学総論			後任未定			平成28年7月簡井教授退職(29) 「後任末定」 ・ 毎任教員採用予定で公募中(選考決定後 速やかに採用予定) いずれの科目も担当教員が2名以上いる
専	教授	簡井 裕之	平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 基生医学研究 I 臨床医学研究 I 医学総論 研究発表技法 I			後任未定		研究発表技法 I 研究発表技法 Ⅱ	平成20年7月簡井教授退職(29) 「後任未定」 事任教員採用予定で公募中(選考決定後 遠やがに採用予定) がすれの科目も担当教員が2名以上いる ため、支障はない
専	教授		平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 臨床医学研究 I 医学総論 研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 I					研究発表技法Ⅰ	平成28年7月簡井教授退職(29) 「後任末定」 ・ 毎任教員採用予定で公募中(選考決定後 速やかに採用予定) いずれの科目も担当教員が2名以上いる
専	教授	筒井 裕之	平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 臨床医学研究 I 医学総論 研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I	専	教授	後任未定豊嶋 崇徳	平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 Ⅱ	平成20年7月簡井教授退職(29) 「後任未定」 事任教員提用予定で公募中(選考決定後 速やかに採用予定) が10年間を担当教員が2名以上いる ため、支障はない
				研究発表技法 I 研究発表技法 Ⅱ 基盤医学研究 Ⅱ 臨床医学研研究 Ⅱ 医学総論 研究発表技法 Ⅱ 基盤医学研究 Ⅱ 医学総論 研究発表技法 Ⅱ 基盤医学研究 I 基盤医学研究 Ⅱ	專	教授		平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 Ⅱ	平成20年7月簡井教授退職(29) 「後任未定」 事任教員提用予定で公募中(選考決定後 速やかに採用予定) が10年間を担当教員が2名以上いる ため、支障はない
				研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 臨床医学研究 I 医学総論 研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I	専	教授		平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究	平成20年7月簡井教授退職(29) 「後任未定」 事任教員提用予定で公募中(選考決定後 速やかに採用予定) では が10年間を担当教員が2名以上いる ため、支障はない
				研究発表技法 I 研究発表技法 Ⅱ 基盤医学研究 Ⅱ 臨床医学研研究 Ⅱ 医学総論 研究発表技法 Ⅱ 基盤医学研究 Ⅱ 医学総論 研究発表技法 Ⅱ 基盤医学研究 I 基盤医学研究 Ⅱ	專	教授		平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究	平成28年7月簡井教授退職(29) 「後任未定」 事任教員採用予定で公募中(選考決定後 退やかに採用予定)。 いずれの科目も担当教員が2名以上いる ため、支障はない ※1
				研究発表技法 I 研究発表技法 Ⅱ 基盤医学研究 Ⅱ 臨床医学研研究 Ⅱ 医学総論 研究発表技法 Ⅱ 基盤医学研究 Ⅱ 医学総論 研究発表技法 Ⅱ 基盤医学研究 I 基盤医学研究 Ⅱ	專	教授		平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究	平成22年7月簡井教授退職(29) 「接任未定」 事任教員採用予定で公募中(選考決定後 遠やかに採用予定) では、 では、 では、 ではない ※1 ※1 ※2 平成29年1月 教育効果を高めるため教室持ち回りの科
				研究発表技法 I 研究発表技法 Ⅱ 基盤医学研究 Ⅱ 臨床医学研研究 Ⅱ 医学総論 研究発表技法 Ⅱ 基盤医学研究 Ⅱ 医学総論 研究発表技法 Ⅱ 基盤医学研究 I 基盤医学研究 Ⅱ	専	教授		平成29年4月	研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 臨床医学研究	平成28年7月簡井教授退職(29) 「後任未定」 事任教員採用予定で公募中(選考決定後 退やかに採用予定)。 いずれの科目も担当教員が2名以上いる ため、支障はない ※1

				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	1
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
		西浦 博					西浦 博		听九光衣仅 太卫	
専	教授		平成29年4月	基盤医学研究 I	専	教授		平成29年4月	基盤医学研究	* 1
				基盤医学研究 Ⅱ						
				社会医学研究 I					4.人医兴丽杰	W 0
				社会医学研究Ⅱ					社会医学研究	* 3
				医学総論					医学総論	
										1
				研究発表技法I					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	教授	西村 正治	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	教授	西村 正治	平成29年4月	# AD CE 245 TH AD	
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				臨床医学研究 I						
				臨床医学研究Ⅱ					臨床医学研究	※2
				ł						
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
		畠山 鎮次		研究発表技法Ⅱ			畠山 鎮次		研究発表技法Ⅱ	
専	教授	EH MA	平成29年4月	医学研究法 I	専	教授	E 25.7	平成29年4月	医学研究法 I	1
				基盤医学研究I						
				-					基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				医学総論					医学総論	1
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	教授	平野 聡	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	教授	平野 聡	平成29年4月		
77	4717		1 19220 - 471	-	-77	12/12		1 100,20 - 471	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究 I					臨床医学研究	*2
				臨床医学研究 Ⅱ					7 7775	
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	1
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	#47 TAG	松居 喜郎	亚士00年4日		-	#4F F40	松居 喜郎	T + 00 + 4 P	可无无数汉丛山	
导	教授		平成29年4月	基盤医学研究I	専	教授		平成29年4月	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究 I					臨床医学研究	※ 2
				臨床医学研究 Ⅱ					咖水区于明九	***
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	1
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	-
_	44L 1700	森本 裕二	T-00-4-0		_	#4L 1/10	森本 裕二	T-00-10	明九无孜汉丛Ⅱ	
専	教授		平成29年4月	基盤医学研究 I	専	教授		平成29年4月	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究I					臨床医学研究	※ 2
				臨床医学研究 Ⅱ					叫水区于可见	~ 2
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	1
				-						1
_		山本 有平		研究発表技法Ⅱ	_		山本 有平		研究発表技法Ⅱ	
専	教授	—π n⊤	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	教授		平成29年4月	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究 I					吃	
				臨床医学研究Ⅱ					臨床医学研究	※ 2
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	1
										1
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	-
		+m +2		実験・研究計画法			+		実験・研究計画法	
専	教授	吉岡 充弘	平成29年4月	基盤医学研究I	専	教授	吉岡 充弘	平成29年4月		
									基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
										平成29年 1 月
				_					医学研究法 Ⅱ	教育体制の見直しにより科目担当教員と
				ļ						して追加(29)
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	1
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
		index trans and the		医学研究法 [100 mm m44-4-		医学研究法 [
専	教授	渡辺 雅彦	平成29年4月		専	教授	渡辺 雅彦	平成29年4月		1
				公開発表演習					公開発表演習	4
				医学研究概論					医学研究概論	
				基盤医学研究 I					基盤医学研究	※ 1
L				基盤医学研究Ⅱ					- m = 1 9/76	

			Т	T	1		Т	T		
				医学総論						
				研究発表技法Ⅰ						平成29年3月福田教授退職(29)
		₩		研究発表技法Ⅱ						「後任未定」 専任教員採用予定で公募中(選考決定後
専	教授	福田 諭	平成29年4月	基盤医学研究 I			後任未定			速やかに採用予定)。
				基盤医学研究Ⅱ						いずれの科目も担当教員が2名以上いる
				臨床医学研究I						ため、支障はない。
			<u></u>	臨床医学研究Ⅱ			<u></u>			
				医学総論						平成29年3月安田教授退職(29)
				研究発表技法I						「後任未定」
専	教授	安田 和則	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ			後任未定			専任教員採用予定で公募中(選考決定後 速やかに採用予定)。
				基盤医学研究 I						いずれの科目も担当教員が2名以上いる
				基盤医学研究Ⅱ						ため、支障はない。
				医学総論						
				研究発表技法I						立式20年2日期十巻標 七上巻標3日聯(20)
				研究発表技法Ⅱ						平成29年3月櫻木教授、水上教授退職(29) 「後任未定」 西教授が担当していた2教会な1教会に更
専	教授	櫻木 範明	平成29年4月	基盤医学研究I			後任未定			両教授が担当していた2教室を1教室に再編することに伴い、専任教員1名を公募
				基盤医学研究Ⅱ						中(選考決定後速やかに採用予定)。 いずれの科目も担当教員が2名以上いる
				臨床医学研究 I						ため、支障はない。
				臨床医学研究Ⅱ						
				医学総論						
				研究発表技法I						双成20年2日北上松松 柳十松松 月
				研究発表技法Ⅱ						平成29年3月水上教授、櫻木教授退職(29) 「後居未定」
専	教授	水上 尚典	平成29年4月	基盤医学研究I			後任未定			両教授が担当していた2教室を1教室に再 編することに伴い、専任教員1名を公募
				基盤医学研究Ⅱ						中(選考決定後速やかに採用予定)。 いずれの科目も担当教員が2名以上いる
				臨床医学研究I						ため、支障はない。
				臨床医学研究Ⅱ						
				医学総論						
				研究発表技法I						平成28年3月瀬谷教授退職(29)
専	教授	瀬谷 司	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ			後任未定			「後任者就任時期未定」 いずれの科目も担当教員が2名以上いる
				基盤医学研究I						ため、支障はない。
			<u></u>	基盤医学研究Ⅱ	L		<u></u>	<u></u>	<u> </u>	
	İ			医学総論						
				研究発表技法I						平成28年9月三輪教授退職(29) 「後任未定」
専	教授	三輪 聡一	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ			後任未定			「後世末足」 公募時期未定。 いずれの科目も担当教員が2名以上いる
				基盤医学研究 I						いずれの科目も担当教員が2名以上いるため、支障はない。
				基盤医学研究Ⅱ		<u> </u>				
	Ī			医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
		50 A 14 IA		研究発表技法Ⅱ			南ム キュー		研究発表技法Ⅱ	
専	教授	寶金 清博	平成29年4月	基盤医学研究I	専	教授	寶金 清博	平成29年4月	基盤医学研究	* 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究 I					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
		仕取 事		研究発表技法Ⅱ			开肠 零		研究発表技法Ⅱ	
専	教授	生駒 一憲	平成29年4月	基盤医学研究I	専	教授	生駒 一憲	平成29年4月	基盤医学研究	* 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究 I					臨床医学研究	*2
				臨床医学研究Ⅱ						
				医学総論					医学総論	1
		松配 士 克		研究発表技法Ⅰ			松照 士 宁		研究発表技法I	
専	教授	松野 吉宏	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	教授	松野 吉宏	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究I					基盤医学研究	* 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
			l	研究発表技法Ⅱ			== =		研究発表技法Ⅱ	
						44L AVD	山下 啓子	T +00 + 1 F	i ———	
専	教授	山下 啓子	平成29年4月	基盤医学研究I	専	教授		平成29年4月	基盤医学研究	* 1
専	教授	山下 啓子	平成29年4月	基盤医学研究 I 基盤医学研究 II	専	教授		平成29年4月	基盤医学研究	※ 1
専	教授	山下 啓子	平成29年4月		専	教授		平成29年4月	基盤医学研究 臨床医学研究	*1

				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	1
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
				トランスレーショナ						
				ルリサーチ概論					トランスレーショナ ルリサーチ概論	4
				医倫理学					医倫理学	
				実験・研究計画法		教授	佐藤 典宏	平成29年4月	実験・研究計画法	
専	教授	佐藤 典宏	平成29年4月	基盤医学研究 I	専					
"	27.12		1 77421 1 772		.,				基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ					垄 座区于明九	* 1
				社会医学研究I					社会医器研究	* 3
				社会医学研究Ⅱ					社会医学研究	* 3
							秋田 弘俊			平成29年1月 教育体制の見直しにより、科目担当教員
				臨床医学研究法 I		教授	秋田 弘俊	平成29年4月	臨床医学研究法 I	教育体制の見直しにより、科目担当教員 の変更(29)
				F- 34 40 5A						
				医学総論					医学総論	4
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	教授	橋野 聡	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	教授	橋野 聡	平成29年4月		
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				臨床医学研究 I					臨床医学研究	※ 2
				臨床医学研究Ⅱ						
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
専	教授	廣瀬 哲郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	教授	廣瀬 哲郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ]
1				基盤医学研究I						1
									基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				医学総論					医学総論	1
				研究発表技法I					研究発表技法Ⅰ	
専	教授	清野 研一郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	教授	清野 研一郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究 I						
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
									F- 24 40 50	
				医学総論					医学総論	4
				研究発表技法I					研究発表技法I	
専	教授	野口 昌幸	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	教授	野口 昌幸	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究 I						
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
									医学业验	
				医学総論					医学総論	4
		# 1		研究発表技法I			# 6		研究発表技法Ⅰ	
専	教授	村上 正晃	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	教授	村上 正晃	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究 I					++ on == +++ == ++	
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法 I					研究発表技法I	†
_	44L 195	近藤 亨			_	4/L 197	近藤 亨	T-00-10		-
専	教授		平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	教授		平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究I					基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究 Ⅱ					金皿にすめた	* ·
				医学総論			<u> </u>		医学総論	
				研究発表技法 I					研究発表技法I	1
専	准教授	外丸 詩野	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	准教授	外丸 詩野	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	1
, ·					~~				XIXIX II	
				基盤医学研究I					基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				医学総論					医学総論]
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ]
専	准教授	朝倉 聡	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	准教授	朝倉 聡	平成29年4月		
									基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究 I					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
				医学総論			_		医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法Ⅰ]
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
				-						
				社会医学研究法Ⅱ					社会医学研究法Ⅱ	4
専	准教授	伊藤 陽一	平成29年4月	医倫理学	専	准教授	伊藤 陽一	平成29年4月	医倫理学	1
1				実験・研究計画法					実験・研究計画法	
				基盤医学研究 I					甘船医类亚类	w
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				社会医学研究I						
				-					社会医学研究	*3
			l	社会医学研究Ⅱ						1

			1	,						
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法 I					研究発表技法I	
		岩永 ひろみ		研究発表技法Ⅱ			岩永 ひろみ		研究発表技法Ⅱ	1
専	准教授	石水 0.50 //	平成29年4月	医学研究法 I	専	准教授	石水 いうが	平成29年4月	医学研究法 I	1
									区于明元丛 1	
				基盤医学研究I					基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
専	准教授	大西 俊介	平成29年4月	基盤医学研究I	専	准教授	大西 俊介	平成29年4月	917070343444	
4	在扒1又		十成25年4万		-47	/庄弘]又		十成23年4万	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究I					臨床医学研究	* 2
				臨床医学研究Ⅱ					7 7775	
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法 I					研究発表技法I	1
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
専	准教授	鬼丸 力也	平成29年4月		専	准教授	鬼丸 力也	平成29年4月	917070343444	
4	准软技		十成2944月	基盤医学研究I	₹	准软技		十成23年4月	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究 I					臨床医学研究	* 2
L			<u></u> _	臨床医学研究Ⅱ						
				医学総論				-	医学総論	
1				研究発表技法I					研究発表技法I	1
1				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	†
専	准教授	神山 俊哉	平成29年4月		専	准教授	神山 俊哉	平成29年4月	2170703X1X/A II	
₩.	准软技		十成29年4月	基盤医学研究I	4	准软技		平成29年4月	基盤医学研究	※ 1
1				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究 I					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ					7 7770	
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法 I					研究発表技法Ⅰ	1
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
専	准教授	川畑 秀伸	平成29年4月	基盤医学研究I	専	准教授	川畑 秀伸	平成29年4月	7777777777	
-3	/E-7X1X		1 100 - 471		-3	/E-7X1X		1 100,20 - 471	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				社会医学研究I					社会医学研究	*3
				社会医学研究Ⅱ						
				医学総論						
				研究発表技法I						
				研究発表技法Ⅱ						平成29年4月北村准教授退職(29)
専	准教授	北村 信人	平成29年4月	基盤医学研究 I			後任未定			「後任未定」
	/E-7//		1 7020 1 171				E III			いずれの科目も担当教員が2名以上いる
				基盤医学研究Ⅱ						ため、支障はない。
				臨床医学研究 I						
				臨床医学研究Ⅱ						
				医学総論					医学総論	<u> </u>
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	木下 一郎	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	准教授	木下 一郎	平成29年4月	44 Apr :	
1				基盤医学研究Ⅱ	•				基盤医学研究	※ 1
1										
1				臨床医学研究I					臨床医学研究	※2
<u></u>				臨床医学研究Ⅱ	 	 			= W &	
1				医学総論					医学総論	
1				研究発表技法I					研究発表技法I	
1				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	工藤 正尊	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	准教授	工藤 正尊	平成29年4月	++ 00.75 *** -**	
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				臨床医学研究I						
1									臨床医学研究	*2
<u> </u>				臨床医学研究Ⅱ	-				EHWA	
1				医学総論					医学総論	4
1		九原 土蛙		研究発表技法I			万保 十世		研究発表技法I	
専	准教授	久保 大輔	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	准教授	久保 大輔	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
1				基盤医学研究 I					甘般医学可免	W 1
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	†
				-						1
_	·# 4/L 1=0	倉島 庸	π + 00 + 1 =	研究発表技法Ⅱ	_	·# 40. 1-	倉島 庸	± 400 € : =	研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	.2-7 .01	平成29年4月	基盤医学研究I	専	准教授		平成29年4月	基盤医学研究	* 1
1				基盤医学研究Ⅱ						
1				臨床医学研究 I					臨床医学研究	※2
L			<u></u>	臨床医学研究Ⅱ	L			<u></u>	HIN PE T WI JU	
				*					•	

	1 1			医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
_		小華和 柾志	## ** ** * * * * * * * * * * * * * * * *		_		小華和 柾志	TT	听九光衣 技法Ⅱ	
専	准教授		平成29年4月	基盤医学研究I	専	准教授		平成29年4月	基盤医学研究	* 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				社会医学研究 I					社会医学证 命	× 2
				社会医学研究Ⅱ					社会医学研究	*3
	\vdash			医学総論		\vdash			医学総論	
										1
				研究発表技法I					研究発表技法Ⅰ	4
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	今野 哲	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	准教授	今野 哲	平成29年4月	++ 00.00 246.00	
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				臨床医学研究I						
									臨床医学研究	※ 2
				臨床医学研究Ⅱ						
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	志賀 哲	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	准教授	志賀 哲	平成29年4月		
	/E-7//		1 /2020 1 1/1	-	,-	/E-7A1A		1 7020 1 171	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究 I					臨床医学研究	※ 2
				臨床医学研究Ⅱ					ᄣᆒᄶᄣᆍᄢᄌ	<u>-</u>
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	1
										1
l _		七戸 俊明		研究発表技法Ⅱ	l _		七戸 俊明		研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	5万 改明	平成29年4月	基盤医学研究I	専	准教授	した 皮明	平成29年4月	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ					显血巨于则九	[Table 1
				臨床医学研究 I						
				臨床医学研究Ⅱ					臨床医学研究	※ 2
-	\vdash			ł	 				医学 <u></u>	+
				医学総論					医学総論	4
				研究発表技法I					研究発表技法I	1
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	<u> </u>
専	准教授	寺坂 俊介	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	准教授	寺坂 俊介	平成29年4月	*****	
				基盤医学研究Ⅱ	•				基盤医学研究	※ 1
									<u> </u>	
				臨床医学研究I					臨床医学研究	※2
<u> </u>	$\vdash \vdash$			臨床医学研究Ⅱ	 					
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ]
専	准教授	中川 伸	平成29年4月	基盤医学研究I	専	准教授	中川 伸	平成29年4月		
4			1 /ALV+1/7		4			1 7AEV + 7D	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						-
				臨床医学研究I					臨床医学研究	※ 2
				臨床医学研究Ⅱ						
	1 1	·		医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I]
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
				-					ツロフレクレススメムエ	+
l _		中村 幸志		基盤医学研究I	l _		中村 幸志		基盤医学研究	※ 1
専	准教授	111 +10	平成29年4月	基盤医学研究Ⅱ	専	准教授	111 710	平成29年4月		
				社会医学研究 I					社会库受 理党	* 3
				社会医学研究Ⅱ					社会医学研究	~ 0
										平成29年 1 月
				_					社会医学研究法 I	教育体制の見直しにより、科目担当教員
-	$\vdash \vdash \vdash$			医类似☆	 	\vdash			医学》 *	として追加(29)
				医学総論					医学総論	4
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	准教授	西江 渉	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	准教授	西江 渉	平成29年4月		
1				基盤医学研究Ⅱ	1				基盤医学研究	※ 1
				-					<u> </u>	
				臨床医学研究 I					臨床医学研究	※ 2
				臨床医学研究Ⅱ						
	1 1			医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I]
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	†
#	`# #\+™	野田 航介	₩ # 20 ← 4 □	-	#	· 44 45	野田 航介	₩ ct:00.5-4 □	XIXIX IX	1
専	准教授		平成29年4月	基盤医学研究I	専	准教授		平成29年4月	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究 I					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ					叫你应于明九	
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	1
	·# 40L 1-0	南保 明日香	₩####################################		-	·# 401 1-0	南保 明日香	W C+00/- 1 C		1
専	准教授		平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	准教授		平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	-
				基盤医学研究I					基盤医学研究	※ 1
L			<u></u>	基盤医学研究Ⅱ					经血产于例入	
			-				i			

本	退職(29)
本	退職(29)
本	退職(29)
本	退職(29)
	退職(29)
国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 基础医学研究 基础医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国体医学研究 国际医学研究 国际医学研究 国际医学研究 国际医学研究 国际医学研究 国际医学研究 国际医学研究 国际医学研究 国际医学研究 国际医学研究 国际医学研究 国际国际 国际 国际 国际 国际 国际 国际	退職 (29)
本教授 本間 明宏 平成29年4月 不同 明宏 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 本教授 平成29年4月 本教授 平成29年4月 本教授 平成29年4月 本教授 平成29年4月 本教授 平成29年4月 本教授 平成29年4月 本教授 平成29年4月 本教授 平成29年4月 本教授 平成29年4月 本教授 平成29年4月 本教授 平成29年4月 不成29年4月 平成29年4月 本教授 平成29年4月 本教授 平成29年4月 本教授 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 本教授 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 本教授 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 本教授 本教授 平成29年4月 平成29年4月 本教授 本教授 本教授 平成29年4月 平成29年4月 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授 本教授	退職 (29)
臨床医学研究 医学総論 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责技法 研究免责	退職 (29)
事 連数接 本間 明宏 平成29年4月 上級整字研究 I	退職(29)
専	退職(29)
専	退職(29)
事 2数投 本間 明宏 平成29年4月 基盤医学研究 I	退職(29)
□ 中	退職 (29)
議僚医学研究 I 協床医学研究 I 協床医学研究 I 医学総論 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 協床医学研究 I 協床医学研究 I 協床医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 医学総論 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 公開条表演習 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础医学研究 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础 I 基础	退職 (29)
本教授 大部 -	退職(29)
医学院論 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 研究免表技法 I 基盤医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 ※1 F 准枚抄	退職(29)
研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 基盤医学研究 基盤医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 第次発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 第一次企9年4月 基盤医学研究 第一次企9年4月 基盤医学研究 第一次企9年4月 基础医学研究 第一次企9年4月 基础医学研究 第一次企9年4月 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 基础医学研究 第一次企9年3月及展研测 基础医学研究 第一次企9年3月及展研测 基础医学研究 1、2、20年2月及展研测 基础医学研究 1、2、20年2月及展研测 基础医学研究 1、2、20年2月及展研测 基础医学研究 1、2、20年2月及展研测 1、20年2月及展研测 1、20年2月及展研测 1、20年2月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月日 1年1日 1、20年2月日 1年1日 1、20年2月日 1年1日 1、20年2月日 1年1日 1、20年2月日 1年1日 1、20年2月日 1年1日 1、20年2月日 1年1日 1、20年2月日 1年1日 1、20年2月日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1	退職(29)
研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 基盤医学研究 基盤医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 第次発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 第一次企9年4月 基盤医学研究 第一次企9年4月 基盤医学研究 第一次企9年4月 基础医学研究 第一次企9年4月 基础医学研究 第一次企9年4月 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 研究免表技法 基础医学研究 第一次企9年3月及展研测 基础医学研究 第一次企9年3月及展研测 基础医学研究 1、2、20年2月及展研测 基础医学研究 1、2、20年2月及展研测 基础医学研究 1、2、20年2月及展研测 基础医学研究 1、2、20年2月及展研测 1、20年2月及展研测 1、20年2月及展研测 1、20年2月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月及展研测 1、20年2月月日 1年1日 1、20年2月日 1年1日 1、20年2月日 1年1日 1、20年2月日 1年1日 1、20年2月日 1年1日 1、20年2月日 1年1日 1、20年2月日 1年1日 1、20年2月日 1年1日 1、20年2月日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1	退職(29)
專 准数程 午部 一郎 平成29年4月 研究免表技法 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) 工术 (表生主) </th <th>退職 (29)</th>	退職 (29)
専 准教授 矢部 一郎 平成29年4月 基盤医学研究 I 協民医学研究 I 協民医学研究 I 協民医学研究 I 協民医学研究 I 基盤医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 中成29年4月 中成29年3月東漢師設閣 I 中成20年3月東漢師設閣 I 中成20年3月東漢師設閣 I 中成20年3月東漢師設閣 I L Y A D A B B L B B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B A D L B	退職(29)
本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医学研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級医院研究 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級EME 本級	退職(29)
基盤医学研究 I 協床医学研究 I 協床医学研究 I 協床医学研究 I 協床医学研究 I 協床医学研究 I 医学総論 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 医学総論 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 医学学输	退職(29)
臨床医学研究 医学総論 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 技能医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 社会医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 医学総論 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 平成29年4月 基盤医学研究 **	退職(29)
本	·退職 (29)
事 本	·退職 (29)
事 本	退職 (29)
専 准教授 若尾 宏 平成29年4月 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 医学総論 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 医学研究法 I 公開発表演習 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I 基金医学研究 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	退職(29)
専 准教授 若尾 宏 平成29年4月 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 医学総論 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 ※ 1 専 講師 泉 剛 平成29年4月 平成29年4月 本位表表	AE 400 (44)
本部校	
基盤医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 社会医学研究 I 医学総論 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 小学和介绍 I 医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 人工	が2名以上いる
社会医学研究 大村 秀光 平成29年4月 医学総論 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 Jiffa	
専 進教授 北村 秀光 平成29年4月 医学総論 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 医学総論 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究発表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表技法 I の研究系表 の研究系表 の研究系表 I I I I I I I I I I I I I	
専 進教授 北村 秀光 平成29年4月 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I J 上 大郎 大郎 大郎 大郎 大郎 大郎 大郎 大郎 大郎 大郎 大郎 大郎 大郎	
専 准教授 北村 秀光 平成29年4月 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基础 I T T T T T T T T T T T T T T T T T T	
専 准教授 北村 秀光 平成29年4月 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基础 I T T T T T T T T T T T T T T T T T T	
基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 医学総論 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 研究発表技法 医学研究法 公開発表演習 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究 基盤医学研究	
基盤医学研究 基盤医学研究 ※1	
専 講師 中成29年4月 平成29年4月 専 進教授 山崎 美和子 平成29年4月 医学総論 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 区学研究法 I 公開発表演習 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 区学総論 研究発表技法 I 研究発表技法 I 公開発表演習 基盤医学研究 「医学総論 研究発表技法 I 公開発表演習 基盤医学研究 「変化未定」 「変化未定」 いずれの科目も担当教ため、支障はない。	
専 講師 山崎 美和子 平成29年4月 平成29年4月 専 推教授 山崎 美和子 平成29年4月 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 公開発表演習 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 医学総論 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表技法 I 研究系表式 I 研究系表式 I 研究系表式 I 研究系表式 I 研究系表式 I 研究系表式 I M M M M M M M M M M M M M M M M M M	
専 講師 山崎 美和子 平成29年4月 平成29年4月 専 本数長 山崎 美和子 平成29年4月 研究発表技法 I 専 議館医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 ※1 専 講師 泉 剛 平成29年4月 平成29年3月泉講師退職「後任未定」 専 講師 基盤医学研究 I ・ ・ ※1	
専 講師 山崎 美和子 平成29年4月 医学研究法 I 公開発表演習 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 医学総論 研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 本位29年4月 本位29年4月 ※1	
専 講師 平成29年4月 医子切式法 I 公開発表演習 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 上でれる科目も担当数 ため、支障はない。	
基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 医学総論 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 後任未定	
基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I 医学総論 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 後任未定	
基盤医学研究 I 基盤医学研究 ※1 医学総論 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 後任未定 しずれの科目も担当教ため、支障はない。	
専 講師 泉 剛 平成29年4月 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 後任未定	
専 講師 泉 剛 平成29年4月 研究発表技法 I 研究発表技法 I 研究発表技法 I 基盤医学研究 I 後任未定	
専 講師 泉 剛 平成29年4月 研究発表技法 II 後任未定 いずれの科目も担当数ため、支障はない。	
専 講師 平成29年4月 研究発表技法 II 基盤医学研究 I 基盤医学研究 I	.29)
基盤医学研究Ⅰ	がっタヒトハス
基盤医学研究Ⅱ	N-2-0010-0
医学総論	
研究発表技法 I 研究発表技法 I	
等 講師 十成29年4月 「研究完成技法1」 等 講師 十成29年4月 「研究完成技法1	
基盤医学研究 I 基盤医学研究 ※1	
基盤医学研究Ⅱ	
医学総論	
研究発表技法 I 研究発表技法 I	
専 講師 小野寺 康仁 平成29年4月 研究発表技法Ⅱ 専 講師 小野寺 康仁 平成29年4月 研究発表技法Ⅱ	
基盤医学研究Ⅰ	
基盤医学研究 Ⅰ 基盤医学研究 Ⅰ ※1	
医学総論	
研究発表技法Ⅰ	
研究発表技法 I 研究発表技法 I	
専 講師 絹川 真太郎 平成29年4月 基盤医学研究 I 専 講師 絹川 真太郎 平成29年4月 其般医学研究 ※ 1	
基盤医学研究 ■ 基盤医学研究 ■ ※1	
臨床医学研究Ⅰ	
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	
医学総論	
研究発表技法Ⅰ	
研究発表技法 I 研究発表技法 I	
専 講師 近藤 健 平成29年4月 基盤医学研究 I 専 講師 近藤 健 平成29年4月 基盤医学研究 I ***	
基盤医学研究 Ⅰ 基盤医学研究 Ⅰ ※1	
臨床医学研究 I	
■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
1000 A (A + 100 T) 11	

				医学総論					医学総論	
				研究発表技法 I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	講師	新宮 康栄	平成29年4月	基盤医学研究I	専	講師	新宮 康栄	平成29年4月	91707032121212	
₹	하는		十成29年4月		₹	하는		十成2944月	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究 I					臨床医学研究	※ 2
				臨床医学研究Ⅱ					Emplose 1 9150	–
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
専	講師	高橋 秀尚	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	講師	高橋 秀尚	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	+
7	Dies Puls		1 10020 - 471		-4	Di-3 Fuls		1 100,20 - 471	明光光教汉法正	
				基盤医学研究I					基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法 I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	講師	髙畑 雅彦	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	准教授	髙畑 雅彦	平成29年4月		
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				-						
				臨床医学研究I					臨床医学研究	※ 2
				臨床医学研究Ⅱ						
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
専	講師	谷野 美智枝	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	講師	谷野 美智枝	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	1
				基盤医学研究 I						
1				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				ł					F- 34 40 5A	
				医学総論					医学総論	
		'		研究発表技法I			``		研究発表技法I	
専	講師	津田 真寿美	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	講師	津田 真寿美	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究 I					** ** **	
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				医学総論					医学総論	
										-
				研究発表技法I					研究発表技法I	4
		中山 若樹		研究発表技法Ⅱ			中山 若樹		研究発表技法Ⅱ	
専	講師	中山 右侧	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	講師	中田 右側	平成29年4月	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ					坐盖区于明九	* 1
				臨床医学研究 I						
				臨床医学研究Ⅱ					臨床医学研究	※ 2
				医学総論					医学総論	
									研究発表技法I	_
				研究発表技法Ⅰ						4
		早川 峰司		研究発表技法Ⅱ			早川 峰司		研究発表技法Ⅱ	
専	講師	平川 暉 町	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	講師	十川 暉円	平成29年4月	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ					Em E 1 9170	
				臨床医学研究 I					吃 c c 类 T c	W 0
1				臨床医学研究Ⅱ					臨床医学研究	※ 2
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	1
										-
l _		舟山 恵美		研究発表技法Ⅱ	l		舟山 恵美		研究発表技法Ⅱ	
専	講師	// III / III / III	平成29年4月	基盤医学研究I	専	講師	// H / I / I	平成29年4月	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究 I					施住医类亚克	W 2
				臨床医学研究Ⅱ					臨床医学研究	※ 2
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	†
					<u>+</u>	=#.6x	堀之内 孝広	亚出20年4日		-
l _	-,	堀之内 孝広		研究発表技法Ⅱ	専	講師		平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
専	講師	·νν~Γ1 +ΙΔ	平成29年4月	基盤医学研究I					基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				医骨顶壳汁皿	#	\$64-4100	吉岡 充弘	₩ # 20 # 4 #	医类型布法虫	平成29年1月
				医学研究法 Ⅱ	専	教授		平成29年4月	医学研究法Ⅱ	教育体制の見直しにより科目担当教員の 変更(29)
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	-
					*	5# AT	真崎雄一	₩ #****		-
		真崎 雄一		研究発表技法Ⅱ	専	講師		平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
専	講師	共响 紙一	平成29年4月	基盤医学研究I					基盤医学研究	※ 1
1				基盤医学研究Ⅱ						
1				E # 77 # 12 =	_	#L 1=	吉岡 充弘	# # 00 # : =	E####	平成29年1月
				医学研究法 Ⅱ	専	教授		平成29年4月	医学研究法 Ⅱ	教育体制の見直しにより科目担当教員の 変更(29)
ь			i	l .	l	1			l .	1

				1			,		1	T
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法 I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	講師	森川 守	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	准教授	森川 守	平成29年4月		
	MIT HIT		1 /2/20 1 1/1			, E-12.12		1 75020 1 177	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究I					臨床医学研究	*2
				臨床医学研究Ⅱ						
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法 I					研究発表技法I	1
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
専	講師	保田 晋助	平成29年4月		専	准教授	保田 晋助	平成29年4月	917070321212	
₩	神訓		十成29年4月	基盤医学研究I	4	准软技		十成29年4月	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究 I					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ					טכופיו בשיוקשוב	
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	1
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
専	講師	山田 雅文	平成29年4月	基盤医学研究I	専	講師	山田 雅文	平成29年4月	917070341212	
47	마무미바		十成25年4万		-47	DEP DIV		十成23年4万	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究 I					臨床医学研究	* 2
				臨床医学研究Ⅱ					טכופיו בשיוקשוב	
				医学総論					医学総論	
I				研究発表技法I					研究発表技法I	
I				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	AMENGUAL PLIEGO MARIA OLGA	平成29年4月	基盤医学研究I	専	助教	AMENGUAL PLIEGO MARIA OLGA	平成29年4月	WINDOWS IX IX IX	
4	DJIFX	MANTA OLGA	十成2944月		4	助软	MANTA OLUA	十成2944月	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究 I					臨床医学研究	* 2
				臨床医学研究Ⅱ					7 37 30	
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
専	助教	浅井 雄介	平成29年4月		専	助教	浅井 雄介	平成29年4月	WINDOW IXIX	
4	DJJ÷X		十成2944月	基盤医学研究I	₹	助软		十八人29十4月	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				社会医学研究 I					社会医学研究	*3
				社会医学研究Ⅱ					1222 7 5750	
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	1
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	1
専	助教	浅野 毅	平成29年4月	基盤医学研究I	専	助教	浅野 毅	平成29年4月	7770727777	<u> </u>
47	列权		十成25年4万		-47	19)15)		十成23年4万	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						<u> </u>
				臨床医学研究I					臨床医学研究	*2
				臨床医学研究Ⅱ						
I				医学総論					医学総論	
I				研究発表技法I					研究発表技法I	
I				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	新井 明日菜	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	助教	新井 明日菜	平成29年4月		
1				基盤医学研究Ⅱ	1				基盤医学研究	※ 1
I									-	+
1				社会医学研究Ⅰ		Ī			社会医学研究	* 3
<u> </u>				社会医学研究Ⅱ	ļ	 				
I				医学総論					医学総論	_
I		,		研究発表技法I			_,		研究発表技法I	
専	助教	有木 宏美	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	助教	有木 宏美	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究 I						
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
									医学业会	
I				医学総論					医学総論	4
		稲葉 直子		研究発表技法Ⅰ			稲葉 直子		研究発表技法I	_
専	助教	181米 但丁	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	助教	和米 但于	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究 I		Ī			甘般医学可办	W 4
1				基盤医学研究Ⅱ		Ī			基盤医学研究	※ 1
				医学総論		1			医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	†
	DT 34	伊 敏	₩ + 00/		-	DT:4/L	伊敏	W # 00 # 1 P		4
専	助教		平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	助教		平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
I				基盤医学研究I					基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
		ii		•		•			•	

				医学総論					医学総論	
専				研究発表技法I	専				研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
	助教	岩野 弘幸	平成29年4月	基盤医学研究 I		助教	岩野 弘幸	平成29年4月		
	2332		1 750 2 0 1 177			73.32		1 750.20 1 171	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究I					臨床医学研究	※ 2
				臨床医学研究Ⅱ						
				医学総論	専				医学総論	
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
	助教			研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専		岩見 大基	平成29年4月	基盤医学研究 I		助教	岩見 大基	平成29年4月		
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				臨床医学研究 I					臨床医学研究	※ 2
				臨床医学研究Ⅱ						
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究 I						
専	助教	鵜川 重和	平成29年4月	基盤医学研究Ⅱ	専	助教	鵜川 重和	平成29年4月	基盤医学研究	※ 1
'				社会医学研究I						
				社会医学研究Ⅱ					社会医学研究	※3
				社会医子研究Ⅱ						亚成20年1日
									社会医学研究法I	平成29年1月 教育体制の見直しにより、科目担当教員
					L				,	として追加(29)
1				医学総論					医学総論	
1		内ヶ島 基政	平成29年4月	研究発表技法I	専	助教			研究発表技法Ⅰ	
	助教			研究発表技法Ⅱ			内ヶ島 基政		研究発表技法Ⅱ	
専				医学研究法 I				平成29年4月	医学研究法 I	
				公開発表演習					公開発表演習	4
									公開光衣演目	
				基盤医学研究I					基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
	助教	内田 洋介	平成29年4月	医学総論	1				医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専				基盤医学研究 I	専	助教	内田 洋介	平成29年4月	** ** ***	
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				臨床医学研究 I						
				臨床医学研究Ⅱ					臨床医学研究	※ 2
				医学総論					医学総論	
	助教	江川 潔	平成29年4月		· · · ·		江川 潔	平成29年4月		-
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法I	_
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専				基盤医学研究I		助教			基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究 I					臨床医学研究	※ 2
				臨床医学研究Ⅱ					PRINCIPLE 1 19150	
	助教	榎木 亮介	夏木 亮介 平成29年4月	医学総論	専	助教	榎木 亮介		医学総論	
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
専				研究発表技法Ⅱ				平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究 I						
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				医学総論		1			医学総論	
				研究発表技法I	東日					+
_	助教	大塚 紀幸	下塚 紀幸 平成29年4月			D4 +/L	大塚 紀幸	T #00 # 1 F	研究発表技法Ⅰ	4
専				研究発表技法Ⅱ		助教		平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
1				基盤医学研究I					基盤医学研究	※ 1
<u> </u>				基盤医学研究Ⅱ						
	助教	大林 由英	平成29年4月	医学総論	専	助教	大林 由英		医学総論	
1				研究発表技法I				平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専				基盤医学研究 I						
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				社会医学研究I						
1				社会医学研究Ⅱ					社会医学研究	※ 3
1				+		1			医学纷呤	
専	助教	大平 洋	平成29年4月	医学総論	専	助教	大平 洋	平成29年4月	医学総論	4
				研究発表技法I					研究発表技法I	4
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究I					基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
1				臨床医学研究 I					臨床医学研究	*2
				臨床医学研究Ⅱ					四小位于明九	M 4
						•			•	•

				医学総論					医学総論	
専				研究発表技法I	専			İ	研究発表技法I	
	助教	大村 優	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ		助教	大村 優	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究 I						
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				医学総論					医学総論	
専	助教	小野澤 真弘		研究発表技法I	1				研究発表技法I	_
			五十00年4日	-	-	DT 4/F	小野澤 真弘	亚 + 00 年 4 日	-	4
			平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	助教		平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究I					基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
	助教	折茂 達也	平成29年4月	医学総論	専	助教			医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
専				研究発表技法Ⅱ			折茂 達也	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究 I					++ on -= 1V == +-	
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				医学総論					医学総論	
	助教	加納 崇裕		研究発表技法I	専	助教			研究発表技法I	_
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	_
_			五十00年4日				加納 崇裕	平成29年4月	明九无农汉丛山	
専			平成29年4月	基盤医学研究I				平成29年4月	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究I					臨床医学研究	※ 2
				臨床医学研究Ⅱ						
1				医学総論					医学総論	
	助教	川久保 和道	平成29年4月	研究発表技法I	- - - - -	助教	川久保 和道		研究発表技法I	
専				研究発表技法Ⅱ				平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究 I						
1				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				医学総論		H			医学総論	
				研究発表技法I		助教			研究発表技法I	-
専	助教				専		北市 雄士	平成29年4月		-
4				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究I					基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				医学総論					医学総論	
	助教	GOUDARZI HOUMAN	平成29年4月	研究発表技法I	· · · ·	助教	GOUDARZI HOUMAN	平成29年4月	研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専				基盤医学研究 I					甘松医类可力	***
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				臨床医学研究 I						
				臨床医学研究Ⅱ					臨床医学研究	※ 2
				医学総論					医学総論	
	助教	木村 俊介	平成29年4月	研究発表技法I	- - - - -	助教		平成29年4月	研究発表技法I	7
				研究発表技法Ⅱ			木村 俊介		研究発表技法Ⅱ	-
専										-
				医学研究法 [医学研究法 I	
				基盤医学研究 I					基盤医学研究	※ 1
<u> </u>				基盤医学研究Ⅱ						
1	助教	KURKIN SERGEY		医学総論	専	助教	KURKIN SERGEY		医学総論	4
				研究発表技法I					研究発表技法I	
専			平成29年4月	研究発表技法Ⅱ				平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究 I					甘般医学可办	W 1
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	1
	助教	小林 純子	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	-		小林 純子	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	†
専				医学研究法 [専	助教			医学研究法 [-
									三丁则九瓜 1	
				基盤医学研究I					基盤医学研究	※ 1
<u></u>				基盤医学研究Ⅱ					F 24 60 5A	
		今野 幸太郎	平成29年4月	医学総論	中				医学総論	4
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法I	4
	助教			研究発表技法Ⅱ			A mg		研究発表技法Ⅱ	
専				医学研究法 I		助教	今野 幸太郎	平成29年4月	医学研究法 I	
				公開発表演習					公開発表演習	
				基盤医学研究 I						
				基盤医学研究Ⅱ	1				基盤医学研究	※ 1
				医学総論					医学総論	
	助教	金野 陽輔	平成29年4月		専	助教	金野 陽輔	平成29年4月	研究発表技法I	+
専				研究発表技法Ⅰ						
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究I					基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						

										T
				医学総論					医学総論	
専				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
	助教	佐々木 成子	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	助教	佐々木 成子	平成29年4月	++ 00 == 11/ == +-	
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	* 1
				社会医学研究 I						
				社会医学研究Ⅱ					社会医学研究	* 3
-									F ** 40 = A	
				医学総論	- - - - - -				医学総論	_
	助教	清水 健太	平成29年4月	研究発表技法I			** -1. /** -1-		研究発表技法Ⅰ	
専				研究発表技法Ⅱ		助教	清水 健太	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究 I					# An IE 24 TII do	W 2
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
	助教	志馬 寛明		医学総論						
				研究発表技法I						平成29年3月志馬助教退職(29)
専			平成29年4月				タイナウ			「後任未定」
₩.				研究発表技法Ⅱ	•		後任未定			いずれの科目も担当教員が2名以上いる
				基盤医学研究I						ため、支障はない。
				基盤医学研究Ⅱ						
				医学総論						
				研究発表技法I	- - - - -					
				研究発表技法Ⅱ						平成29年3月杉本助教退職(29)
専	助教	杉本 智恵	平成29年4月	基盤医学研究 I			後任未定			「後任未定」
			+1,0,23,447	基盤医学研究Ⅱ			BUNE			いずれの科目も担当教員が2名以上いる ため、支障はない。
										7.00, 文牌18.60%
				社会医学研究 I						
				社会医学研究Ⅱ						
		高橋 育子	平成29年4月	医学総論	- - - - -		高橋 育子	平成29年4月	医学総論	
	助教			研究発表技法I					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専				基盤医学研究 I		助教			++ 00 == 11/ == +-	
				基盤医学研究Ⅱ		1			基盤医学研究	※ 1
				臨床医学研究 I						
				臨床医学研究Ⅱ					臨床医学研究	※ 2
	助教	竹内 啓	平成29年4月		専				医类似验	
				医学総論		助教	竹内 啓	平成29年4月	医学総論	4
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法I	_
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専				基盤医学研究 I					基盤医学研究	* 1
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医子听九	* 1
				臨床医学研究 I						
				臨床医学研究Ⅱ					臨床医学研究	※ 2
	助教	武田 真人	草人 平成29年4月	医学総論	専	助教	武田 真人	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	=
										-
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専				基盤医学研究I					基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究 I					臨床医学研究	* 2
L				臨床医学研究Ⅱ		L			州水区于州九	
				医学総論				-	医学総論	
1	助教	築山 忠維	平成29年4月	研究発表技法I	- - - - - - -	助教			研究発表技法I	7
専				研究発表技法Ⅱ			築山 忠維	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	7
1				基盤医学研究 I		~ ~ ~		1 177		
									基盤医学研究	※ 1
<u> </u>				基盤医学研究Ⅱ	\parallel	$\vdash \vdash$			E##*	
1	助教	津田 祥美		医学総論		1			医学総論	4
1			田 祥美 平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専		津田 祥美	平成29年4月	研究発表技法I	4
専				研究発表技法Ⅱ		講師			研究発表技法Ⅱ	
1				基盤医学研究Ⅰ					甘般医类亚类	W.1
1				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
	助教	TERKAWI MOHAMAD ALAA HASAN SHEKH		医学総論	専				医学総論	
1				研究発表技法I					研究発表技法I	7
1				研究発表技法Ⅱ			TEDVANT NOUANA		研究発表技法Ⅱ	╡
-						p.L.+v.	TERKAWI MOHAMAD ALAA HASAN	₩ c+ 00 ← 4 □	₩ 九光衣技法 Ⅱ	
専				基盤医学研究I		助教	SHEKH	平成29年4月	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究I					臨床医学研究	* 2
L	L			臨床医学研究Ⅱ		L			州水区于州九	
		土佐 紀子	紀子 平成29年4月	医学総論	中	助教	土佐 紀子	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	7
専				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	7
	助教			医学研究概論					医学研究概論	
									卢丁 씨 지배	
				基盤医学研究I					基盤医学研究	※ 1
<u> </u>	l			基盤医学研究Ⅱ]				

				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
専	助教	中澤 祐一	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	助教	中澤 祐一	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究 I					基盤医学研究	* 1
				基盤医学研究Ⅱ					基 蓝区于明九	* 1
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	中村 透	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	助教	中村 透	平成29年4月		
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				臨床医学研究 I						
				臨床医学研究Ⅱ					臨床医学研究	※ 2
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
専	助教	西出 真也	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	助教	西出 真也	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
	3332		1 7220 1 171	基盤医学研究I	٠,	23.32		1 750 1 177	WINDS AND IN	
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
									医学业验	
				医学総論					医学総論	_
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法I	_
専	助教	PAUDEL SARAD	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	助教	PAUDEL SARAD	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				医学研究法 II					医学研究法 II	
				基盤医学研究 I					基盤医学研究	※ 1
<u> </u>				基盤医学研究Ⅱ		1				
1				医学総論					医学総論	<u> </u>
1		橋本 あり		研究発表技法I			矮士 七川		研究発表技法I	<u> </u>
専	助教	価本 めり	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	助教	橋本 あり	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
1				基盤医学研究 I					基盤医学研究	* 1
				基盤医学研究Ⅱ					E-11 9170	<u> </u>
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	秦 洋郎	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	助教	秦 洋郎	平成29年4月	基盤医学研究	* 1
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医子研究	ж I
				臨床医学研究 I					吃	W 2
				臨床医学研究Ⅱ					臨床医学研究	※ 2
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
専	助教	東 恒仁	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	助教	東 恒仁	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究 I						
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	平田 健司	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	助教	平田 健司	平成29年4月	3120202424	
,	-53.55		. ,,,,== , ,,,	基盤医学研究Ⅱ		-37.35		172-1172	基盤医学研究	※ 1
				臨床医学研究I						
				臨床医学研究Ⅱ					臨床医学研究	※ 2
-	-			医学総論		1			医学総論	
1				研究発表技法 I					研究発表技法 I	
専	助教	藤岡 容一朗	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	助教	藤岡 容一朗	平成29年4月	研究発表技法 II	-
7	助牧		〒154.2344月	-	4	列软		⊤ 1%∠₹ + +∏	则 九九红汉本 II	
1				基盤医学研究 I					基盤医学研究	※ 1
1	<u> </u>			基盤医学研究Ⅱ					医类似 会	
				医学総論					医学総論	4
1				研究発表技法I					研究発表技法Ⅰ	4
		藤原 圭司		研究発表技法Ⅱ			藤原 圭司		研究発表技法Ⅱ	
専	助教	*** TI	平成29年4月	基盤医学研究I	専	助教	##W 포티	平成29年4月	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究 I					臨床医学研究	※ 2
<u> </u>				臨床医学研究Ⅱ		 				
				医学総論					医学総論	4
		坊垣 暁之		研究発表技法I			坊垣 暁之		研究発表技法I	<u> </u>
専	助教	刈坦 晄人	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	助教	刃坦 吼之	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究 I					基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				医学総論					医学総論	_
		+88 100 +		研究発表技法I			±88 ±∞±		研究発表技法I	
専	助教	本間 理央	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	助教	本間 理央	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
1				基盤医学研究 I					基盤医学研究	* 1
<u>L</u>	<u> </u>			基盤医学研究Ⅱ					全血ഥ士训九	· ·
								•		

				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	7
										-
		的場 光太郎		研究発表技法Ⅱ			的場 光太郎		研究発表技法Ⅱ	
専	助教	时场 儿众叫	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	助教	的物 儿太郎	平成29年4月	基盤医学研究	※ 1
				基盤医学研究Ⅱ					圣监区于明九	* 1
				社会医学研究 I						
									社会医学研究	% 3
				社会医学研究Ⅱ						
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	7
	m. 40	三井 信幸				m1 40	三井 信幸		9176763X 1X/X II	
専	助教		平成29年4月	基盤医学研究I	専	助教		平成29年4月	基盤医学研究	* 1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究 I						
				臨床医学研究Ⅱ					臨床医学研究	※ 2
			1	+					E # 40 = A	
				医学総論					医学総論	
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	宮崎 太輔	平成29年4月	医学研究法 I	専	助教	宮﨑 太輔	平成29年4月	医学研究法 I	3
				公開発表演習					公開発表演習	
									公用完衣演首	
				基盤医学研究 I					基盤医学研究	※ 1
			İ	基盤医学研究Ⅱ					上面具于例为	
				医学総論					医学総論	
			İ	研究発表技法I					研究発表技法I	╡
	B1.4"	宮武 由甲子				F1 -00	宮武 由甲子			-
専	助教		平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	助教		平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
			İ	基盤医学研究 I					基盤医学研究	※ 1
			1	基盤医学研究Ⅱ					圣	* 1
				医学総論					医学総論	
										-
		村上 壮一		研究発表技法Ⅰ			村上 壮一		研究発表技法Ⅰ	4
専	助教	T) 11	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	助教	T) 11	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究 I					** ** ***	
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
				医学総論					医学総論	
										4
		441 394		研究発表技法I			441 344		研究発表技法I	
専	助教	村上 学	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	助教	村上 学	平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究 I						
				基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
-									FF 444 400 EA	
				医学総論					医学総論	4
				研究発表技法I					研究発表技法I	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	山野邉 貴信	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	助教	山野邉 貴信	平成29年4月		
-47	D) IX		十成20千4万	基盤医学研究Ⅱ	-47	19)143		十,0,204+7	基盤医学研究	※ 1
				基盤医子研究Ⅱ						
									医学研究概論	平成29年1月
									区子切九似洲	教育体制の見直しにより科目担当教員と して追加(29)
			†	医 学 公 验		1			医 学 公 論	†
			1	医学総論					医学総論	-
			1	研究発表技法I					研究発表技法I	_
			İ	研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
専	助教	横田 卓	平成29年4月	基盤医学研究 I	専	助教	横田 卓	平成29年4月		
			1	基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
			1						-	+
			İ	臨床医学研究I					臨床医学研究	※ 2
L			<u> </u>	臨床医学研究Ⅱ	L	L	<u></u>	<u> </u>		
				医学総論					医学総論	
I			1	研究発表技法I					研究発表技法I	7
#	B+ **	吉田 隆行	₩ # 20 /= 4 □		#	D+ #4-	吉田 隆行	平成29年4月		┥
専	助教		平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	助教		平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
			İ	基盤医学研究I					基盤医学研究	※ 1
			İ	基盤医学研究Ⅱ					金皿以下则九	,
				医学総論					医学総論	
			1							╡
_	B1.40	渡部 昌		研究発表技法Ⅰ		F1 -00	渡部 昌		研究発表技法I	-
専	助教		平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	専	助教		平成29年4月	研究発表技法Ⅱ	
			İ	基盤医学研究 I					其般医类亚克	W 1
			İ	基盤医学研究Ⅱ					基盤医学研究	※ 1
			<u> </u>						1	†
			1		_	DT:44	山野邊 貴信	₩ €00 € 4 5	医类亚克斯科	平成29年1月
			1		専	助教		平成29年4月	医学研究概論	教育体制の見直しにより科目担当教員と して追加(29)
L			<u></u>		L	<u></u>				
									医学総論	
			İ				守屋 仁彦		研究発表技法I	平成29年1月
			İ		専 准教	准教授	7厘1上15	平成29年4月		教育体制の見直しにより科目担当教員と
			1						研究発表技法Ⅱ	して追加(29)
									臨床医学研究	

									医学総論	
					専	助教	杉野 弘和	平成29年4月	研究発表技法I	平成29年1月 教育体制の見直しにより科目担当教員と
									研究発表技法Ⅱ	して追加 (29)
									医学総論	平成29年 1 月
					専	助教	竹谷 隆司	平成29年4月	研究発表技法I	教育体制の見直しにより科目担当教員と して追加(29)
									研究発表技法Ⅱ	して追加(29)
									医学総論	
					専	助教	中川 雅夫	平成29年4月	研究発表技法I	平成29年1月 教育体制の見直しにより科目担当教員と
					4	1971-53		+10,204471	研究発表技法Ⅱ	して追加(29)
									臨床医学研究	
							***		医学総論	平成29年 1 月
					専	助教	鷲尾 浩平	平成29年4月	研究発表技法I	教育体制の見直しにより科目担当教員と して追加(29)
									研究発表技法Ⅱ	O CALIM (CO)
兼担	教授	小笠原 克彦	平成29年4月	医倫理学						
兼担	教授	久下 裕司	平成29年4月	医学研究概論						
兼担	准教授	南須原 康行	平成29年4月	臨床医学研究法Ⅱ						
兼任	非常勤講師	岸 玲子		実験・研究計画法	専	教授	玉腰 暁子	平成29年4月	実験・研究計画法	平成29年1月 教育体制の見直しにより、科目担当教員 の変更(29)

- (注)・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における選年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の選年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、 変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、 及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - 及び予核の採用計画を "順考」に記入して、たことが。 **握可で設置された学部等の原在教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画 変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (AC教員審査) を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

 「専任教員採用等変更書 (AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定
 - の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度 ()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時におけ る設置基準上の必 要研究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における設 置基準上の必要研究指 導補助教員数
45	30	15
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件 (平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号) により 算出される教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

	設置時の計画				現在(報告書提出時)の状況					現在	(報告書提出	時)の完成な	年度時の計画	Ī.
教 授	准教授	講師	i 助教	計	教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)
52 (44)	28	19 (15)	62 (63)	161 (154)	44	31	15	63	153	44 [\(\Delta 8 \)]	31	15 [△4]	63	153 [△8]
研究指導員数	教 研究技	()	講義のみ担 当の教員数		研究指導教員發			 		研究指導教員	数 研究指導 教員	算補助 講義	<u> </u>	[230]
57		104	0		52	10	01	0		52	101		0	
(52)		102)	(0)	/	V.		••	ŭ	\vee	[△5]	[Δ3	3]	[0]	\vee

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、())内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成									
定年規定の定め る定年年齢 (歳)	報告書提出時(上記 (A))の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時(上 記(B))の教 員うち、定年を 延長して採用す る教員数							
65	0	0							
歳	名	名							

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入
 - し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

〈博士課程〉

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

1											
1			選択	医学総論	1)						
1			必修	研究発表技法I	1)						
1			必修	研究発表技法Ⅱ	1)						
	教授	玉木 長良	必修	基盤医学研究 I	1)	平成29年3月退職のため,就任辞退(29)					
			必修	基盤医学研究 Ⅱ	1)	7					
			必修	臨床医学研究 I	1)						
			必修	臨床医学研究 Ⅱ	1						
			選択	医学総論	1						
			必修	研究発表技法I	1						
			必修	研究発表技法Ⅱ	1						
2	教授	筒井 裕之	必修	基盤医学研究I	1	平成28年7月退職のため、就任辞退(29)					
			必修	基盤医学研究 Ⅱ	1						
			必修	臨床医学研究 I	1						
			必修	臨床医学研究 Ⅱ	1						
			選択	医学総論	1						
			必修	研究発表技法I	1						
			必修	研究発表技法Ⅱ	1						
3	教授	福田 諭	必修	基盤医学研究I	1	■平成29年3月退職のため,就任辞退(29)					
			必修	基盤医学研究Ⅱ	1)						
			必修	臨床医学研究 I	1)						
			必修	臨床医学研究Ⅱ	1)						
			選択	医学総論	1)						
.			必修	研究発表技法 [1)						
4	教授	安田 和則	必修	研究発表技法Ⅱ	1)	平成29年3月退職のため,就任辞退(29)					
			必修	基盤医学研究I	1)	4					
			必修	基盤医学研究Ⅱ	1						
			選択	医学総論	①	4					
			业修 必修	研究発表技法Ⅰ	1	-					
5	教授	櫻木 範明	必修	研究発表技法Ⅱ	①	▲ ■平成29年3月退職のため、就任辞退(29)					
J	我较	倭小 軋奶	必修	基盤医学研究Ⅰ	①	一十次29年3月返職のため、就任許返(29)					
				基盤医学研究 I 臨床医学研究 I	1	4					
			必修	臨床医学研究 II	1	-					
			選択	医学総論	1						
			必修	研究発表技法 I	①	+					
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	1					
6	教授	水上 尚典	必修	基盤医学研究 I	①	▲ 平成29年3月退職のため、就任辞退(29)					
-			必修	基盤医学研究Ⅱ	①						
			必修	臨床医学研究 I	1	1					
			必修	臨床医学研究Ⅱ	1	1					
			選択	医学総論	1						
			必修	研究発表技法I	1	1					
7	教授	瀬谷 司	必修	研究発表技法Ⅱ	1	■ 平成28年3月退職のため,就任辞退(29)					
			必修	基盤医学研究 I	1	1					
			必修	基盤医学研究Ⅱ	1	1					
			選択	医学総論	1						
			必修	研究発表技法I	1	1					
8	教授	三輪 聡一	必修	研究発表技法Ⅱ	1	- 平成28年9月退職のため,就任辞退(29)					
			必修	基盤医学研究 I	1)	1					
			必修	基盤医学研究 Ⅱ	1)	1					

			選択	医学総論	in the second	1							
			必修	研究発表		1							
			必修	研究発表	長技法 Ⅱ	1		1					
9	准教授	若尾 宏	必修	基盤医学	₽研究 Ⅰ	1		平月	成28年12月	月退職のた	とめ,就任	辞退((29)
			必修	基盤医学	₽研究Ⅱ	1		1					
			必修	社会医学	₽研究 I	1							
			必修	社会医学	₽研究Ⅱ	1							
			選択	医学総論	角	1							
			必修	研究発表	長技法 I	1							
10	講師	泉 剛	必修	研究発表	長技法 Ⅱ	1		平月	成29年3月	引退職のた	とめ,就任	辞退((29)
			必修	基盤医学	₽研究 I	1							
			必修	基盤医学	₽研究Ⅱ	1							
			選択	医学総論	角	1							
			必修	研究発表	長技法 I	1							
11	助教	志馬 寛明	必修	研究発表	長技法 Ⅱ	1		平月	成29年3月	月退職のた	とめ,就任	辞退((29)
			必修	基盤医学	₽研究 I	1							
			必修	基盤医学	₽研究Ⅱ	1							
			選択	医学総論	À	1							
			必修	研究発表	₹技法 I	1							
			必修	研究発表	長技法 Ⅱ	1							
12	助教	杉本 智恵	必修	基盤医学	₽研究 I	1		平月	成29年3月	月退職のた	とめ,就任	辞退((29)
			必修	基盤医学	₽研究Ⅱ	1							
			必修	社会医学	₽研究 I	1							
			必修	社会医学	₽研究Ⅱ	1							
		合計	† (A)				後	任補	前充状況σ	集計(B)		
京	优任を辞	退した教員数	担当科目数の合	à計 (a) →	+ (p) + (c)	①の合計	数(a)		②の合計	十数(b)	③の合詞	計数((c)
			必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0 科目	必修	0	科目
			選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0 科目	選択	0	科目
	12	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0	科目
			計	9	科目	計	9	科目	計	0 科目	計	0	科目

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)ー②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) 一② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定	≅科目	後任補充	状況			辞任	等の)理由		
			選択	医学総論	Ħ	1								
			必修	研究発表	表技法 I	1								
			必修	研究発表	長技法 Ⅱ	1								
1	准教授	北村 信人	必修	基盤医学	≠研究 I	1		平月	或29年4月	退職0	りたと	か辞任(29)	
			必修	基盤医学	堂研究 Ⅱ	1								
			必修	臨床医学	≠研究 I	1								
			必修	臨床医学	望研究 Ⅱ	1								
		合計	├ (C)				後	任神	前充状況の	集計	(D))		
	辞任	した教員数	担当科目数の合	計 (a) -	+ (p) + (c)	①の合計	数(a)		②の合計	∤数(I	b)	③の合計	数(c)
			必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	1	\downarrow	選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	'	^	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)-①・(3)-② の合計

	合計(A	後任補充状況の集計(B)+(D)								
辞任等した教	担当科目数の合	計 (a) +	+ (p) + (c)	①の合計	·数(a)	②の合計	十数(b)	③の合計	十数(c)	
		必修	8	科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
13	I	選択	1	科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
13		自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	9	科目	計	9 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注)・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について,教員数、担当科目数の合計,後任補充の状況を記入ください。
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の退職に伴う就任辞退であるが,いずれの科目も分野・教室の助教以上の専任教員全員で担当していることから教育・研 究指導に支障はない。

学生に対しては,教員の所属教室において周知している。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を 記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	等	履行状況	未履行事項について の実施計画
設置時				
(平成29年4月)	該当なし			

- (注)・「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する 履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付 してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される<u>全ての報告書に</u> 記入してください。
 - 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<大学院医学院 医学専攻(博士課程)>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況,今後の見通しなど
	該当なし

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については 適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
 - 1. 高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会
 - 2. 医学教育推進センター運営委員会, 医学教育推進センターにおける教育企画委員会
- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
 - 1. 高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会(平成29年度開催予定)
 - 2. 医学教育推進センター運営委員会(平成29年度開催予定), 医学教育推進センターにおける教育企画委員会(平成29年度開催予定)
- c 委員会の審議事項等
 - 1. 高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会

教員、ティーチング・アシスタント、ティーチング・フェロー等に係る研修の企画、立案及び実施に関すること。

職員に係る研修の企画、立案及び実施並びに研修情報の一元化に関すること。

総合入試制度に係る進路支援、修学支援、学習支援、データ分析等に関すること。

その他教職員等の研修に関すること。

2. 医学教育推進センター運営委員会, 医学教育推進センターにおける教育企画委員会

医学教育の研究開発・企画、立案、実施にかかること

教育の評価システムについての情報収集及び解析に関すること

共用試験についての実施及び管理に関すること

教員のFDについての企画及び実施に関すること

その他医学教育についての研究開発及び推進に関すること

② 実施状況

- 1. 高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会
 - a 実施内容

本学教職員を対象としたFDの実施

b 実施方法

ワークショップ形式、講義形式、講演会等の本学教職員を対象としたFDの実施

c 開催状況(教員の参加状況含む)

平成28年度の実施状況は以下のとおりであり、平成29年度も継続的にFDを実施する予定である。

- ・「クリッカーの使い方入門」研修(4/22,5/26,北大:19名,北大以外:9名)
- 「学習への動機付けを行う授業スキル」ワークショップ(5/13, 北大:11名, 北大以外:5名)
- ・新任教員向け研修「知って活用したい北大の諸制度」(5/20, 北大:36名)
- ・ワークショップ「効果的なグループワークのためのファシリテーション入門」(5/27, 北大:21名, 北大以外:8名)
- ・総長室事業推進経費プロジェクトによる北大教育改革に係る研究成果発表ワークショップ(6/8, 北大:37名)
- ・第29回北海道大学教育ワークショップ(6/17-18, 北大:21名)
- ・アカデミック・プレゼンテーション研修「英語によるアカデミック・プレゼンテーションの実践」(5-7月,期間中4回,北大:6名)
- ・講演会「第三期中期計画・中期目標からみる今後の国立大学の方向性」(6/22, 北大:93名, 北大以外:16名)
- ・ワークショップ「学生の思考を深め、発言を促すための問いかけと場づくり」(6/23、北大:16名、北大以外:10名)
- ・アカデミック・プレゼンテーション研修「英語によるアカデミック・プレゼンテーションの基礎」(6/30,北大:28名,北大以外:5名)
- ・ルーブリック評価表作成ワークショップ (7/8, 北大:18名, 北大以外:13名)
- ·英語発音力講座 (7/9,11, 北大:94名, 北大以外:1名)
- ・ワークショップ「英語でシラバスを作成する」(8/22, 北大:11名)
- ・国際シンポジウム「学生と共に創る教育の質保証~SA, TA, PFFなどのこれから~」(9/8, 北大: 43名, 北大以外: 13名)
- ·Workshop on creating rubrics (9/13, 北大:8名, 北大以外:1名)
- 第30回北海道大学教育ワークショップ(9/14-15,北大:21名,北大以外:6名)
- ・講演会「授業準備と運営~学習者の認知・心理的側面から~」(11/11, 北大:33名, 北大以外:19名)
- ・第31回北海道大学教育ワークショップ(11/18-19, 北大:15名, 北大以外:1名)
- ・ワークショップ「学生の思考を深め、発言を促すための問いかけと場づくり」(12/9、北大:7名、北大以外:7名)
- ・英語によるアカデミックプレゼンテーションの基礎(前編) (12/12, 北大:36名, 北大以外:11名)
- ・シラバスのブラッシュアップ研修(12/17, 北大:9名, 北大以外:7名)
- ・英語によるアカデミックプレゼンテーションの基礎(後編) (12/19, 北大:14名)
- ・研究室マネジメント研修(1/27, 北大:13名, 北大以外:4名)
- ・英語コミュニケーション研修 (リスニング研修) (2/10, 北大:24名, 北大以外:6名)
- ・英語コミュニケーション研修 (スピーキング研修) (2/11, 北大:21名, 北大以外:7名)
- ・講演「日本語による授業から英語による授業へ」(3/29, 北大:40名, 北大以外:7名)
- · 部局長研修会 (4/25-3/9, 期間中8回)
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各FD終了後にアンケートを実施し、参加者の傾向や満足度等を分析し、次回以降の同行事の改善に役立てている。

- 2. 医学教育推進センター運営委員会, 医学教育推進センターにおける教育企画委員会
 - a 実施内容
 - ・初任者対象の、カリキュラムプランニングについてのワークショップ
 - ・医学教育の国際認証基準、カリキュラム改革の必要性、新カリキュラムでの臨床実習のスケジュール、診療参加型実習の 具体例、学習項目や評価方法、学外実習の準備状況などについて講義
 - ・国際基準に基づく医学教育分野別外部評価と、医学教育改革についての講義
 - ・新カリキュラムの現状と課題についてのワークショップ
 - b 実施方法

医学研究科、医学部医学科の教育を担当している者を対象としてワークショップ形式、講義形式、講演会等のFDを実施し、受講証明書を発行した。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

平成28年10月12日(22名), 4月20日(74名), 6月8日(49名), 8月12日(45名)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1の全学FDや専任教員の所属する教員組織におけるFDへの参加を強く推奨するほか、学院の自己点検評価・外部評価等を活用し、明らかになった問題点・課題について、教授会や教務委員会で検討を行い、教育改善に努める

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - 1. 高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会
 - a 実施の有無及び実施時期

全学教育科目に係る学生による授業評価アンケートを紙面にて実施している。毎年度、第1学期と第2学期に実施している。

b 教員や学生への公開状況, 方法等

全学教育科目に係る学生による授業アンケート報告書を作成し、高等教育推進機構のホームページに公表している。 第1学期と第2学期のデータを併せて1年分の結果を教員本人と教員の所属部局長、科目責任者へ通知している。 アンケートの質問項目に対する回答結果及び学生の自由意見を受けて、各教員や科目責任者に報告書を提出してもらい、 提出されたものの中から授業改善への効果があるものや他の教員の参考になる事例等を高等教育推進機構のホームページで 公表している。

- 2. 医学教育推進センター運営委員会, 医学教育推進センターにおける教育企画委員会
 - a 実施の有無及び実施時期

各学期末(前期:7月~8月、後期:1月~2月)に実施を予定している。

b 教員や学生への公開状況, 方法等

修了時アンケートの実施結果については、教務委員会において、カリキュラム改定の検討材料として取り扱っている。 公開方法等については、今後、検討予定である。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。 (記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

北海道大学の4つの基本理念(フロンティア精神、国際性の涵養、全人教育、実学の重視)及び医学院の理念(世界をリードする先進的医学研究の推進、高い倫理観と豊かな人間性を有する医学研究者・医療人の育成による人類の健康と福祉への貢献)の下、医学・生命科学・社会医学(公衆衛生学)に関する高い倫理観及び高度な専門的知識と研究及び教育・実践能力を備えた人材、ならびに健康および安全に対する多様かつ広範な地域社会または国際社会の要請に応えることのできる広くかつ高い見識を備えた人材の養成を教育目標とする。

平成29年4月には医学専攻博士課程84名が入学したが、医学院の教育目標に基づき、国内外の大学・研究機関における国際的な研究者、医療機関における研究医、又は行政機関・企業等において保健医療行政に携わる高度専門職業人として活躍し、病態・病因の解明や新規治療法の開発による疾病の克服、ひいては社会全体の人々の健康と安全に貢献するために必要な基盤医学、臨床医学又は社会医学の領域において優れた貢献を行い、また、社会的に有意義な活動を行える高度な能力を有した人材を養成する。

今後,教育実施体制,教育内容・方法,学業の成果,進路・就職状況等の観点から,教育活動及び教育清課の状況について定期的に自己点検・評価を行うとともに、学外者による外部評価を受けることとする。

- ② 自己点検·評価報告書
- a 公表(予定)時期
 - 未定
- b 公表方法
 - ・本学院のホームページ上に公開予定(時期未定)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・本学では、平成27年度に大学評価・学位授与機構が実施する大学機関別認証評価を受審したところであり、 平成33年度に次回の認証評価(大学改革支援・学位授与機構が実施)を受審する予定である。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

0	設置計画履行状況報告書				
а	ホームページに公表の有無	(有	無)
b	公表時期(未公表の場合は予定時期)	(平成29年 6月	1日)

(趣旨)

- 第1条 この内規は、国立大学法人北海道大学高等教育推進機構規程(平成22年海大達第243号) 第30条第3項の規定に基づき、国立大学法人北海道大学高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営について定めるものとする。 (審議事項)
- 第2条 委員会は、次に掲げる事項について審議する。
 - (1) 教員、ティーチング・アシスタント、ティーチング・フェロー等に係る研修の企画、立案及び 実施に関すること。
 - (2) 職員に係る研修の企画、立案及び実施並びに研修情報の一元化に関すること。
 - (3) 総合入試制度に係る進路支援、修学支援、学習支援、データ分析等に関すること。
 - (4) その他教職員等の研修に関すること。

(組織)

- 第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。
 - (1) 高等教育研修センター長(第5条において「センター長」という。)
 - (2) 高等教育研修センター副センター長(第5条において「副センター長」という。)
 - (3) 文学部、教育学部、法学部、経済学部、文学研究科、法学研究科、教育学院、国際広報メディア・観光学院、経済学院及び公共政策学教育部の教授又は准教授のうちから 2名
 - (4) 理学部、工学部、農学部、水産学部、情報科学研究科、水産科学院、環境科学院、理学院、農学院、生命科学院、工学院、総合化学院及び国際食資源学院の教授又は准教授のうちから 2 名
 - (5) 医学部、歯学部、薬学部、獣医学部、保健科学院、医学院、歯学院、獣医学院、医理工学院及び国際感染症学院の教授又は准教授のうちから 2名
 - (6) 高等教育推進機構の教授又は准教授のうちから 若干名
 - (7) 総務企画部長
 - (8) 学務部長
 - (9) その他機構長が必要と認めた者
- 2 前項第3号から第6号まで及び第9号の委員は、機構長が委嘱する。 (任期)
- 第4条 前条第1項第3号から第6号まで及び第9号の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 2 前項の委員は、再任されることができる。

(委員長)

- 第5条 委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。
- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名した副センター長がその職務を代行する。 (議事)
- 第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ議事を開くことができない。
- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決するものとする。 (委員以外の者の出席)
- 第7条 委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(委員会の庶務)

- 第8条 委員会の庶務は、学務部学務企画課において、事務局各課の協力を得て処理する。 (雑則)
- 第9条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

北海道大学大学院医学研究院医学教育推進センター内規

(趣旨)

第1条 この内規は、北海道大学大学院医学研究院・大学院医学院・医学部組織運営内規第9条第2項の規定に基づき、北海道大学大学院医学研究院医学教育推進センター(以下「センター」という。)の組織及び運営について定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、医学研究院(以下「本研究院」という。)において医学教育に関する研究開発を行うと ともに、医学院(以下「本学院」という。)及び医学部医学科(以下「本学科」という。)における教育活動について企画、立案及び調整等を行い、本研究院、本学院及び本学科の教育の推進に資することを目的 とする。

(業務)

- 第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。
 - (1) 医学教育についての研究開発並びに企画、立案及び実施等に関すること
 - (2) 教育の評価システムについての研究開発に関すること
 - (3) 医学教育についての情報収集及び解析に関すること
 - (4) 共用試験(OSCE, CBT)の実施及び管理に関すること
 - (5) 教員のFDについての企画及び実施に関すること
 - (6) 本学科の医学英語に関する教育の企画、立案及び実施に関すること
 - (7) 医学英語セミナーの企画、立案及び実施に関すること
 - (8) 研究成果の国際的な発信の支援に関すること
 - (9) その他医学教育についての研究開発及び推進に関すること (部門)
- 第4条 センターに、次に掲げる部門を置く。
 - (1) 医学教育研究開発部門
 - (2) 医学英語教育部門

(職員等)

第5条 センターに、センター長その他必要な職員を置く。

(センター長)

- 第6条 センター長は、医学研究院長(以下「研究院長」という。)をもって充てる。
- 2 センター長は、センターの業務を掌理する。

(統括副センター長及び副センター長)

- 第7条 センターに、副センター長を4名置き、次に掲げる者をもって充てる。
 - (1) センターの教授
 - (2) 研究院長が指名する本研究院の教授(国立大学法人北海道大学特任教員就業規則(平成18年海大達第35号)第3条第2号に該当する特任教員のうち、特任教授の職にある者を含む。) 3名
- 2 前項第1号の副センター長を、統括副センター長とする。
- 3 統括副センター長は、センター長の職務を助け、センター長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 4 統括副センター長は、センター長の指揮の下に、センターの業務をつかさどる。
- 5 第1項第2号の副センター長は、以下の職務を担当するとともに、統括副センター長を補佐する。
 - (1) 基礎·社会医学教育担当
 - (2) 内科系臨床医学教育担当
 - (3) 外科系臨床医学教育担当
- 6 第1項第2号の副センター長の任期は、2年とし、再任は妨げない。ただし、欠員となった場合の後任 の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(部門長)

- 第8条 医学教育研究開発部門に部門長を置き、センターの教授をもって充てる。
- 2 医学英語教育部門長に部門長を置き、国際連携室長をもって充てる。

(運営委員会)

- 第9条 センターに、センターの運営に関する重要事項を審議するため、運営委員会を置く。
- 2 運営委員会は、次の事項を審議する。
 - (1) 教員の人事に関すること
 - (2) 予算及び決算に関すること
 - (3) センターの事業に関すること
 - (4) センターの行事に関すること
 - (5) その他センターに関する重要事項
- 3 運営委員会は、次に掲げる者をもって構成する。ただし、前項第1号に掲げる事項を審議する場合は、第1号から第6号までに掲げる者をもって構成する。
 - (1) センター長
 - (2) 統括副センター長
 - (3) 副センター長(4) 国際連携室長(5) 医学科教務委員会委員長
 - (6) 医学院教務委員会委員長
 - (7) センターの教員(国立大学法人北海道大学特任教員就業規則(平成18年海大達第35号)第3条第2号 に該当する特任教員を含み、北海道大学大学院医学研究院教育助教制に関する内規(平成20年11月27日 制定)第1条に定める教育助教を除く)
 - (8) その他研究院長が必要と認めた者 若干名
- 4 運営委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。5 運営委員会は、構成員の3分の2以上が 出席しなければ議事を開くことができない。
- 6 運営委員会の議事は、出席した構成員の過半数をもって決する。
- 7 委員長が必要と認めたときは、運営委員会に構成員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(事務)

第10条 運営委員会の庶務は、医学系事務部総務課において処理する。

(雑則)

第11条 この内規に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、運営委員会の議を経て、センター長が定める。

附 則

- 1 この内規は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 北海道大学大学院医学研究科医学教育推進センター内規(平成22年9月1日制定)は、廃止する。

北海道大学大学院医学研究院医学教育推進センター会議について

平成29年4月1日 医学教育推進センター長裁定

(目的)

1. 北海道大学大学院医学研究院医学教育推進センター(以下「センター」という。)において企画・立案された事業,行事等(以下この項において「事業等」という。)についての具体的な実施方策を検討し、センターと大学院医学研究院、大学院医学院、医学部医学科及び北海道大学病院との連携を図りながら事業等を実施することを目的として、センター会議を置く。

(構成員)

- 2. センター会議は、統括副センター長を委員長とし、次に掲げる者をもつて構成する。
 - (1) 統括副センター長
 - (2) 副センター長
 - (3) 国際連携室長
 - (4) 医学科教務委員会委員長
 - (5) 医学院教務委員会委員長
 - (6) 北海道大学病院臨床研修センターの専任教員 1名
 - (7) センターの教員(国立大学法人北海道大学特任教員就業規則(平成18年海大達第35号)第3条第2号に該当する特任教員を含み、北海道大学大学院医学研究科教育助教制に関する内規(平成20年11月27日制定)第1条に定める教育助教を除く)
 - (8) その他センター長が必要と認めた者

付 記

- 1 この取扱いは、平成29年4月1日から実施する。
- 2 北海道大学大学院医学研究科医学教育推進センターおける教育企画実施委員会の設置について(平成23年5月2日医学教育推進センター長裁定)は、廃止する。